

# 台東区高齢者実態調査報告書

## 概要版

平成29年3月

台東区 福祉部



# 目 次

第1章 調査の概要	1
I 調査の目的	1
II 調査の概要	1
1 調査の設計	1
2 調査方法	1
3 調査期間	1
4 回収状況	1
III 調査結果の見方	2
IV 日常生活圏域及び地域包括支援センター区域	3
V 台東区の高齢者の状況	4
1 高齢者人口と高齢化率の推移	4
2 年齢別人口構成	4
3 特別区の高齢化率比較	5
4 高齢化率の推移（台東区・東京都・全国）	5
5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率	6
6 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移	7
7 要介護度別認定者数の推移	7
8 介護保険の保険給付の状況	8
第2章 調査結果の概要	9
I 調査結果の概要	9
1 台東区の状況	9
2 主な共通項目の比較	9
(1) 家族構成と住まいの状況	9
(2) 医療と介護保険	9
(3) 地域との関わり・地域住民によるサービス提供	10
(4) 認知症と成年後見制度	10
(5) 区の高齢者福祉施策	10
3 その他のテーマ別にみた調査結果	10
(1) 健康状態	10
(2) 社会参加と地域活動	11
(3) 就労状況	11
(4) 生活状況	11
(5) 介護予防	11
(6) 介護保険サービスの利用状況・利用意向	11
(7) 介護者の状況	12

<b>II 共通調査項目</b> .....	<b>13</b>
1 回答者の属性 .....	13
(1) 調査票の回答者 .....	13
(2) 年齢 .....	13
(3) 居住地域 .....	14
(4) 家族構成 .....	14
(5) 日中独居の状況 .....	15
(6) 災害時（台風や地震等）や火災等などの緊急時に一人で避難すること .....	15
2 かかりつけ医等について .....	15
(1) かかりつけ医の有無 .....	15
(2) かかりつけ歯科医の有無 .....	16
(3) かかりつけ薬局の有無 .....	16
3 住まいについて .....	16
(1) 住まいの形態 .....	16
(2) 現在の住宅で困っていること .....	17
4 地域との関わり、地域住民によるサービスについて .....	18
5 暮らし向き .....	20
6 認知症について .....	20
(1) 認知症について家族以外に相談する意向 .....	20
(2) 認知症について家族以外に相談する場合の相談先 .....	20
(3) 認知症のどんなことに関心があるか .....	21
7 成年後見制度について .....	21
(1) 成年後見制度の認知度 .....	21
(2) 成年後見制度の利用意向 .....	21
8 在宅療養について .....	22
9 介護保険制度について .....	23
(1) 介護保険料とサービスについて .....	23
(2) 介護保険料の額について .....	23
(3) 今後希望する暮らし方 .....	23
10 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策 .....	24
<b>III 一般高齢者調査</b> .....	<b>25</b>
<b>IV 台東区日常生活圏域ニーズ調査</b> .....	<b>32</b>
<b>V 要支援・要介護認定者調査</b> .....	<b>44</b>
■介護者に対する設問 .....	47
<b>VI 介護サービス事業者調査</b> .....	<b>51</b>
■居宅介護支援事業所に対する設問 .....	53

# 第1章 調査の概要

## I 調査の目的

本調査は、区内在住の高齢者の生活実態や保健・福祉への要望等を把握し、「第7期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画」のための基礎資料を得ることを目的として実施した。

## II 調査の概要

### 1 調査の設計

調査名	調査対象者	調査数
①一般高齢者調査	65歳以上の区民 (要支援・要介護認定者を除く)	2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
②台東区日常生活圏域 ニーズ調査	65歳以上の区民 (要介護認定者及び施設入所者を除く)	2,000人 (住民基本台帳及び要支援・要介護認定者台帳から無作為抽出)
③要支援・要介護認定者 調査	要支援・要介護認定を受けている区民(施設入所者を除く)	2,000人 (要支援・要介護認定者台帳から無作為抽出)
④介護サービス事業者 調査	区内にあるすべての介護サービス提供事業者	259事業所

### 2 調査方法

調査票を対象者に送付し、郵送により回収

### 3 調査期間

平成28年9月21日～10月19日

### 4 回収状況

調査名	発送数(通)	回収数(通)	回収率(%)	集計に活用した回答数 <sup>*</sup> (通)
①一般高齢者調査	2,000	1,486	74.3	1,476
②台東区日常生活圏域 ニーズ調査	2,000	1,471	73.6	1,468
③要支援・要介護認定者 調査	2,000	1,281	64.1	1,243
④介護サービス事業者 調査	259	209	80.7	207
計	6,259	4,447	71.0	4,394

※名宛人が長期入院や施設入所などで不在である旨の回答があった場合は、「回収数」には含むが、「集計に活用した回答数」には含まれない。

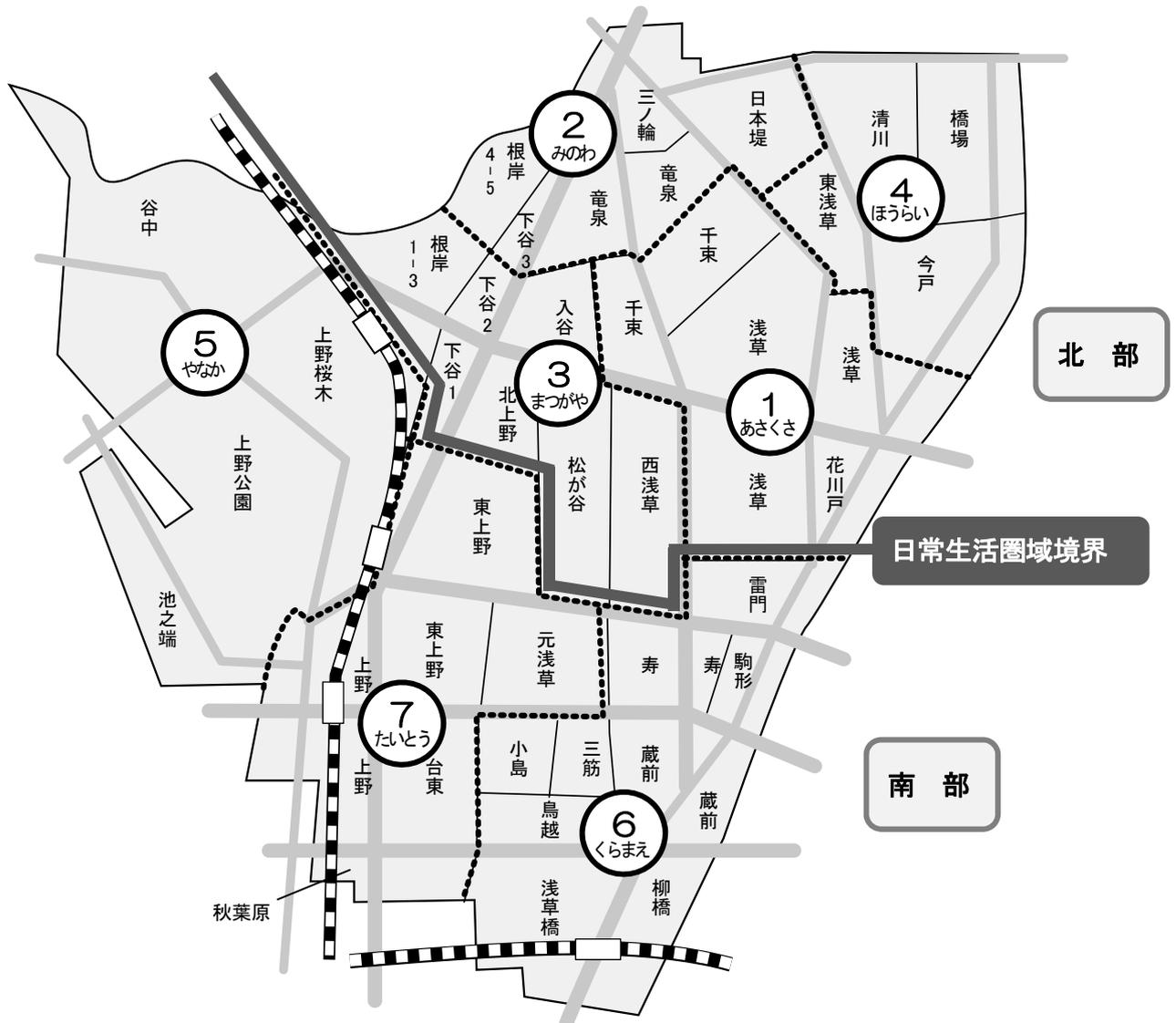
### Ⅲ 調査結果の見方

---

- ・調査名を省略して記載している場合がある。
  - 〔一般調査〕：一般高齢者調査
  - 〔ニーズ調査〕：台東区日常生活圏域ニーズ調査
  - 〔認定者調査〕：要支援・要介護認定者調査
  - 〔事業者調査〕：介護サービス事業者調査
- ・調査結果中、「地域包括支援センター」は「包括」と表記している。
- ・図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしている。
- ・回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- ・クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略している。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しない。

## IV 日常生活圏域及び地域包括支援センター区域

台東区では2つの日常生活圏域を設定しており、7か所の地域包括支援センターの担当区域は下図表のとおりである。



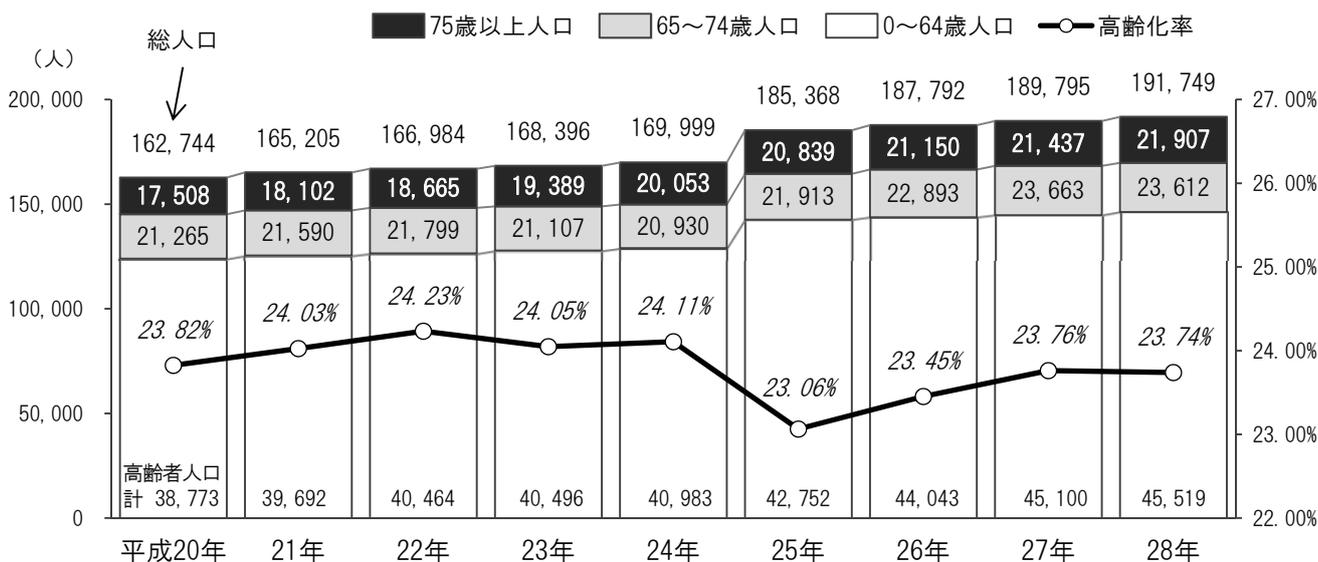
	地域包括支援センター名称	担当区域	日常生活圏域
1	あさくさ	浅草、千束、花川戸	北部
2	みのわ	下谷3丁目、根岸4・5丁目、三ノ輪、竜泉、日本堤	
3	まつかや	根岸1～3丁目、下谷1・2丁目、入谷、北上野、松が谷、西浅草	
4	ほうらい	今戸、東浅草、清川、橋場	
5	やなか	谷中、上野桜木、上野公園、池之端	南部
6	くらまえ	雷門、駒形、寿、蔵前、三筋、小島、鳥越、浅草橋、柳橋	
7	たいとう	東上野、上野、元浅草、台東、秋葉原	

## V 台東区の高齢者の状況

### 1 高齢者人口と高齢化率の推移

台東区の総人口は平成28年1月1日時点で191,749人となり増加傾向にある。高齢者人口は、前期高齢者（65～74歳人口）が23,612人、後期高齢者（75歳以上人口）が21,907人で、高齢化率は23.74%となっている。

図表1-1 台東区の高齢者人口と高齢化率の推移

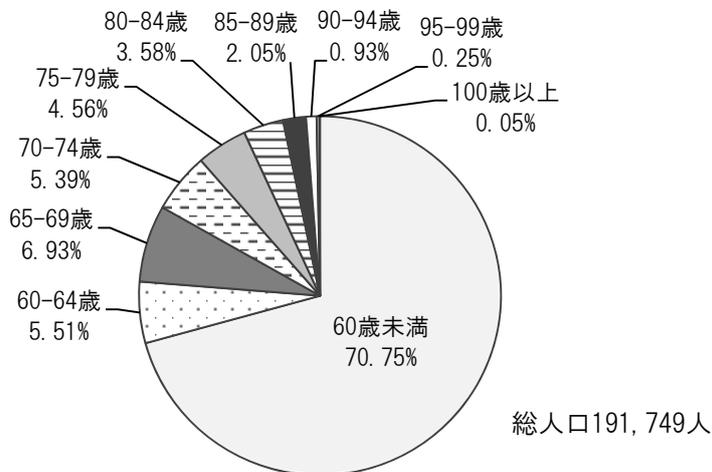


資料：台東区住民基本台帳人口 各年1月1日現在（平成25年以降は外国人を含む）

### 2 年齢別人口構成

年齢別人口構成は、「65歳未満」が76.26%となっており、高齢者人口のうち団塊の世代を含む「65～69歳」が6.93%で高くなっている。

図表1-2 台東区の年齢別人口構成（平成28年1月1日現在）

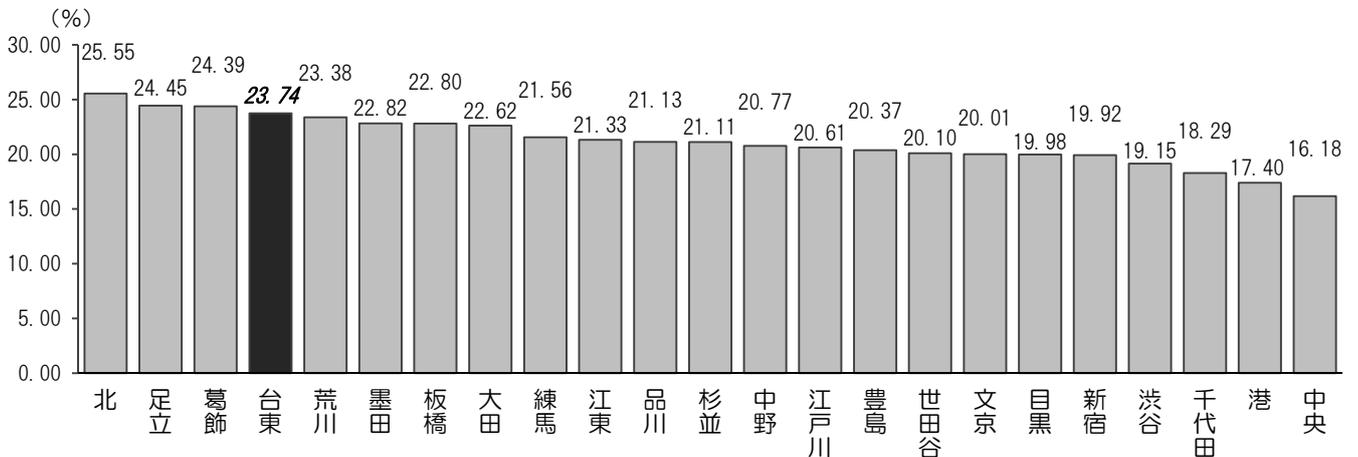


資料：台東区住民基本台帳人口 平成28年1月1日現在

### 3 特別区の高齢化率比較

特別区の高齢化率比較は、北区 25.55%、足立区 24.45%、葛飾区 24.39%に次いで、台東区 23.74%は 23 区中 4 番目に高い割合となっている。

図表 1-3 特別区の高齢化率（平成 28 年 1 月 1 日現在）

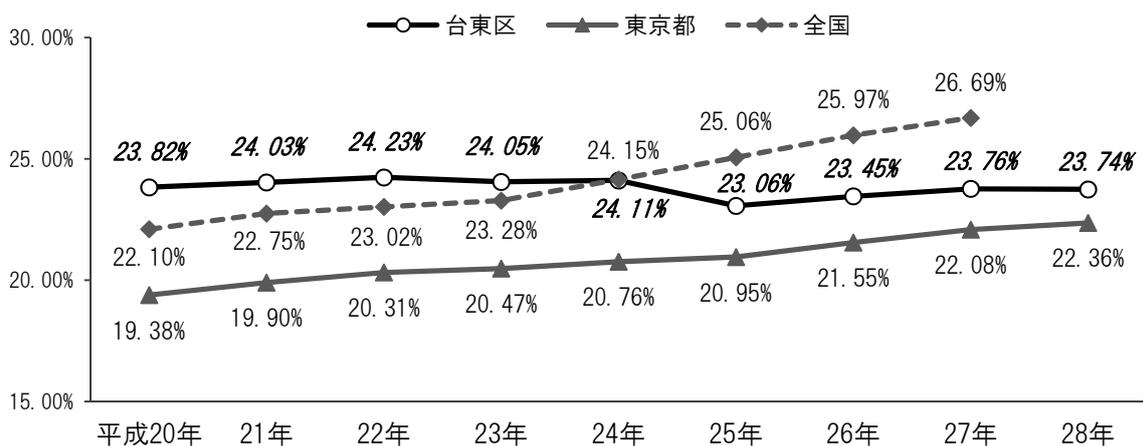


資料：東京都ホームページ「東京都の統計」住民基本台帳による東京都の世帯と人口 平成 28 年 1 月 1 日現在

### 4 高齢化率の推移（台東区・東京都・全国）

高齢化率は、全国、東京都が上昇傾向にあるのに比べ、台東区は平成 24 年まで 24%程度の横ばいで推移している。平成 24 年からは全国を下回って推移しているが、東京都より高く推移している。

図表 1-4 高齢化率の推移

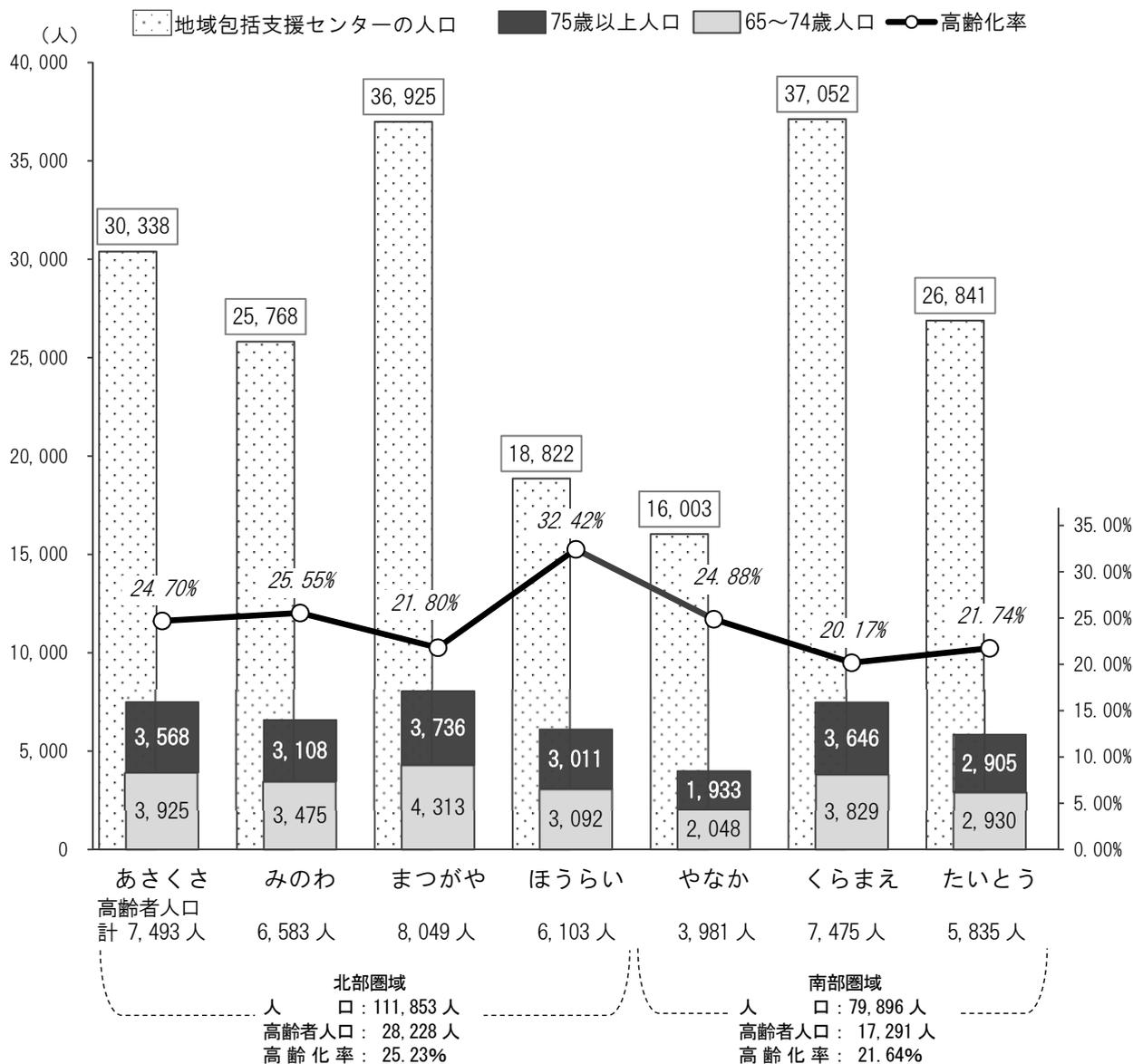


資料：東京都ホームページ「東京都の統計」住民基本台帳による東京都の世帯と人口 各年 1 月 1 日現在（平成 25 年以降は外国人を含む）  
 全国値は総務省統計局の人口推計 各年 10 月 1 日現在（平成 24 年以降は外国人を含む）

### 5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率

地域包括支援センター区域別高齢者人口は、「まつがや」8,049人が最も多く、次いで「あさくさ」7,493人、「くらまえ」7,475人となっている。高齢化率は「ほうらい」32.42%が最も高く、区の23.74%を8.68ポイント上回っている。

図表 1-5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率（平成28年1月1日現在）

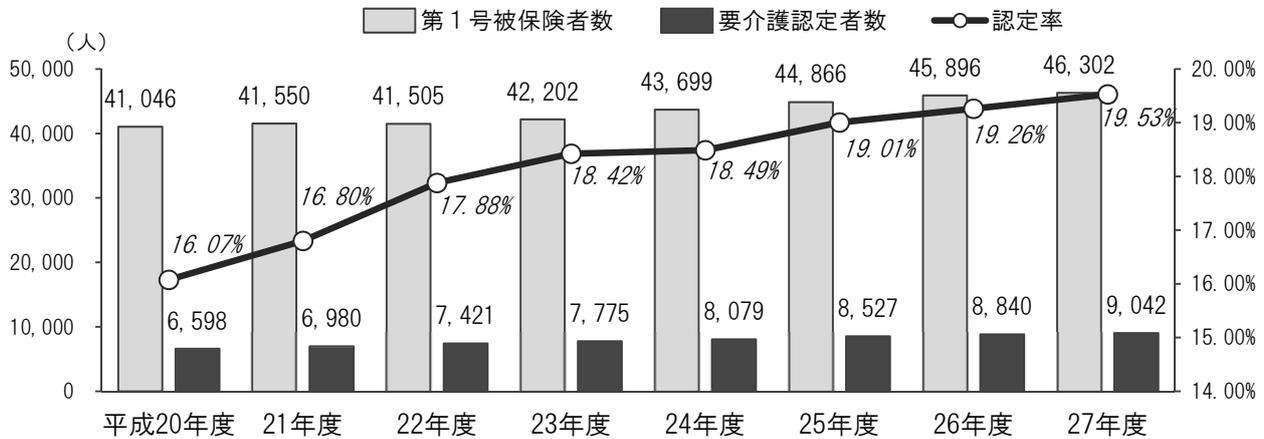


資料：台東区住民基本台帳人口 平成28年1月1日現在

## 6 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移

第1号被保険者数は、平成27年度末現在46,302人で平成20年度の41,046人から増加傾向で推移しているが、要介護認定者数は6,598人から9,042人と、それを上回る増加を続けている。認定率は19.53%で、平成20年度から3.46ポイント上回っている。

図表1-6 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移（各年度末現在）

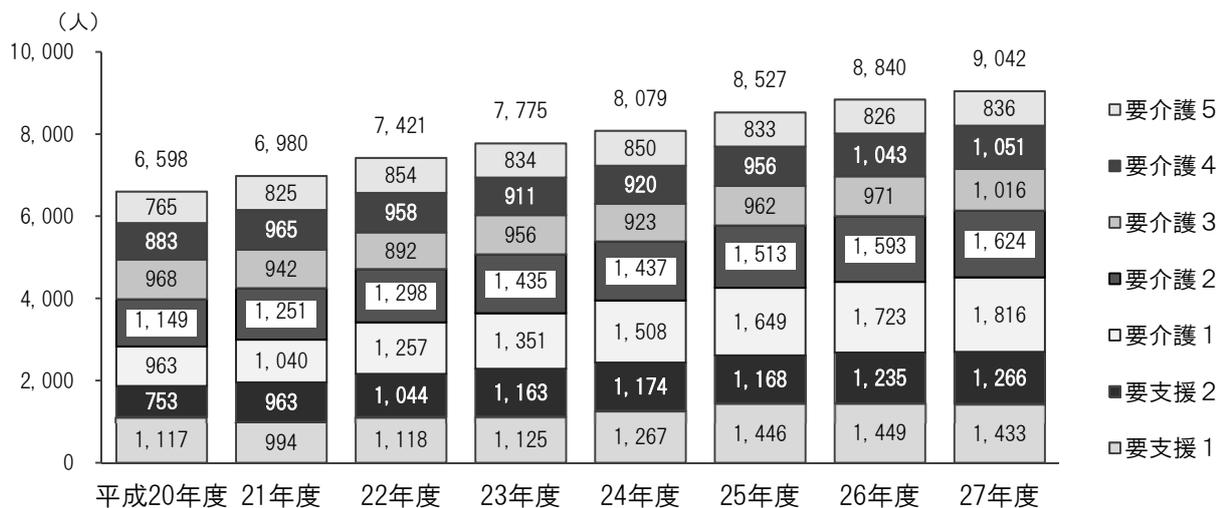


資料：台東区介護保険課

## 7 要介護度別認定者数の推移

認定者数を要介護度別にみると、第1号被保険者数の増加に伴い、どの区分の認定者も増加しているが、特に要介護1、要支援2の認定者が増加している。一方、要介護3以上の認定者は微増傾向である。

図表1-7 要介護度別認定者数の推移（第1号被保険者）（各年度末現在）

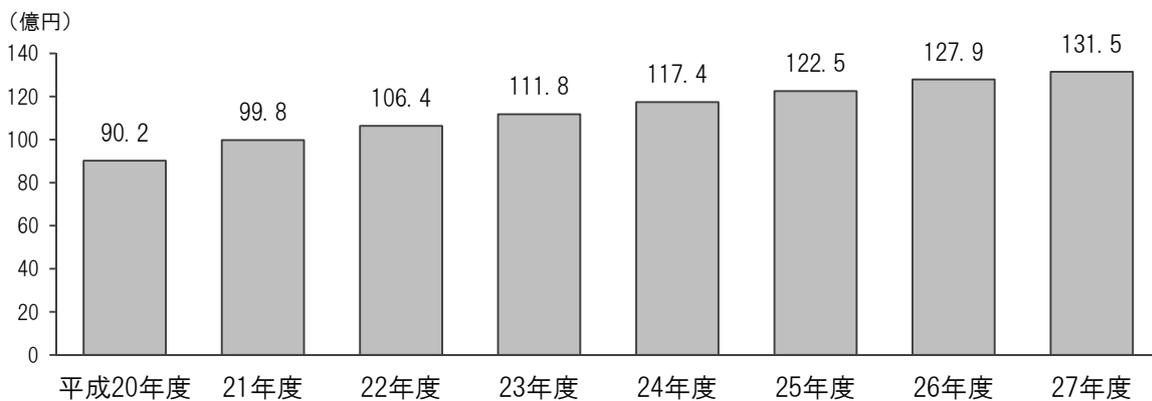


資料：台東区介護保険課

## 8 介護保険の保険給付の状況

介護保険の保険給付費は年々増加し続けており、平成27年度末時点131.5億円で、平成20年度末時点90.2億円の約1.5倍となっている。

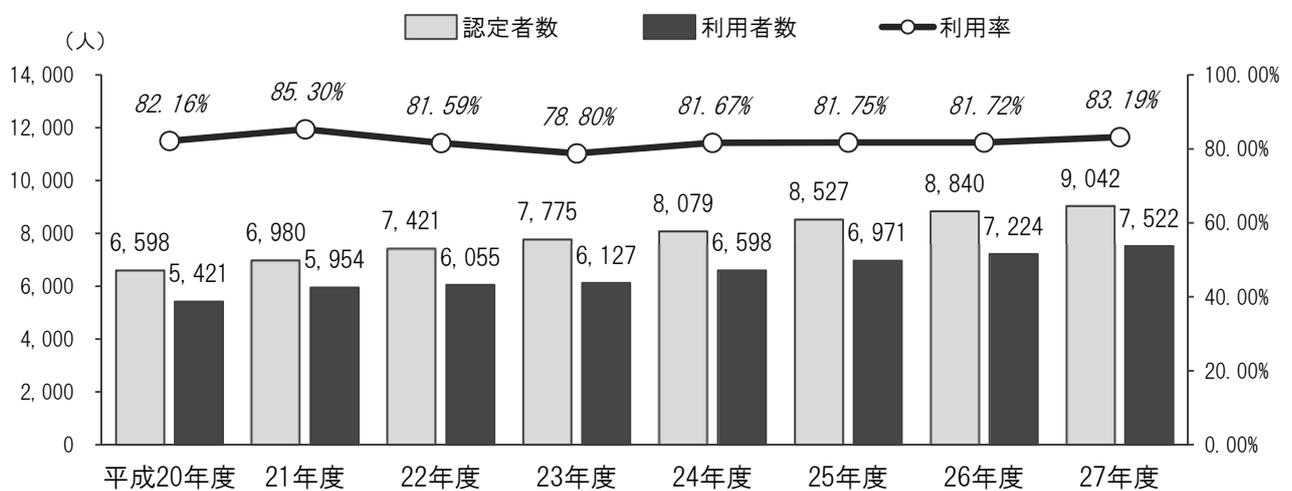
図表1-8 保険給付費の推移



資料：台東区介護保険課

利用者数は認定者数の増加に伴い増加し続けているが、平成27年度の利用率は83.19%で、平成20年度の82.16%から大きな変化はみられない。

図表1-9 利用者数の推移



資料：台東区介護保険課

## 第2章 調査結果の概要

### I 調査結果の概要

平成29年度「第7期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画」策定に向け、高齢者の実態調査を行った。回収率は、一般高齢者調査（一般調査）74.3%、台東区日常生活圏域ニーズ調査（ニーズ調査）73.6%、要支援・要介護認定者調査（認定者調査）64.1%、介護サービス事業者調査（事業者調査）80.7%となっている。

#### 1 台東区の状況

平成28年1月1日現在、台東区の総人口191,749人、65歳以上の高齢者人口45,519人となっている。総人口、高齢者人口ともに増加しているため、高齢化率は23.7%で前年とほぼ同じ値となり、23区中4番目となっている。

台東区の日常生活圏域別でみると、北部圏域は高齢者人口28,228人、高齢化率25.2%、南部圏域は高齢者人口17,291人、高齢化率21.6%となっている。

#### 2 主な共通項目の比較

一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、同じ質問をしているものを共通項目として比較し、テーマ別にまとめた。

調査票の回答者は、一般調査及びニーズ調査では、「本人」の回答は約9割、認定者調査は、約4割となっている。

##### （1）家族構成と住まいの状況

「ひとり暮らし」は、一般調査、ニーズ調査、認定者調査ともに約3割となっている。

日中独居の状況は、「一人で過ごすことはあまりない」は、一般調査は約5割、認定者調査は約4割となっている。「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は、一般調査は約2割、認定者調査は約3割となっている。

「災害時に一人で避難することができる」は、一般調査は約9割、認定者調査は約2割となっている。

住まいの形態は、一般調査、認定者調査ともに「持ち家（一戸建て）」が約6割、「住宅で特に困っていることがない」も約6割となっている。

##### （2）医療と介護保険

かかりつけ医、かかりつけ薬局は、「区内にある」が一般調査は約7割、認定者調査は約8割となり、かかりつけ歯科医は、一般調査は約7割、認定者調査は約6割となっている。

病気やけがで長期の療養が必要となり通院が困難になった場合に、在宅療養を「希望する」は、一般調査、認定者調査ともに約3割となっている。また、「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人の理由は、「家族に負担をかけるから」が最も高くなっている。

介護保険制度について、介護保険料とサービスは、一般調査、認定者調査ともに「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高くなっている。

介護保険料の額は、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると、一般調査は約6割、認定者調査は約5割となっている。また、「妥当な額である」「負担には感じない」を合わせると、一般調査は約2割、認定者調査は約3割となっている。

### (3) 地域との関わり・地域住民によるサービス提供

一般調査では、地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「すでに活動している」「(活動したいと)思う」を合わせて約2割となっている。一方、「わからない」「思わない」を合わせると約7割となっている。さらに「(高齢者の支え手として)できることがある」と回答したうち、できることは「話し相手」「見守り」「買い物」といった支援が上位となっている。

認定者調査では、地域住民によるサービス提供を「利用したい」が約3割で、利用したいものは、「部屋の掃除、風呂の掃除」「買い物」「通院の付添・介助」が上位となっている。

### (4) 認知症と成年後見制度

認知症になった(かもしれない)ときに、認知症について家族以外に相談する意向は、一般調査、認定者調査ともに「相談したい」が6割を超え、相談先としては、「かかりつけ医、近所の医院」が最も高くなっている。

認知症に「関心がある」は、一般調査、認定者調査ともに約8割で、そのうち関心があることは、「予防に効果的な方法」が最も高くなっている。

成年後見制度の認知度は、「知っている」が一般調査は約5割、認定者調査は約4割で、「利用したい」がともに約2割となっている。

### (5) 区の高齢者福祉施策

区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。

## 3 その他のテーマ別にみた調査結果

### (1) 健康状態

健康状態について、一般調査では、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると約8割、ニーズ調査では、「とてもよい」「まあよい」を合わせると約7割となっている。

## (2) 社会参加と地域活動

一般調査では、1年間に行った地域活動等について、「参加した」が約5割で、活動内容は、「趣味や教養活動」「健康づくり・スポーツ活動」「町会・自治会、老人クラブなどの活動」が各々約2割となっている。

ニーズ調査では、地域の活動で参加している会・グループ等は、「趣味関係のグループ」が約3割、「スポーツ関係のグループやクラブ」が約2割となっている。地域活動への参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると約6割となっている。また、地域活動の企画・運営としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると約3割となっている。

## (3) 就労状況

一般調査では、「仕事をしている」が約4割となっており、年齢別では、「仕事をしている」が65～69歳は約6割、70～74歳は約5割となっている。また今後の就労意向は、「会社に勤務したい」「家業(自営業)や家業の手伝いをしたい」「シルバー人材センターを通じた仕事をしたい」「その他」を合わせると約5割となり、年齢別にみると高齢になるにつれて、仕事をしたい割合は少なくなるが、85歳以上も「仕事をしたい」が約2割となっている。

## (4) 生活状況

一般調査では、ふだんの食事の用意は「自分が調理」が約5割となっている。家族等との会話は「毎日」が全体では約8割となっているが、ひとり暮らしでは約4割となっている。1週間の外出の頻度は「ほぼ毎日」が約5割で、65～74歳では約6割、80歳以上は約4割となっている。

また、ニーズ調査では、「自分で食品・日用品の買い物をする」は約9割、「週5回以上外出している」は約5割となっている。

## (5) 介護予防

一般調査では、介護が必要にならないために「心がけていることがある」は約9割で、そのうち「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」、「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」の順となっている。

介護予防教室に「参加してみたい」は約6割で、そのうち参加してみたい教室は「運動機能向上」「膝痛や腰痛の対策・予防」「認知症予防やうつ予防」が上位となっている。

## (6) 介護保険サービスの利用状況・利用意向

認定者調査では、介護保険サービスの利用状況は「利用している」が約8割、利用している人のケアプランの満足度は「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると約8割となっている。

また、利用していない人の理由では「自分で何とか生活できるため」が約5割、次いで「家族が介護してくれるため」となっている。

今後希望する暮らし方では「介護サービス利用で自宅」が約4割で、「家族介護で自宅」の2割を合わせると「自宅」での介護を希望する人が約6割となっている。

介護者が望む介護の形態では、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせると「自宅」を望む人が約5割となっている。

介護者が望む支援やサービスでは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が約3割で最も高く、次いで「介護に関する相談支援の充実」「経済的支援の充実」となっている。

### (7) 介護者の状況

認定者調査では、介護してくれる家族の有無は「いる」が約7割、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると約3割、主な介護者の約5割は65歳以上で、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると約7割となっている。

就労状況では、仕事が「あり」は約5割となっている。そのうち、介護者の働き方の調整は、「特に行っていない」が約3割となっている。一方、労働時間、休暇取得、在宅勤務など、「働き方の調整をしている」は約5割となっている。

介護のために「仕事を辞めた」「転職した」人は約1割で、離職した理由は「仕事と介護の両立が難しいから」が最も高くなっている。一方、「仕事を辞めた家族・親族はいない」は4割となっている。

介護保険サービス利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると約6割となっている。

## II 共通調査項目

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

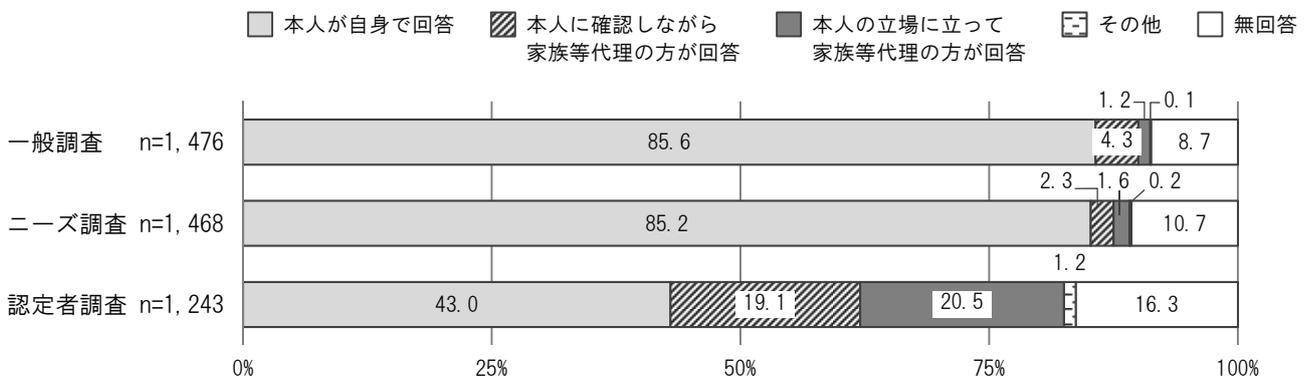
一般高齢者調査、台東区日常生活圏域ニーズ調査、要支援・要介護認定者調査で設問が同じである主要な結果を抜粋し、比較を行った。各 2,000 人を対象に調査を行い、一般高齢者調査 1,476 人、台東区日常生活圏域ニーズ調査 1,468 人、要支援・要介護認定者調査 1,243 人から有効回答を得られた。

### 1 回答者の属性

#### (1) 調査票の回答者

▶調査票の回答者は、「本人が自身で回答」が『一般調査』85.6%、『ニーズ調査』85.2%、『認定者調査』43.0%

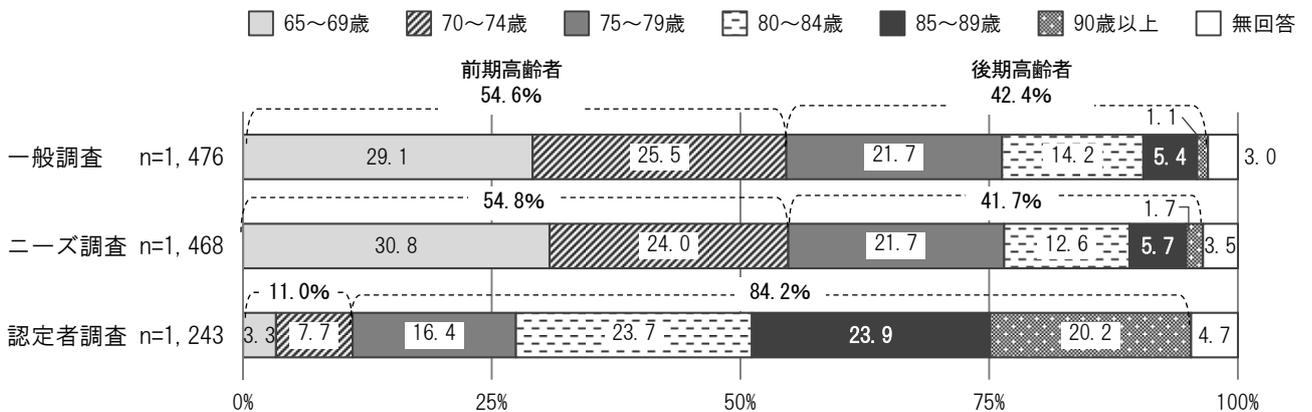
図表 2-1 調査票の回答者



#### (2) 年齢

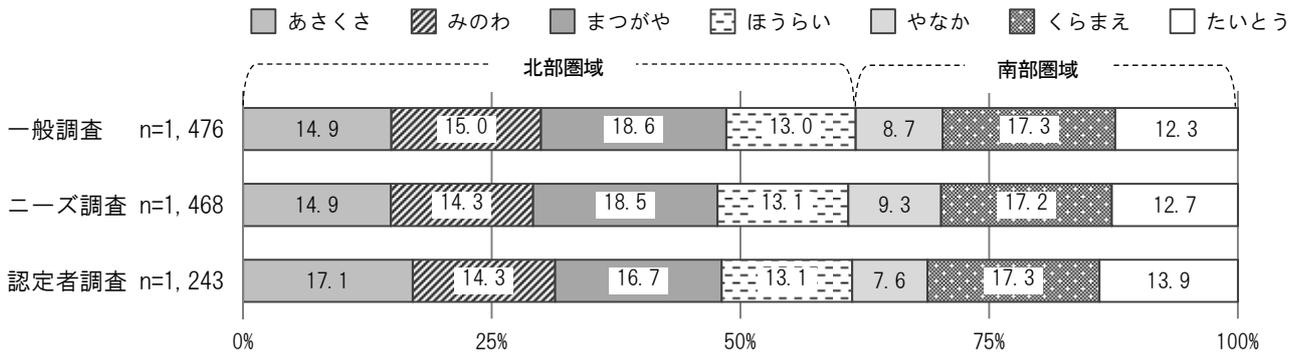
▶回答者の年齢は、前期高齢者が『一般調査』54.6%、『ニーズ調査』54.8%、後期高齢者が『認定者調査』84.2%

図表 2-2 年齢



(3) 居住地域

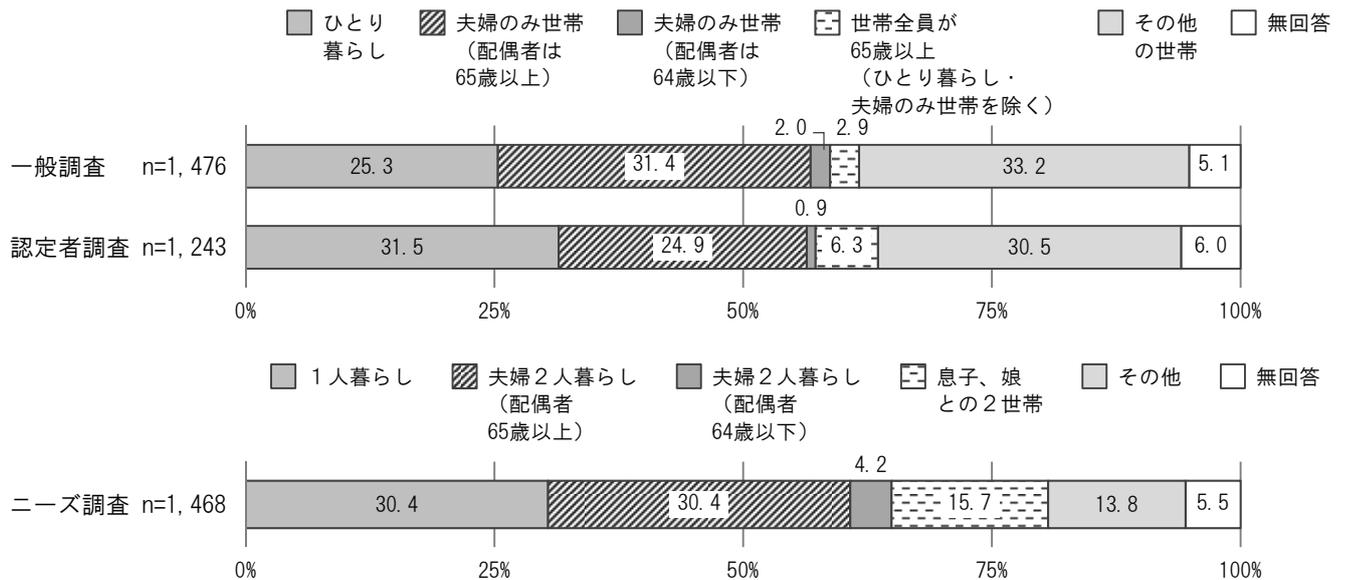
図表 2-3 地域包括支援センター区域



(4) 家族構成

▶ 家族構成は、「ひとり暮らし」が『一般調査』は 25.3%、『認定者調査』は 31.5%、『ニーズ調査』は 30.4%

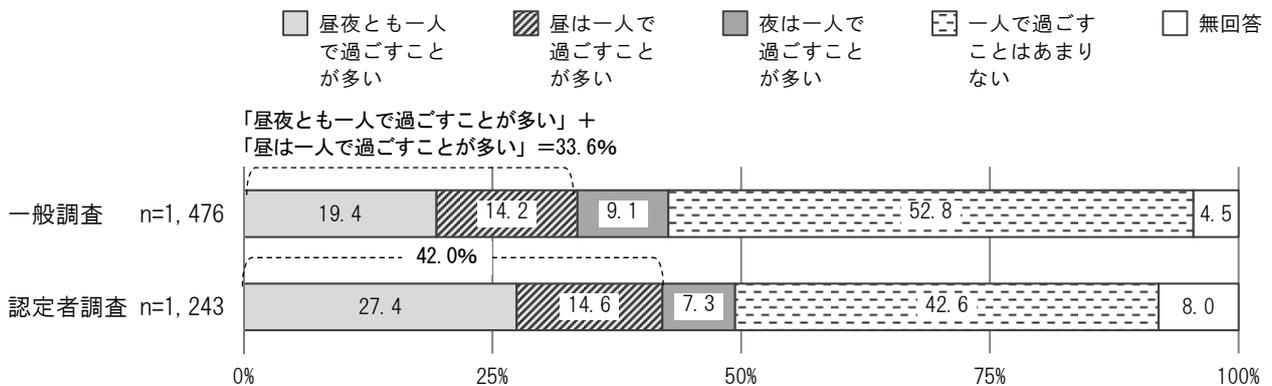
図表 2-4 家族構成



(5) 日中独居の状況

▶ 日中独居の状況は、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」「昼は一人で過ごすことが多い」を合わせると『一般調査』が33.6%、『認定者調査』が42.0%

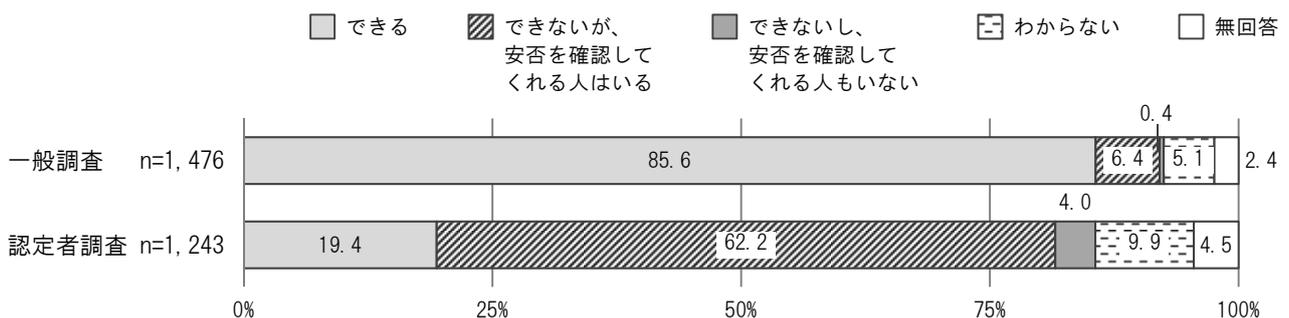
図表 2-5 日中独居の状況



(6) 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に一人で避難すること

▶ 緊急時に一人で避難できるのは、『一般調査』が85.6%、『認定者調査』は19.4%

図表 2-6 災害時に一人で避難すること

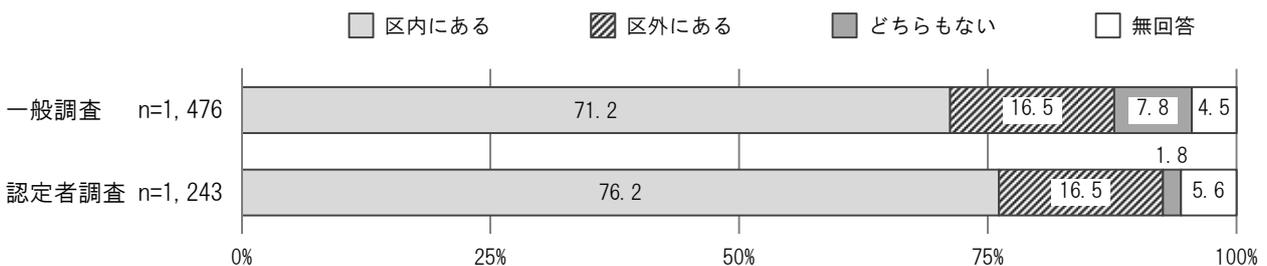


2 かかりつけ医等について

(1) かかりつけ医の有無

▶ かかりつけ医が区内にあるのは、『一般調査』が71.2%、『認定者調査』は76.2%

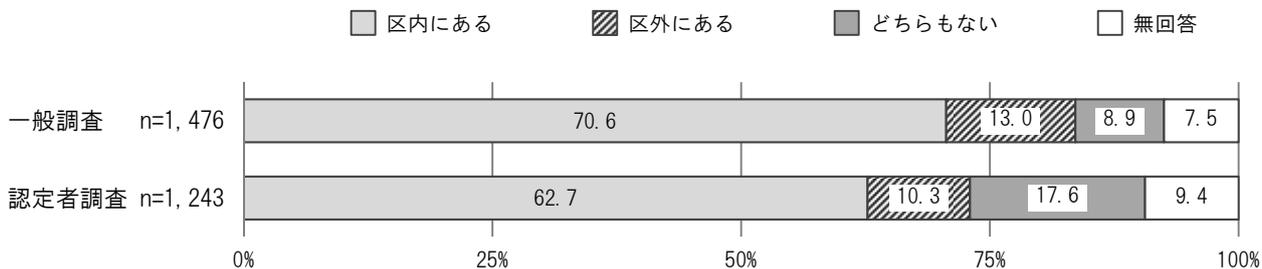
図表 2-7 かかりつけ医の有無



(2) かかりつけ歯科医の有無

▶ かかりつけ歯科医が区内にあるのは、『一般調査』が70.6%、『認定者調査』は62.7%

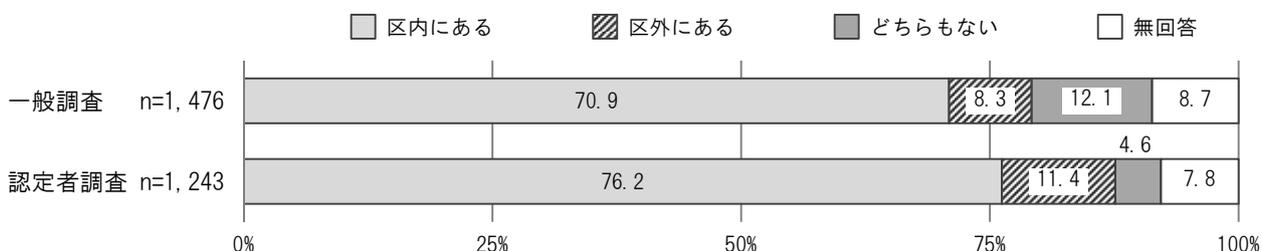
図表 2-8 かかりつけ歯科医の有無



(3) かかりつけ薬局の有無

▶ かかりつけ薬局が区内にあるのは、『一般調査』が70.9%、『認定者調査』は76.2%

図表 2-9 かかりつけ薬局の有無

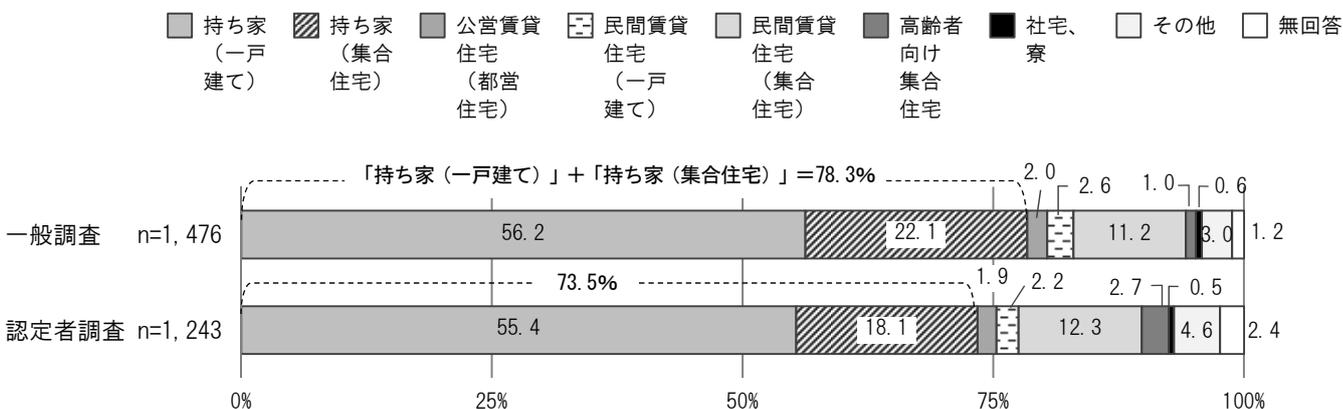


3 住まいについて

(1) 住まいの形態

▶ 住まいの形態は、『一般調査』では「持ち家（一戸建て）」が56.2%、「持ち家（集合住宅）」は22.1%で合わせると78.3%、『認定者調査』では「持ち家（一戸建て）」が55.4%、「持ち家（集合住宅）」は18.1%で合わせると73.5%

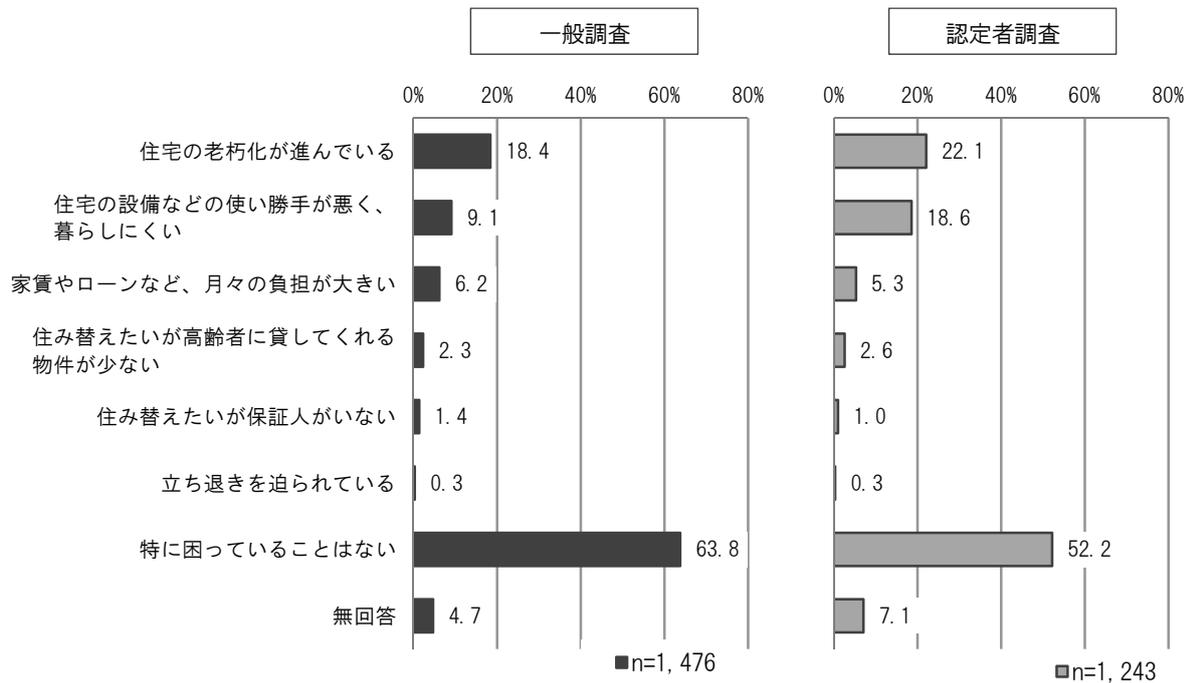
図表 2-10 住まいの形態



## (2) 現在の住宅で困っていること

▶住宅で「特に困っていることがない」は、『一般調査』が63.8%、『認定者調査』は52.2%

図表 2-11 住宅で困っていること（複数回答）

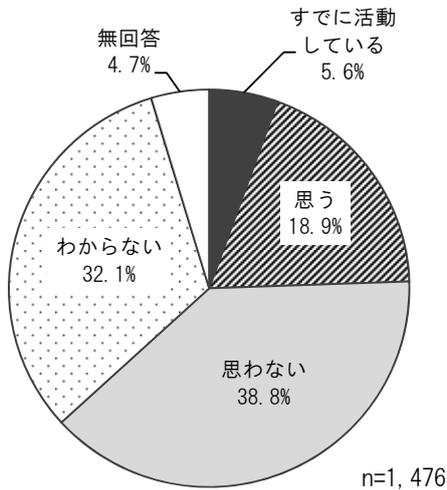


4 地域との関わり、地域住民によるサービスについて

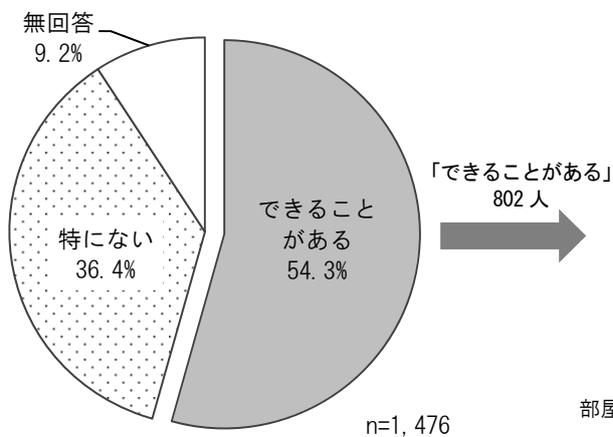
一般調査

▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としての活動意向は、「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」は18.9%、一方、「わからない」が32.1%、「思わない」が38.8%

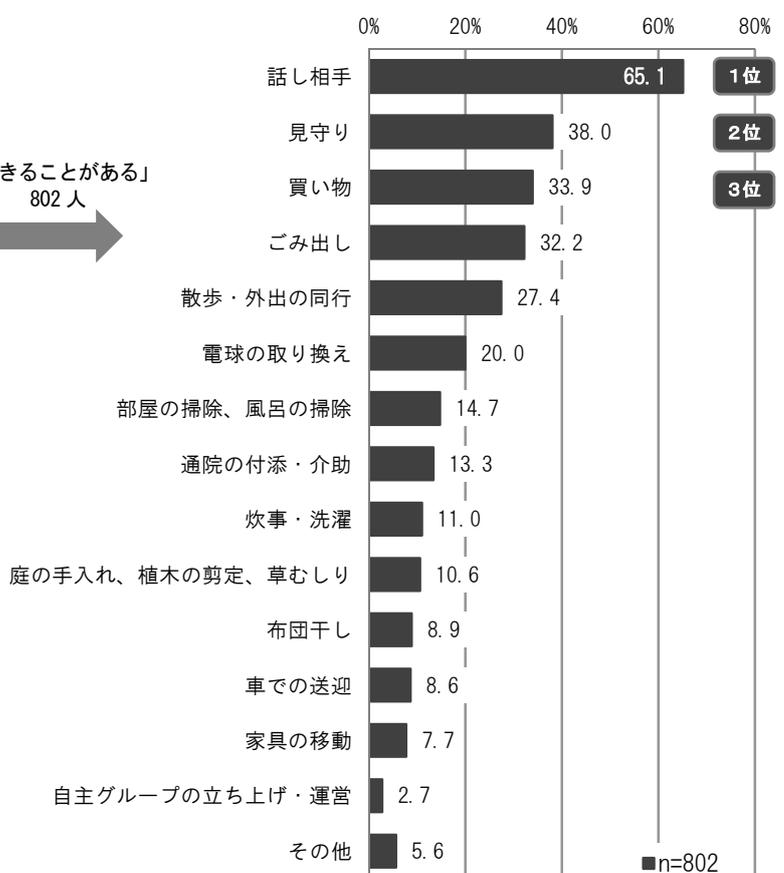
図表 2-12 高齢者の支え手としての活動意向



図表 2-13 高齢者の支え手としてできることがあるか



図表 2-14 高齢者の支え手としてできること (複数回答)

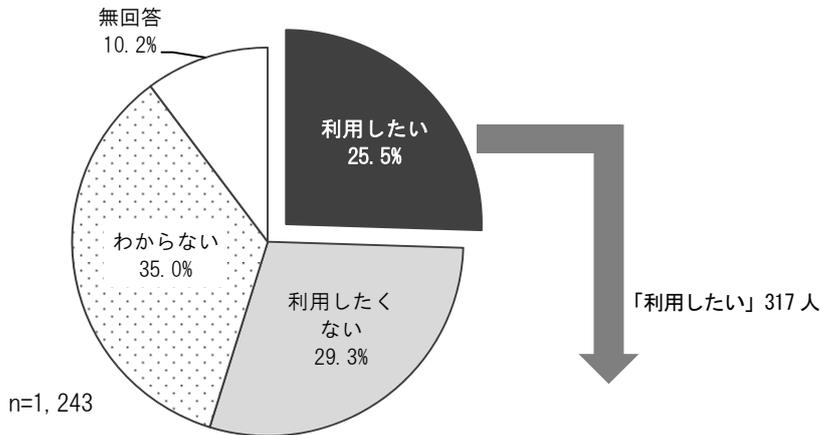


▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「できることがある」54.3% (802 人)のうち、できることは「話し相手」が65.1%、「見守り」が38.0%、「買い物」が33.9%

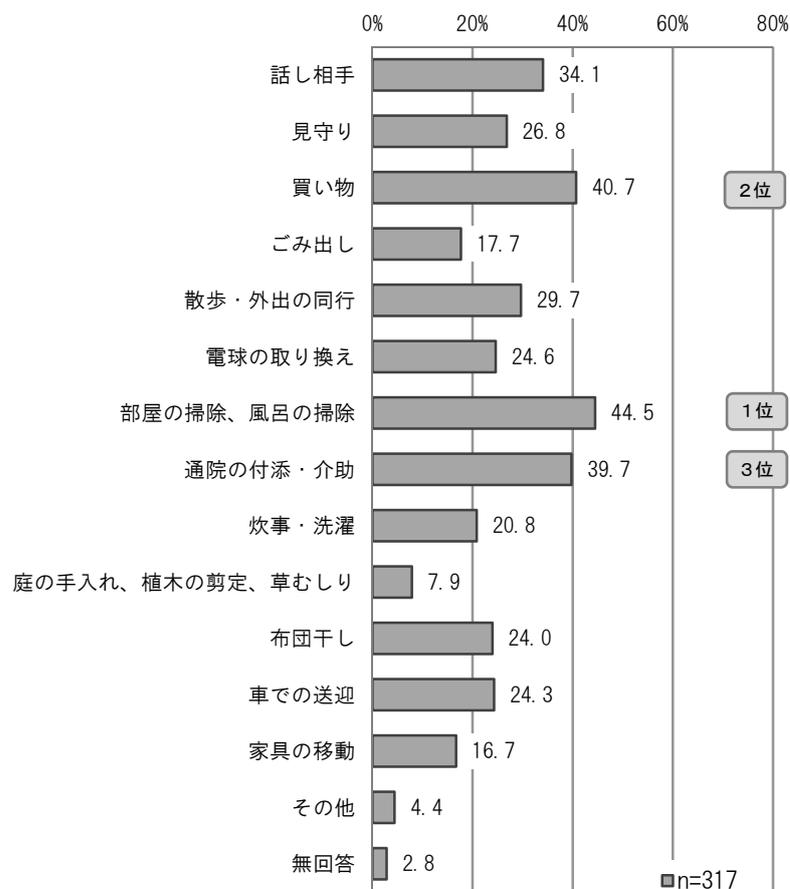
認定者調査

▶地域住民による生活援助のサービスの利用意向は、「利用したい」が25.5%

図表 2-15 地域住民による生活援助のサービスの利用意向



図表 2-16 地域住民によるサービスで利用したいもの（複数回答）

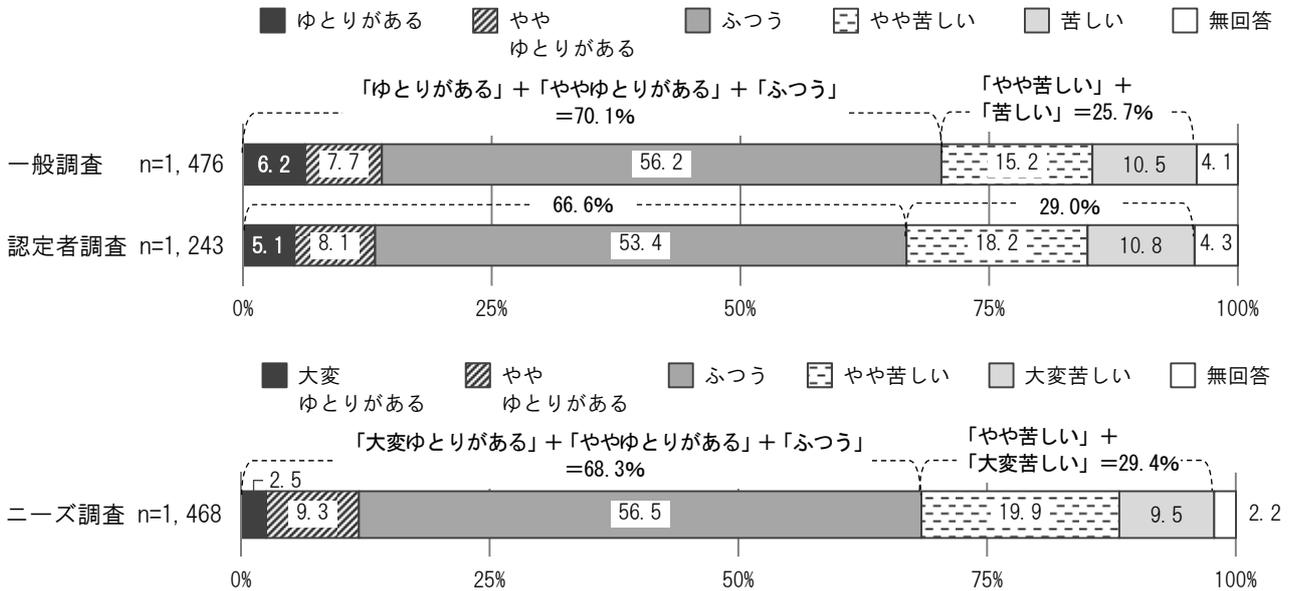


▶地域住民によるサービスを「利用したい」と回答した25.5%（317人）のうち、利用したいものは「部屋の掃除、風呂の掃除」が44.5%、「買い物」が40.7%、「通院の付添・介助」が39.7%

### 5 暮らし向き

▶経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると『一般調査』が70.1%、『認定者調査』が66.6%、『ニーズ調査』は68.3%

図表 2-17 暮らし向き

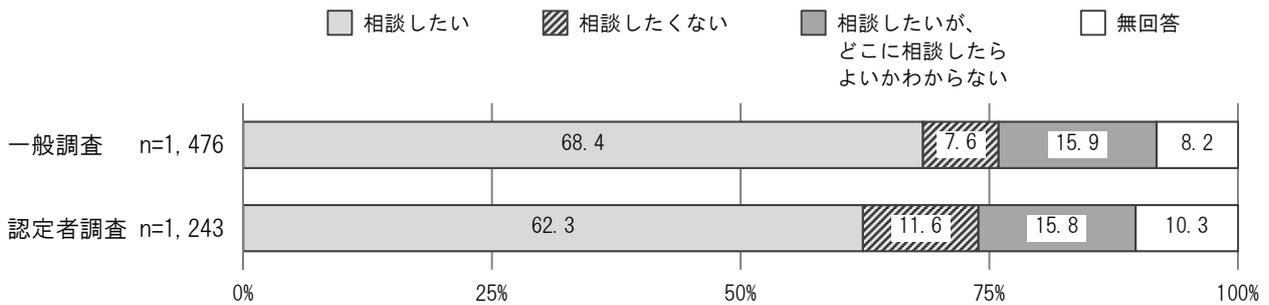


### 6 認知症について

#### (1) 認知症について家族以外に相談する意向

▶認知症になった(かもしれない)ときに、家族以外に「相談したい」は、『一般調査』が68.4%、『認定者調査』は62.3%

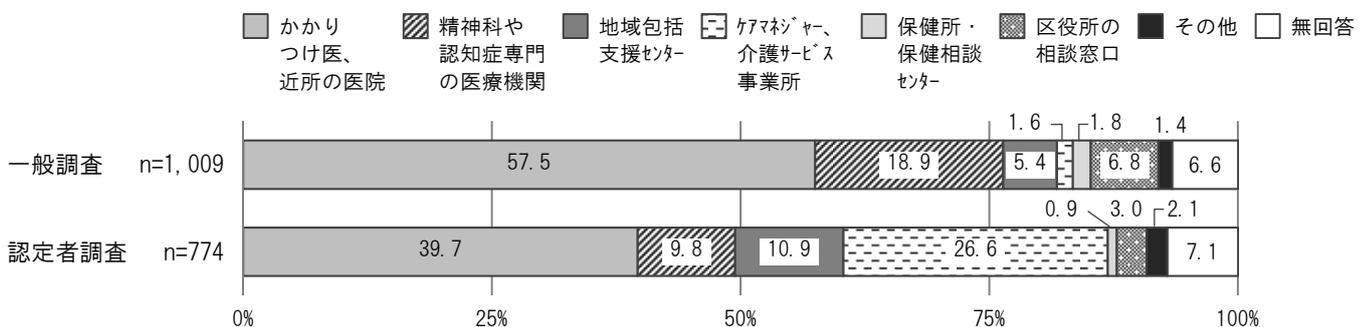
図表 2-18 家族以外に相談する場合の相談先



#### (2) 認知症について家族以外に相談する場合の相談先

▶家族以外の相談先で「かかりつけ医、近所の医院」は、『一般調査』が57.5%、『認定者調査』は39.7%

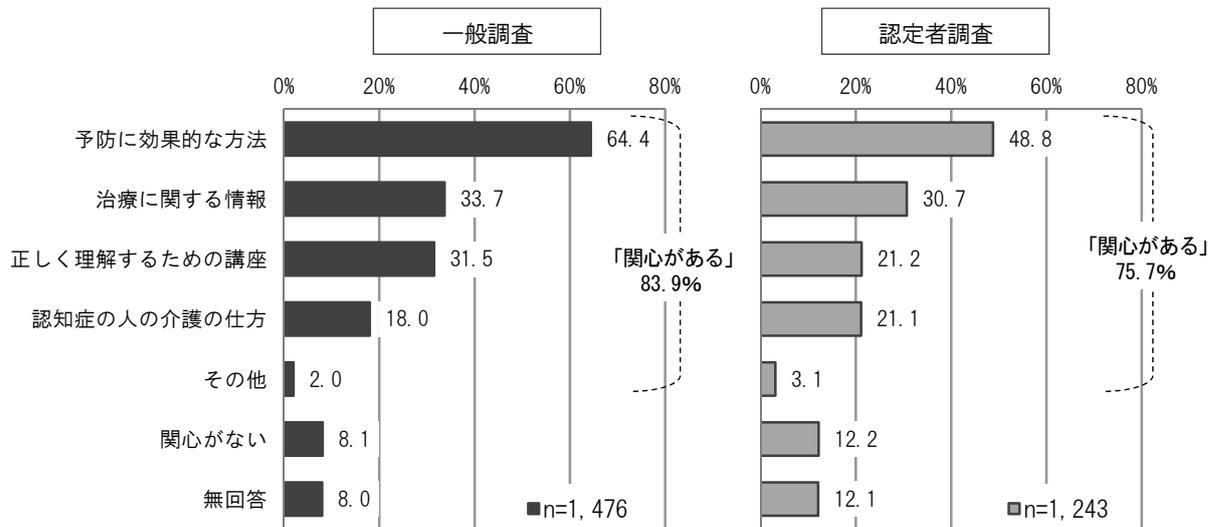
図表 2-19 家族以外に相談する場合の相談先



(3) 認知症のどんなことに関心があるか

▶ 認知症について「関心がある」は、『一般調査』が83.9%、『認定者調査』は75.7%

図表 2-20 認知症のどんなことに関心があるか（複数回答）

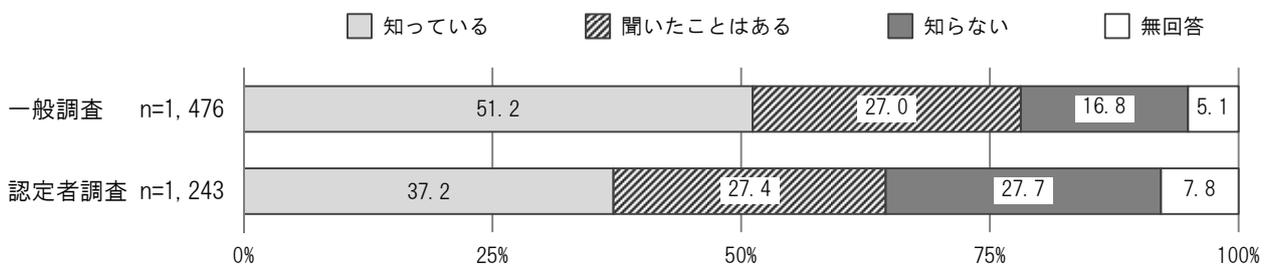


7 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度

▶ 成年後見制度について「知っている」は、『一般調査』が51.2%、『認定者調査』は37.2%

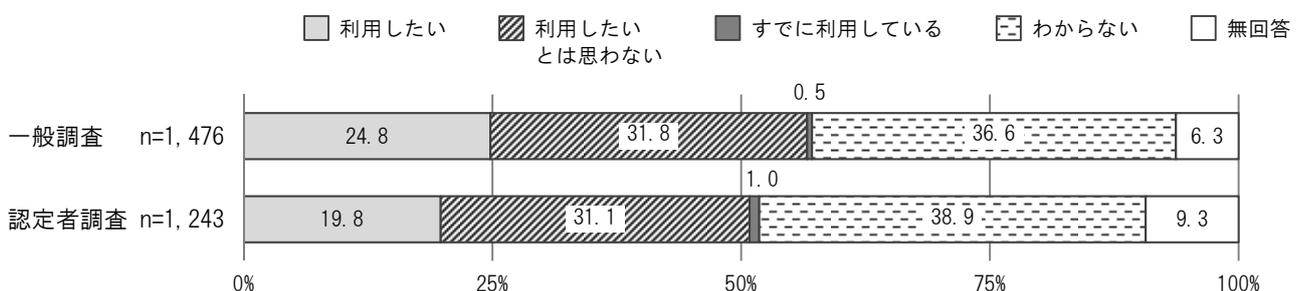
図表 2-21 成年後見制度の認知度



(2) 成年後見制度の利用意向

▶ 認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を「利用したい」は、『一般調査』が24.8%、『認定者調査』は19.8%

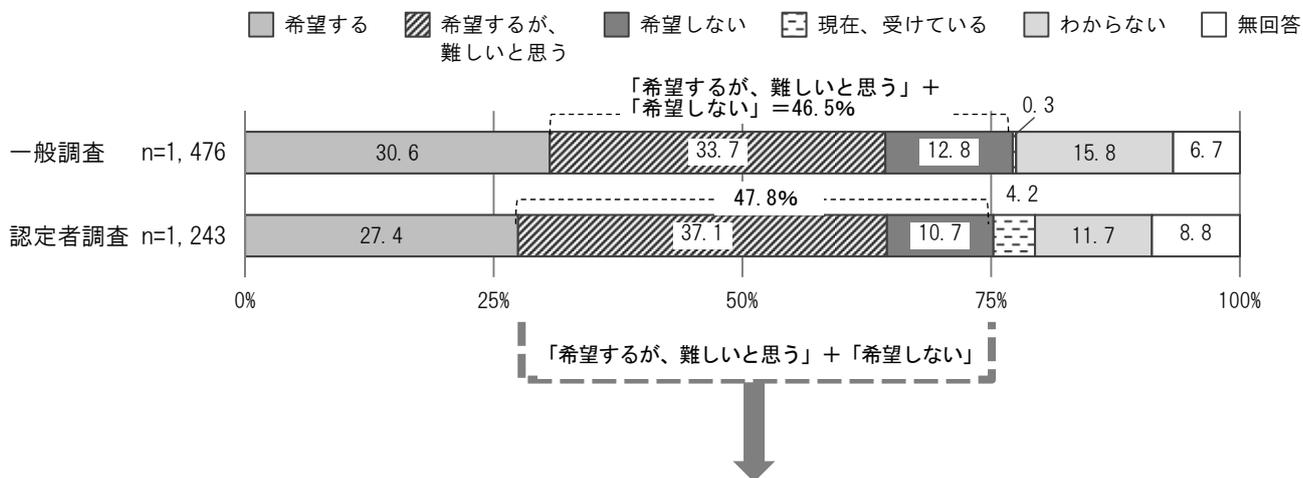
図表 2-22 成年後見制度の利用意向



### 8 在宅療養について

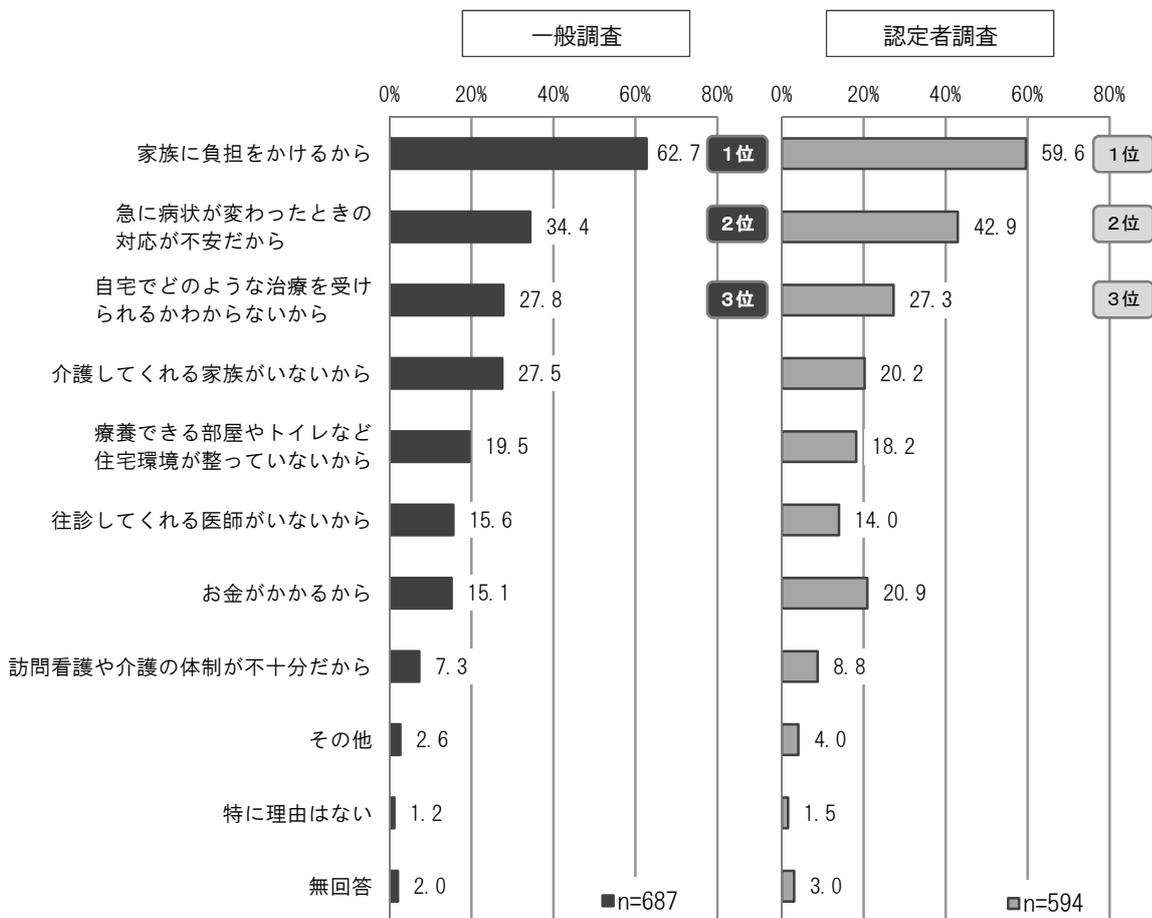
▶ 病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合、在宅療養を「希望する」は、『一般調査』が30.6%、『認定者調査』は27.4%

図表 2-23 在宅療養の希望



▶ 在宅療養を「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人のうち、その理由は「家族に負担をかけるから」が『一般調査』は62.7%、『認定者調査』は59.6%

図表 2-24 在宅療養を希望しない、または難しいと思う理由（3つまで）

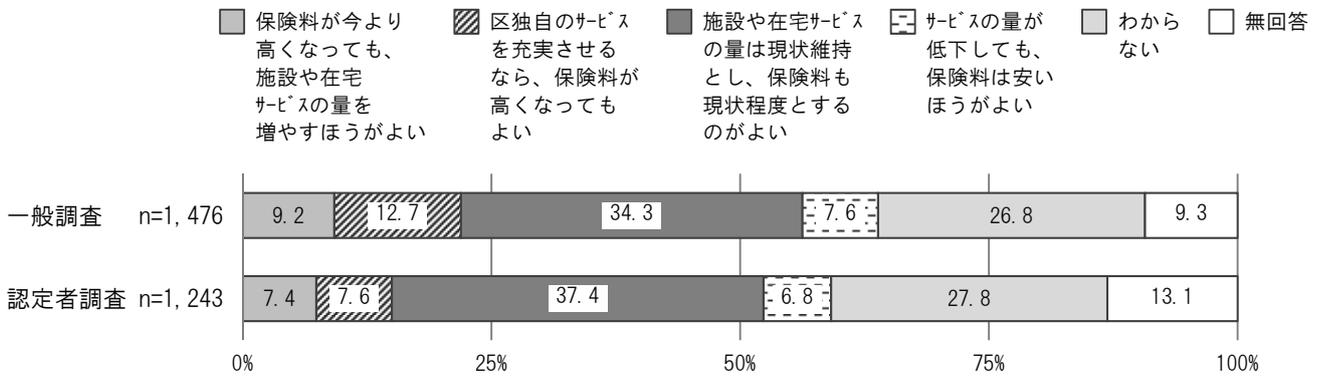


### 9 介護保険制度について

#### (1) 介護保険料とサービスについて

▶介護保険料とサービスは、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、『一般調査』が34.3%、『認定者調査』は37.4%

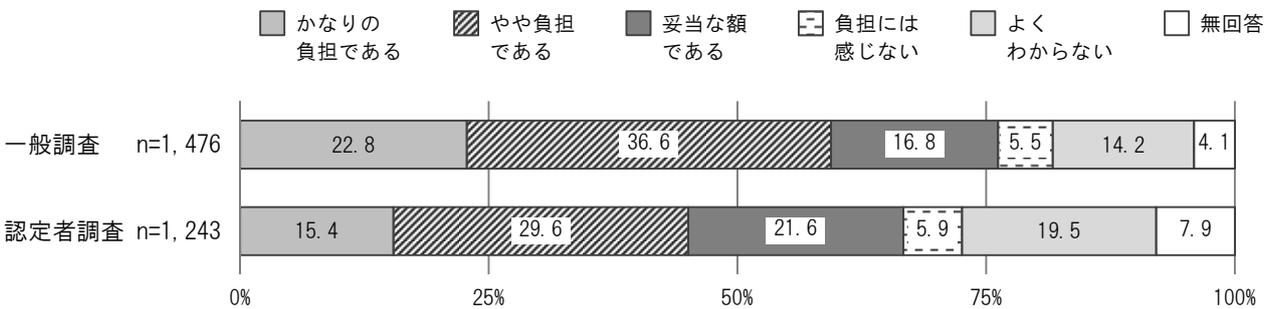
図表 2-25 介護保険料とサービスについて



#### (2) 介護保険料の額について

▶介護保険料の額について「やや負担である」が最も高く、『一般調査』が36.6%、『認定者調査』は29.6%

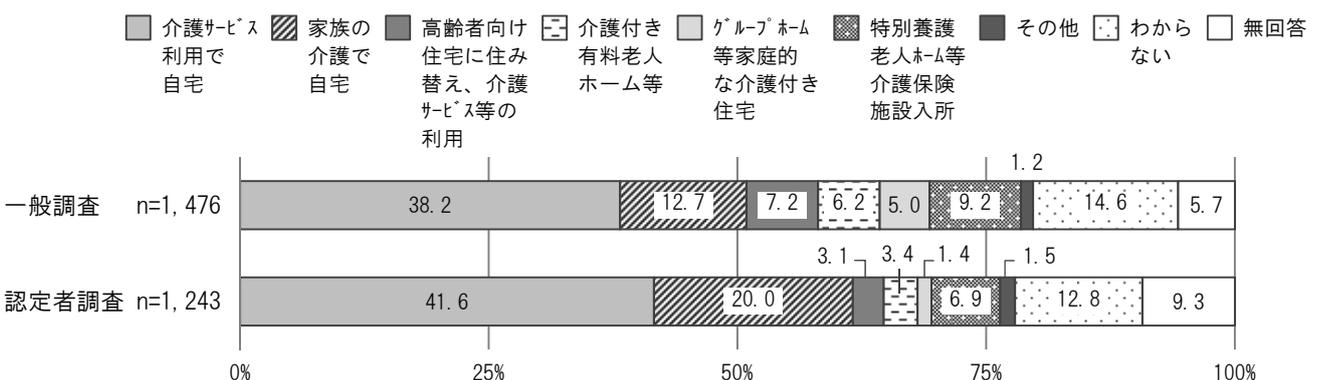
図表 2-26 介護保険料の額について



#### (3) 今後希望する暮らし方

▶今後介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「介護サービス利用で自宅」が最も高く、『一般調査』が38.2%、『認定者調査』は41.6%

図表 2-27 今後希望する暮らし方

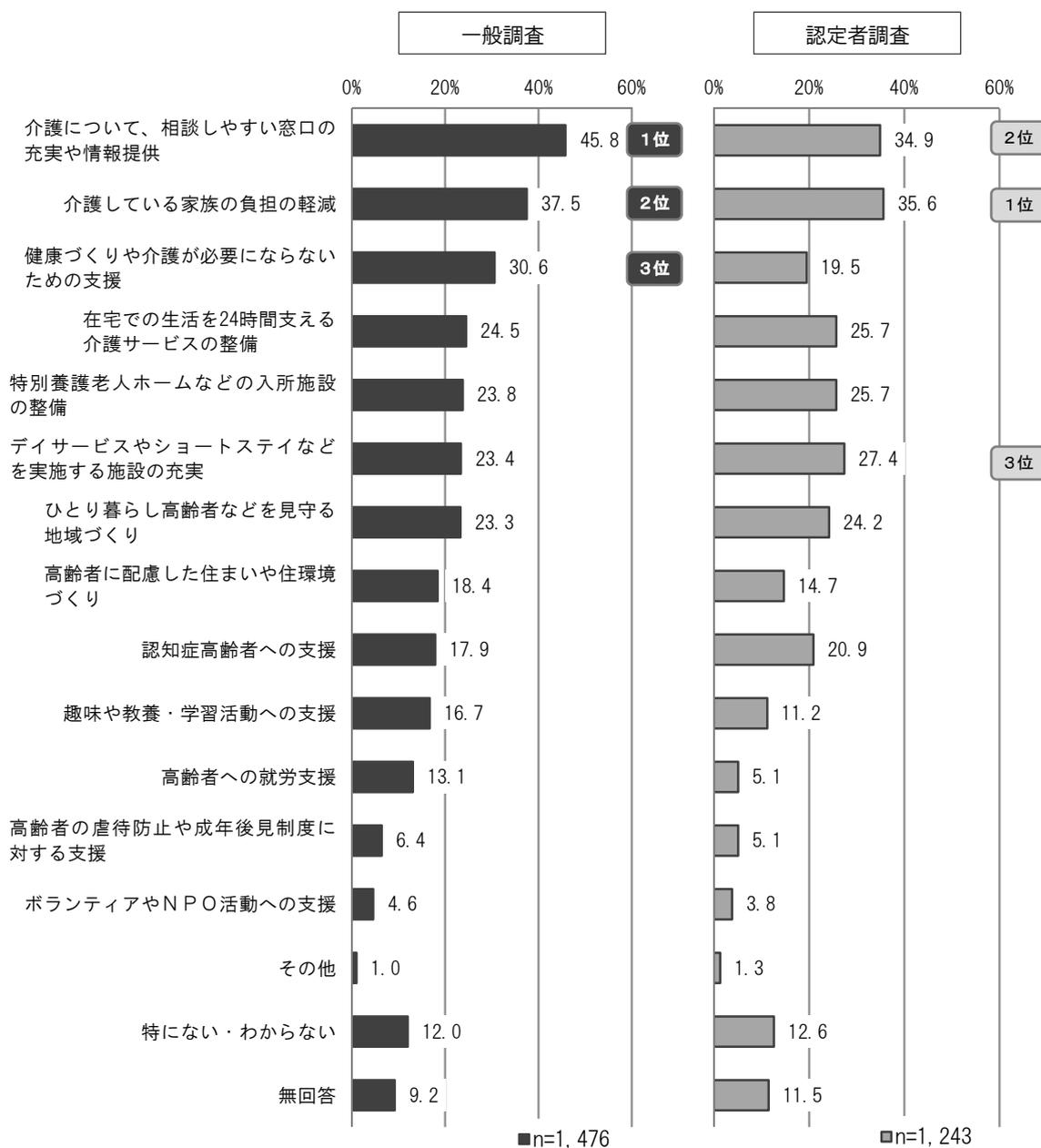


10 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策

▶区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、『一般調査』は「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が45.8%、『認定者調査』は「介護している家族の負担の軽減」が35.6%

- ・一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。3位は、一般調査では「健康づくりや介護が必要にならないための支援」、認定者調査では「デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実」となっている。[図表 2-28]

図表 2-28 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）



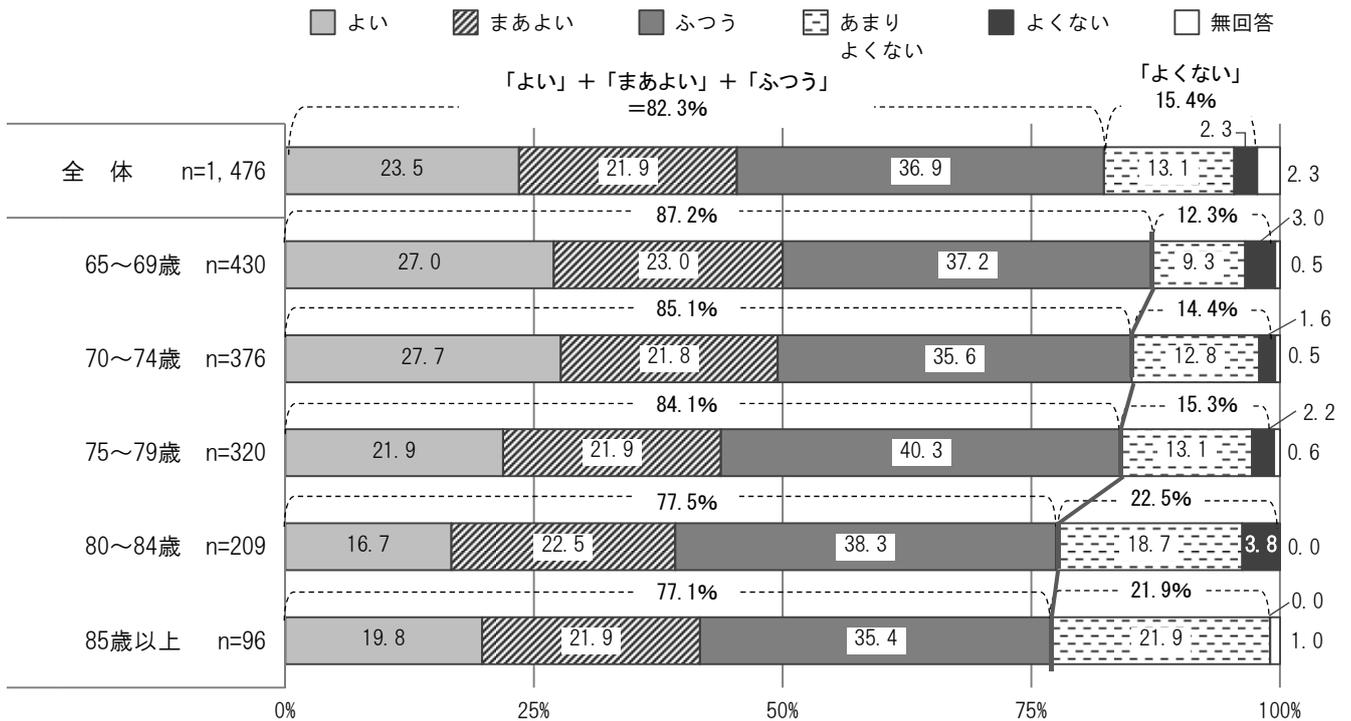
### III 一般高齢者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数(人)であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

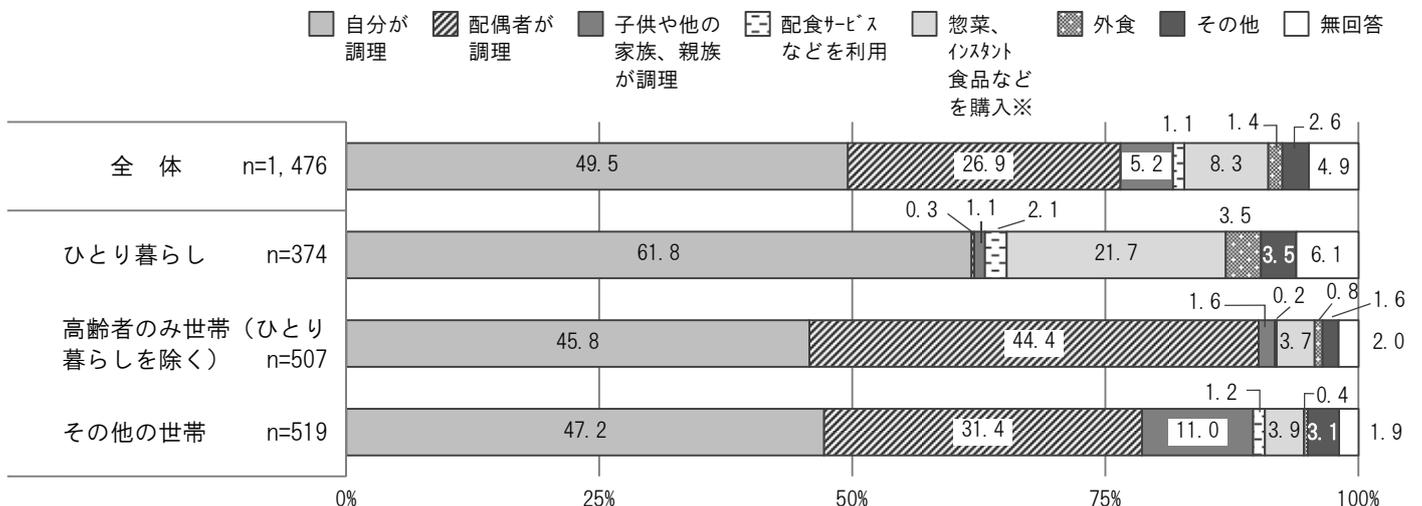
- ▶健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると82.3%
- ▶ふだんの食事の用意は、「自分が調理」が49.5%

- ・健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」が、高齢になるにつれて低くなっている。[図表 2-29]
- ・ふだんの食事の用意は、『ひとり暮らし』では「自分が調理」61.8%、「惣菜、インスタント食品などを購入」が21.7%となっている。[図表 2-30]

図表 2-29 健康状態／年齢別



図表 2-30 ふだんの食事の用意／家族構成別

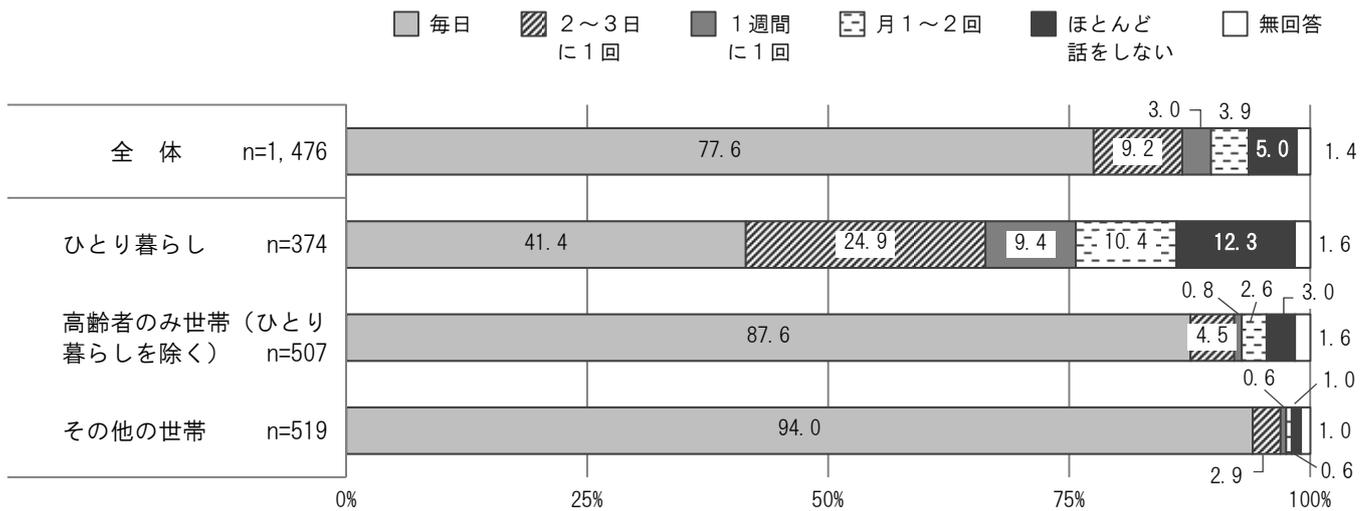


※「惣菜、インスタント食品などを購入」 = 「スーパー・コンビニなどで惣菜、インスタント食品などを購入」

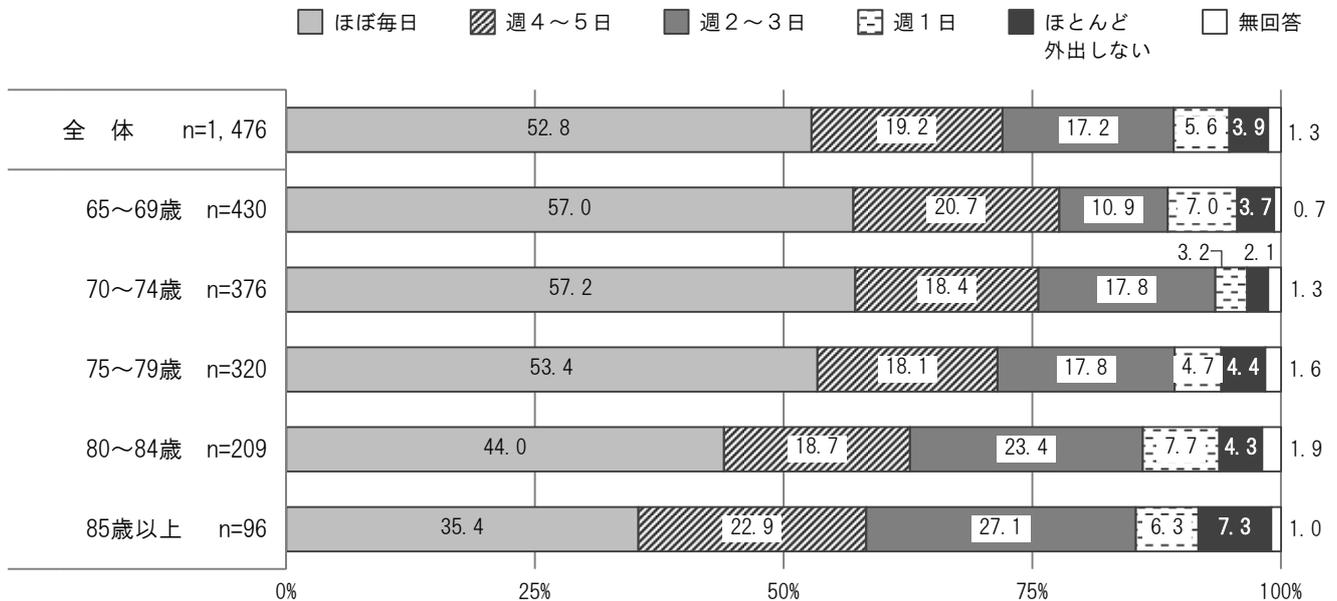
- ▶コミュニケーションについて、家族・親族・知人等との会話は「毎日」が77.6%、『ひとり暮らし』は41.4%
- ▶外出の頻度は、「ほぼ毎日」が52.8%

・家族・親族・知人等との会話は、『ひとり暮らし』では「2～3日に1回」が24.9%、「ほとんど話をしない」が12.3%となっている。[図表 2-31]

図表 2-31 家族・親族・知人等との会話／家族構成別



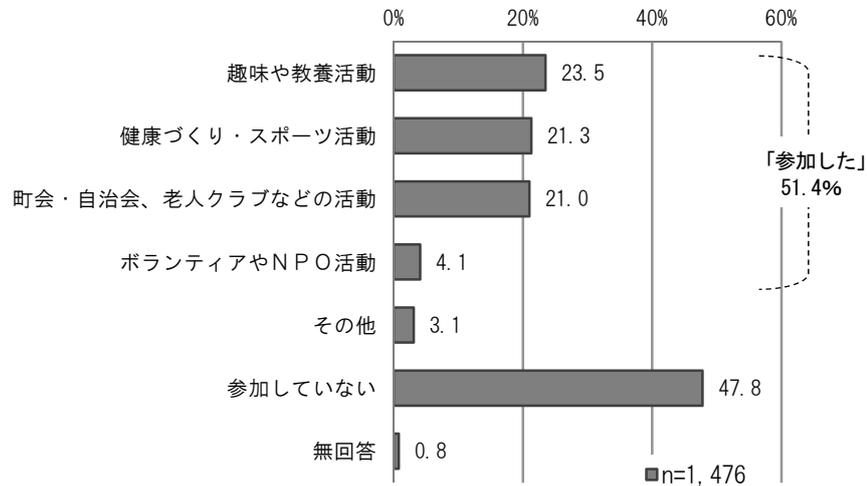
図表 2-32 1週間の外出頻度／年齢別



## ▶ 1年間に行った地域活動等に「参加した」は51.4%、活動は「趣味や教養活動」が23.5%

- ・ 1年間に行った趣味やスポーツ、地域活動などは「趣味や教養活動」が23.5%、「健康づくり・スポーツ活動」が21.3%、「町会・自治会、老人クラブなどの活動」が21.0%となっている。[図表 2-33]

図表 2-33 1年間に行った地域活動等（複数回答）

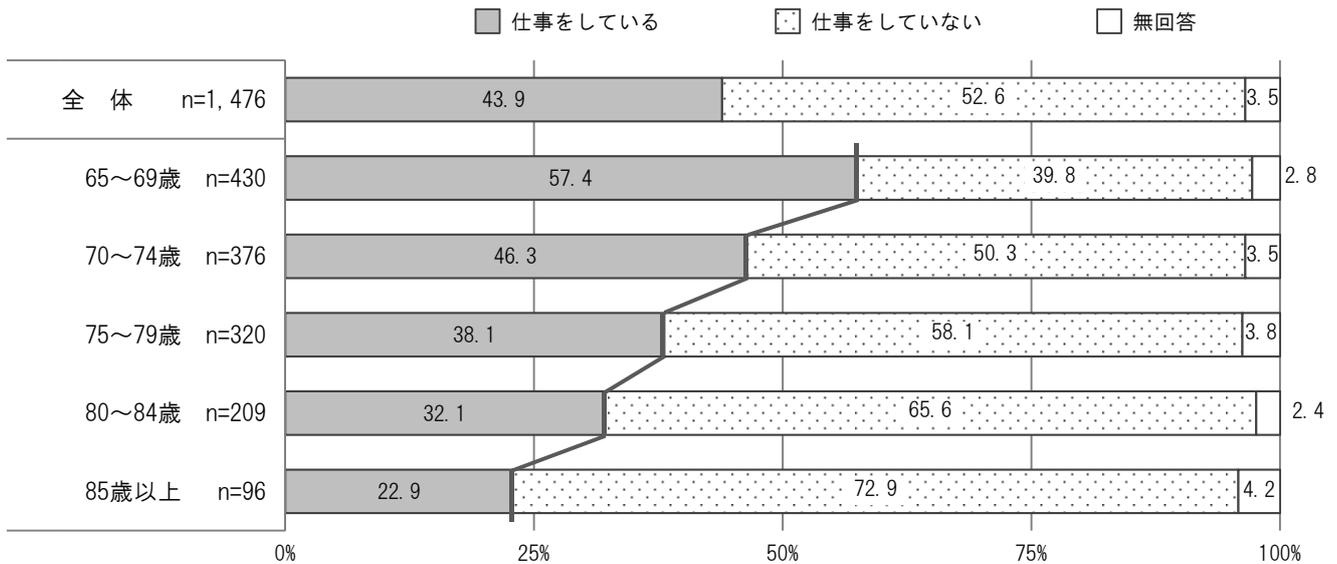


※「参加した」=100%－「参加していない」－「無回答」

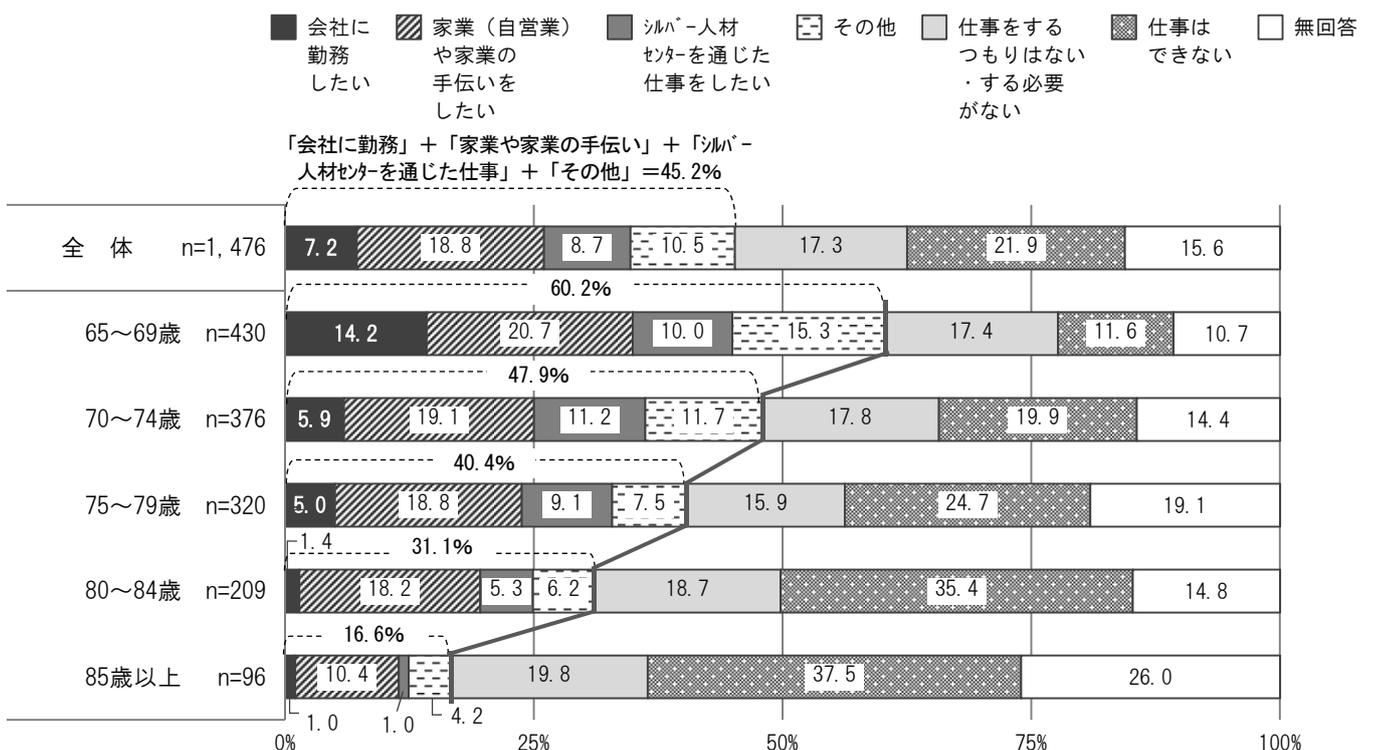
▶ 現在、収入のある「仕事をしている」が43.9%、年齢では『65～69歳』が57.4%  
 ▶ 今後の就労意向は、「会社に勤務したい」「家業（自営業）や家業の手伝いをしたい」「シルバー人材センターを通じた仕事をしたい」「その他」を合わせると45.2%

- ・就労状況は、高齢になるにつれて低くなっている。[図表 2-34]
- ・今後の就労意向がある割合は、『65～69歳』が60.2%、『70～74歳』が47.9%、『75～79歳』が40.4%で、いずれも「家業（自営業）や家業の手伝いをしたい」が最も高い。[図表 2-35]

図表 2-34 就労状況／年齢別

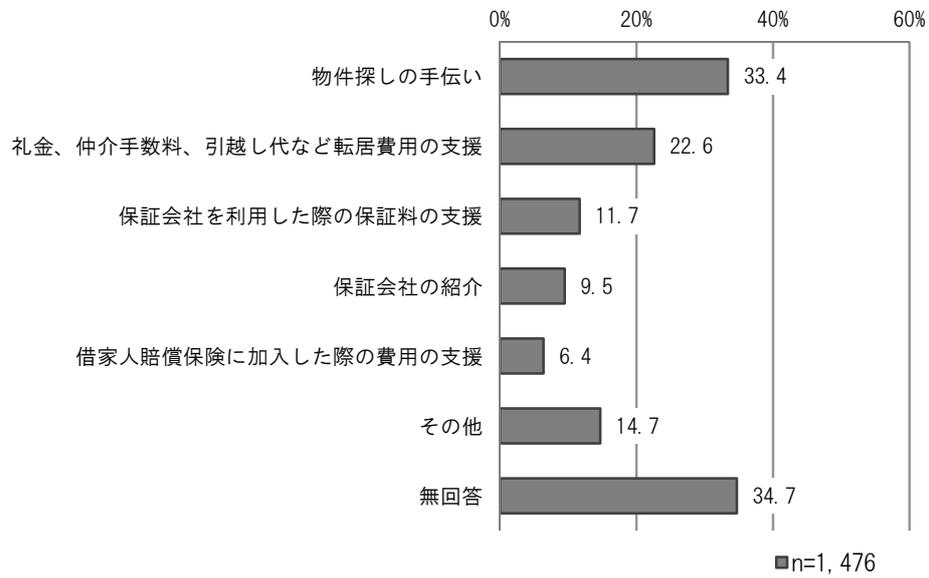


図表 2-35 今後の就労意向／年齢別



▶ 今後、住み替えが必要となった場合に望む支援は、「物件探しの手伝い」が 33.4%、「礼金、仲介手数料、引越し代など転居費用の支援」が 22.6%

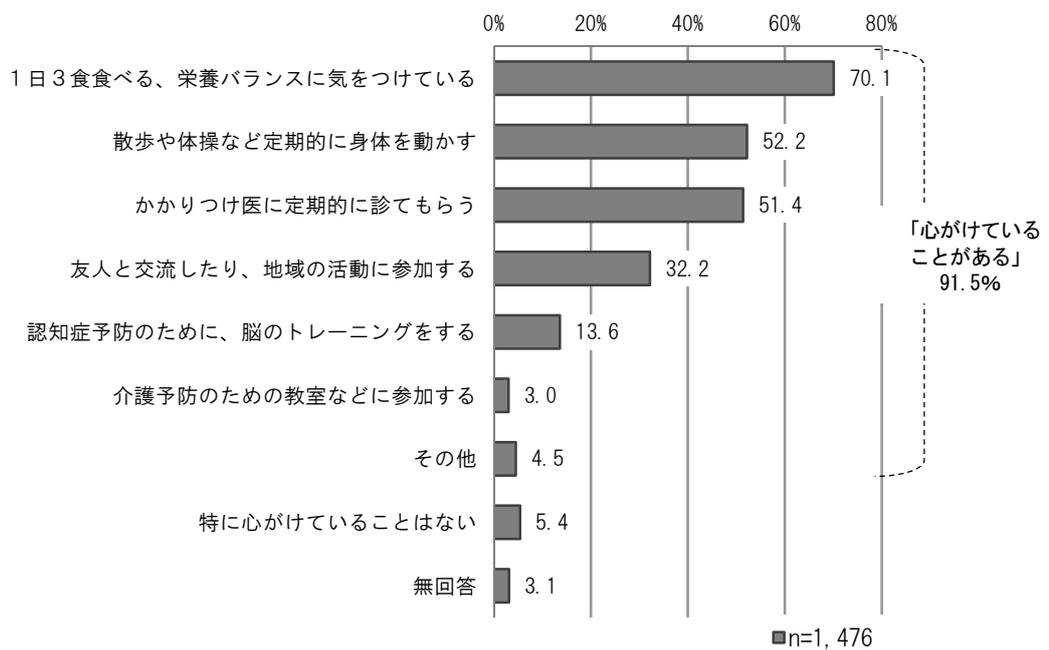
図表 2-36 住み替えが必要な場合に望む支援（複数回答）



▶介護が必要にならないために「心がけていることがある」が91.5%  
 ▶介護予防教室に「参加してみたい」は61.2%

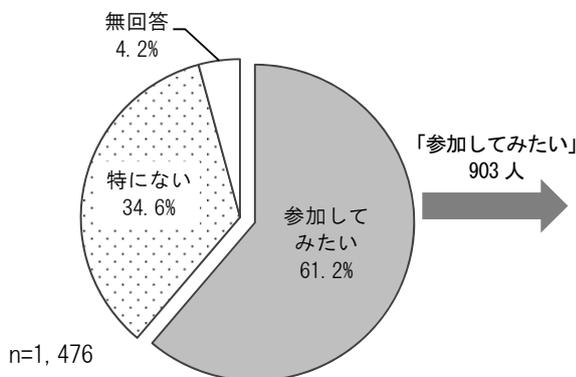
- ・介護が必要にならないために心がけていることは、「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が70.1%で最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」が52.2%、「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」が51.4%となっている。[図表 2-37]
- ・介護予防教室に参加してみたい人は61.2%で、そのうち参加してみたい教室は「運動機能向上について」「膝痛や腰痛の対策・予防について」が各51.8%、「認知症予防やうつ予防について」が41.2%となっている。[図表 2-38、2-39]

図表 2-37 介護が必要にならないために心がけていること（複数回答）

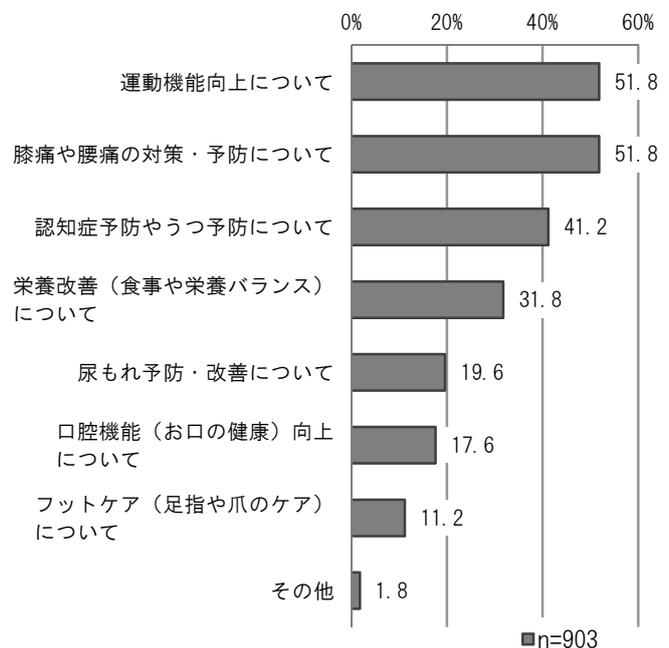


※「心がけていることがある」=100%−「特に心がけていることはない」−「無回答」

図表 2-38 介護予防教室への参加意向



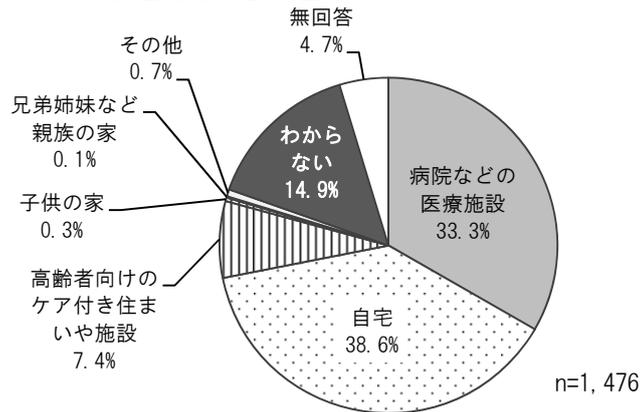
図表 2-39 参加してみたい介護予防教室（複数回答）



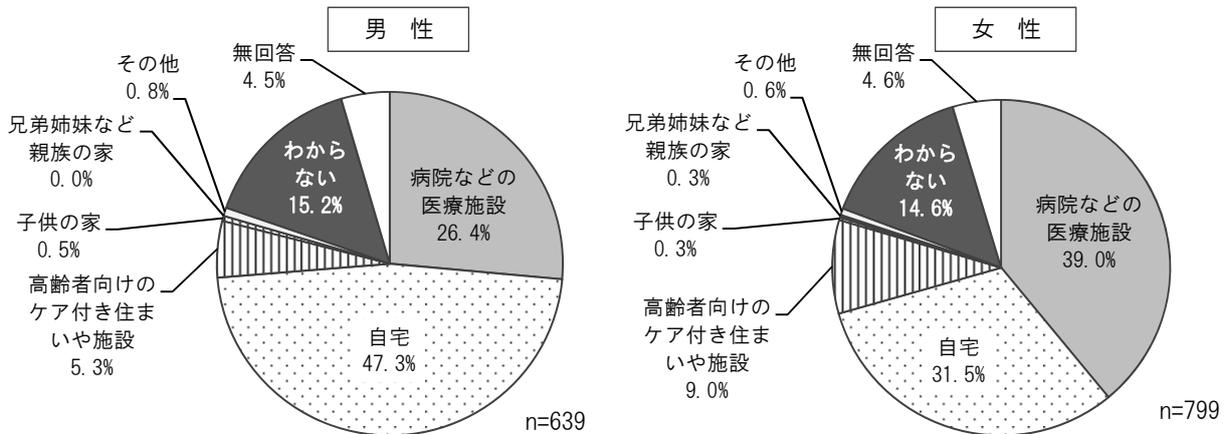
▶病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所は、「自宅」が38.6%、「病院などの医療施設」は33.3%

- ・病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所は、「自宅」が38.6%で最も高く、次いで「病院などの医療施設」が33.3%、「高齢者向けのケア付き住まいや施設」が7.4%となっている。[図表 2-40]
- ・性別にみると、男性は「自宅」が47.3%、女性は「病院などの医療施設」が39.0%で最も高くなっている。[図表 2-41]

図表 2-40 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所



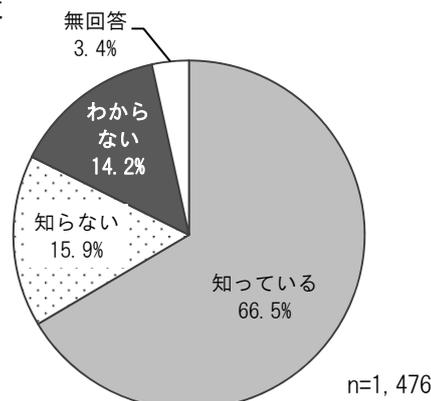
図表 2-41 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所／性別



▶介護保険制度のしくみを「知っている」は66.5%

- ・介護保険制度のしくみを「知っている」は66.5%、「知らない」が15.9%となっている。[図表 2-42]

図表 2-42 介護保険制度のしくみの認知度



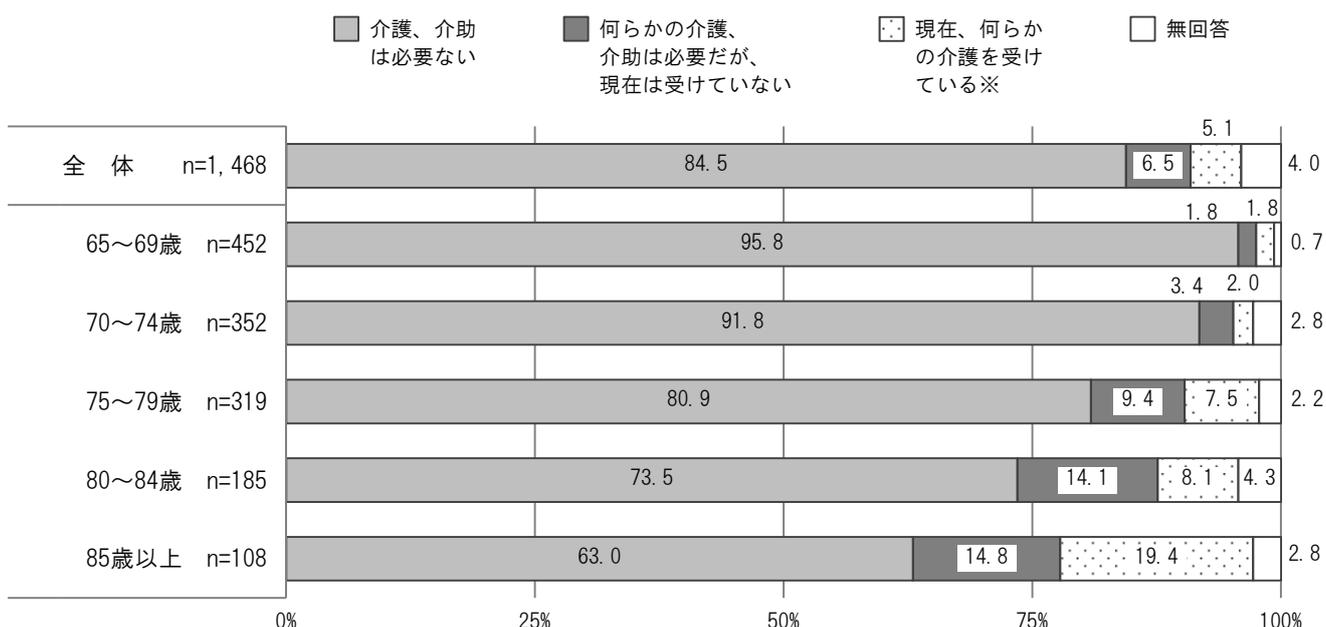
## IV 台東区日常生活圏域ニーズ調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数(人)であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

日常生活圏域ニーズ調査は、主に生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握し、高齢者の生活状態にあった介護(予防)サービスの提供や検討を行うための調査である。

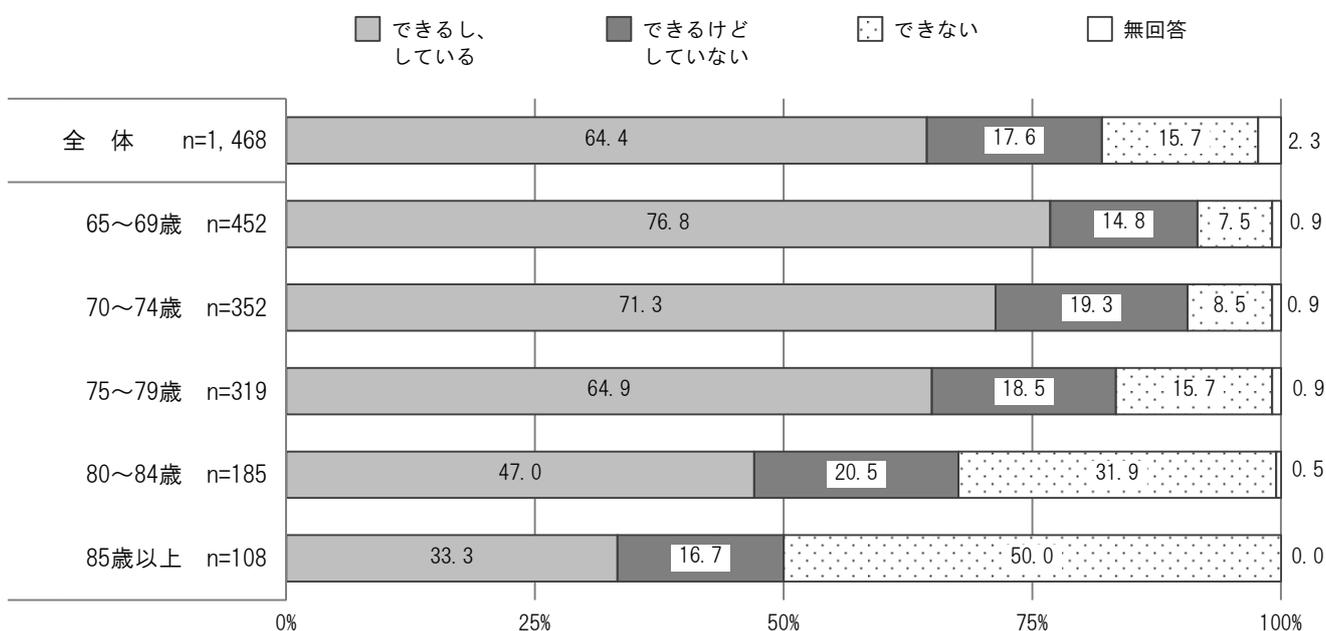
▶ 介護、介助の状況は、「介護、介助は必要ない」が84.5%  
 ▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できるし、している」は64.4%

図表 2-43 介護、介助の状況／年齢別



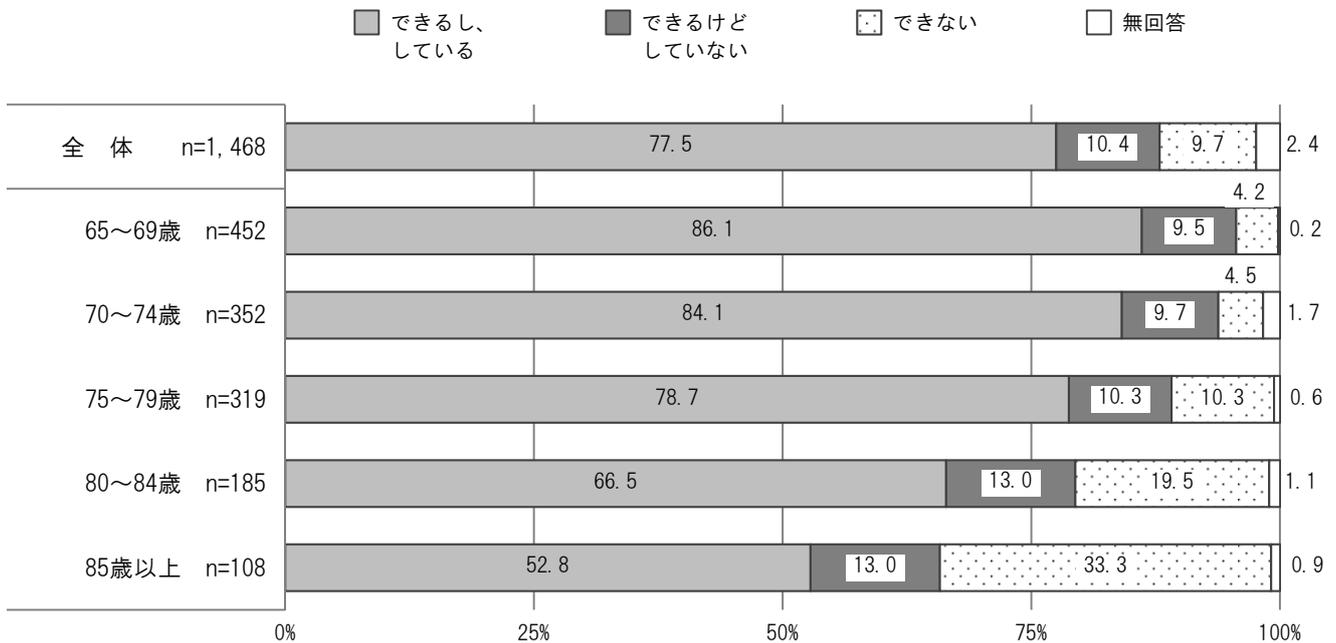
※現在、何らかの介護を受けている＝現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

図表 2-44 階段を手すりや壁をつたわずに昇る／年齢別

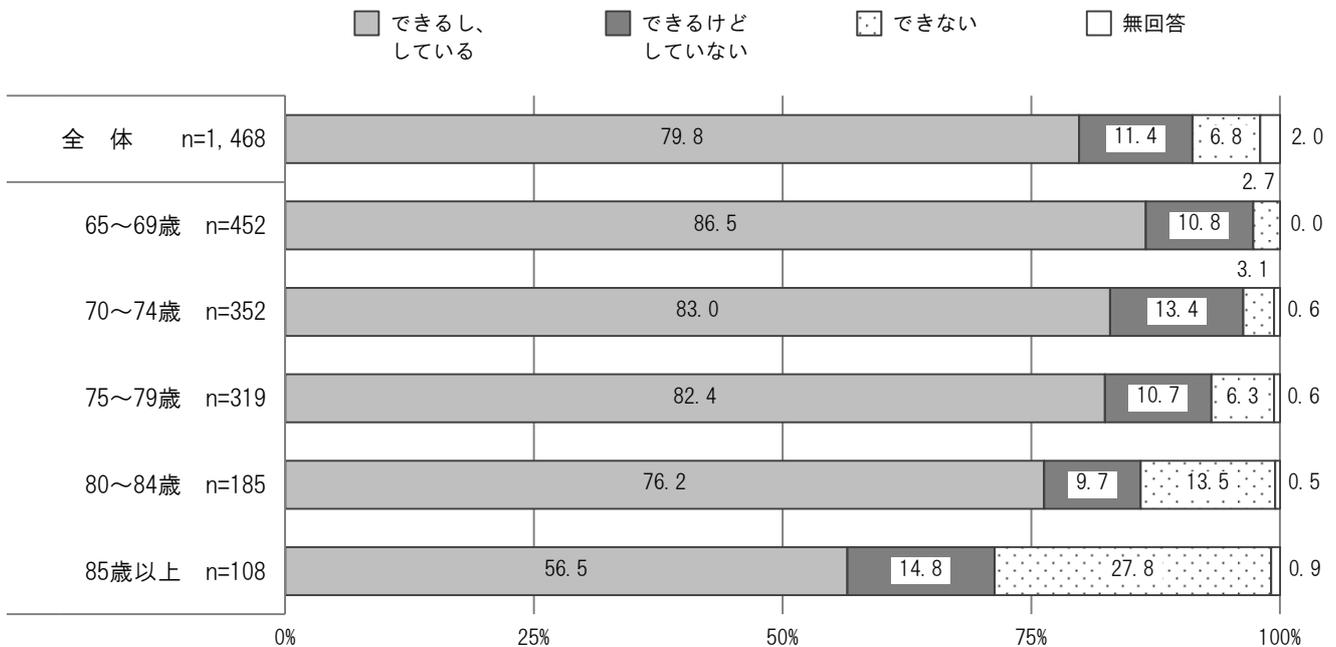


▶椅子から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」は77.5%  
 ▶15分位続けて歩くことが「できるし、している」は79.8%

図表 2-45 椅子から何もつかまらずに立ち上がる／年齢別

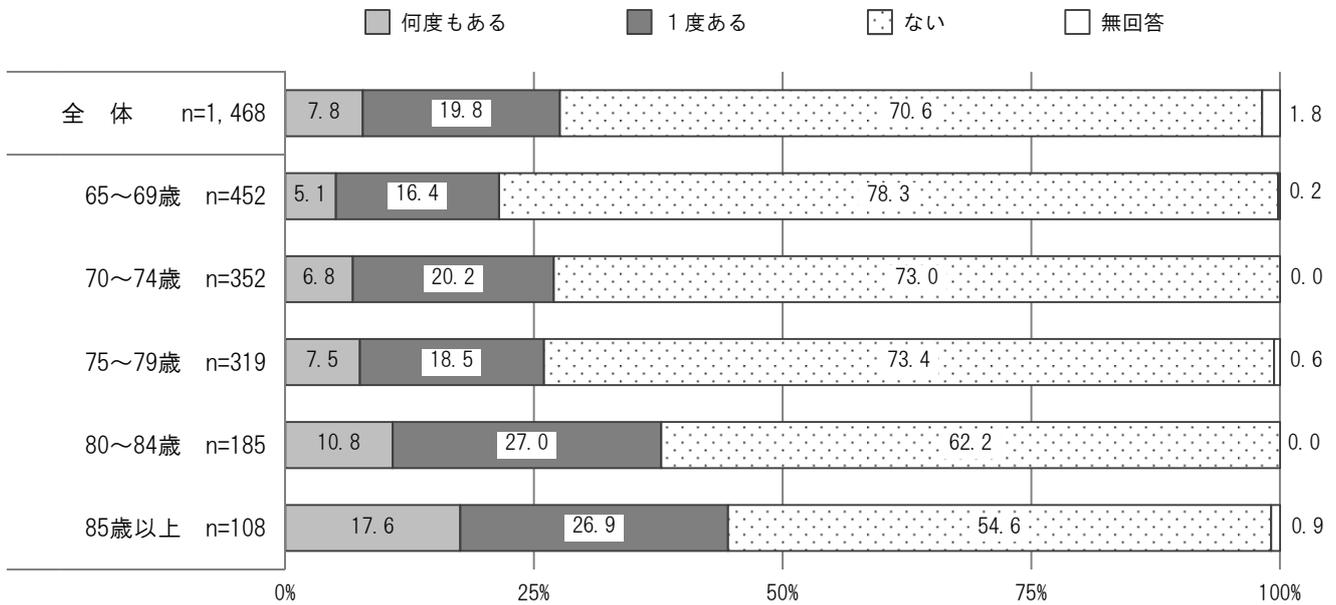


図表 2-46 15分位続けて歩く／年齢別

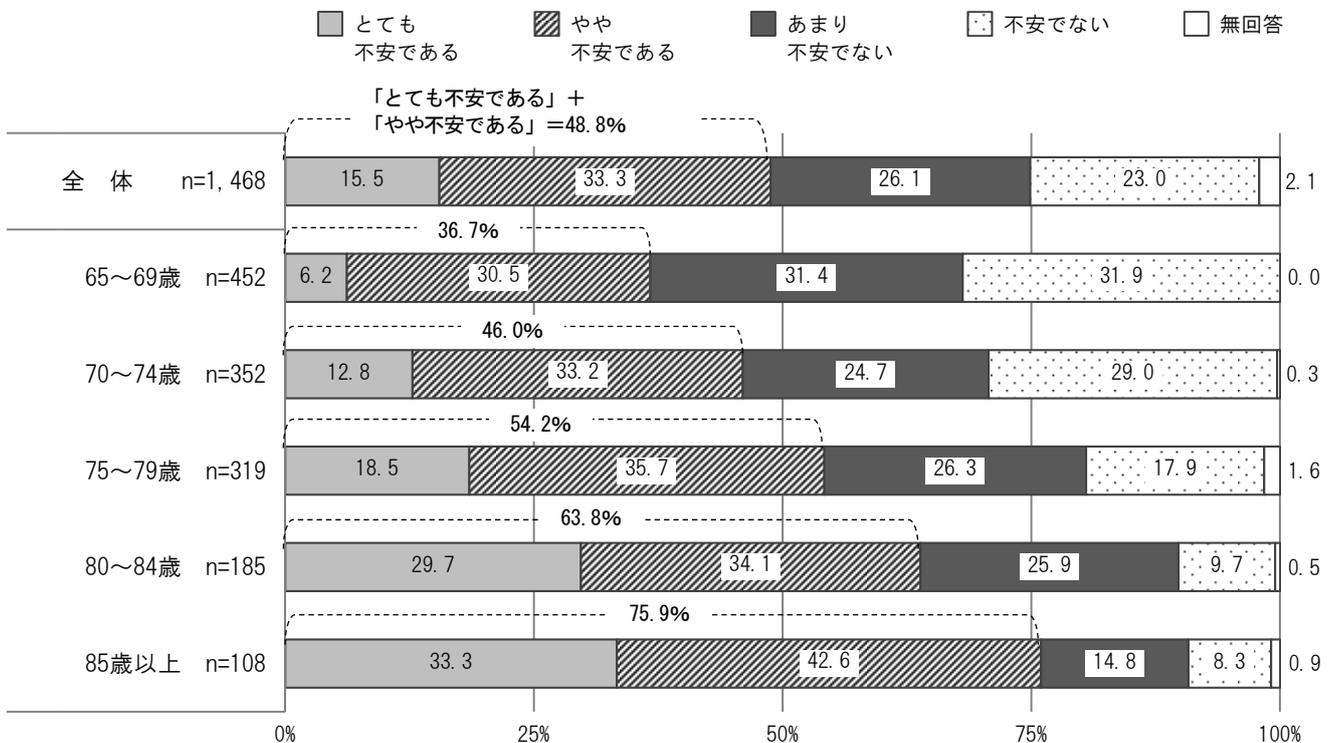


▶過去1年間に転んだ経験が「ない」は70.6%  
 ▶転倒に対する不安は「とても不安である」「やや不安である」を合わせると48.8%

図表 2-47 過去1年間に転んだ経験／年齢別

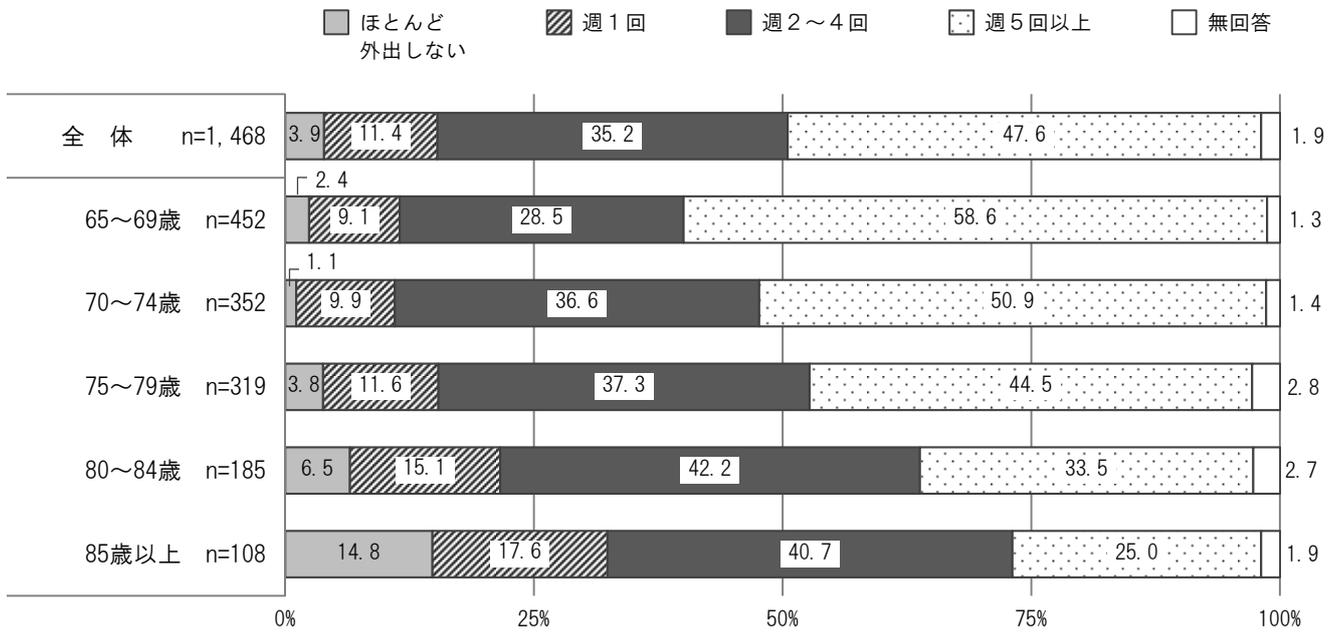


図表 2-48 転倒に対する不安が大きい／年齢別

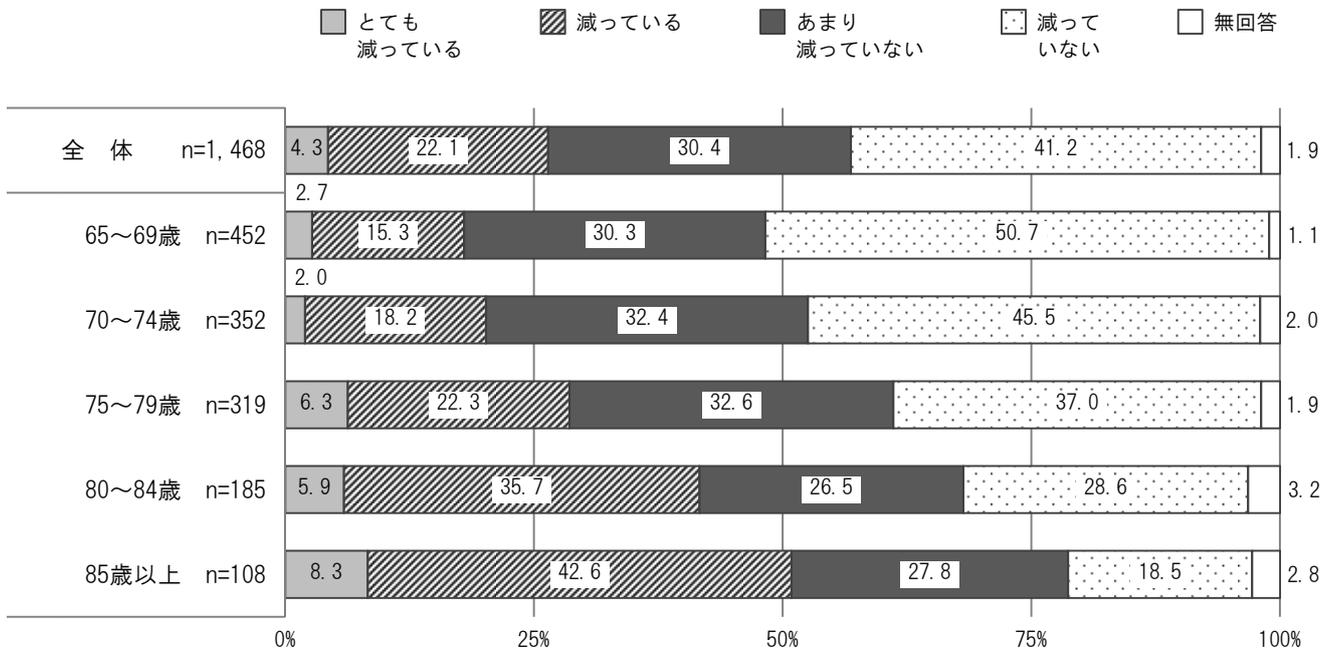


▶ 週の外出状況は、「週5回以上」が47.6%、「週2～4回」が35.2%  
 ▶ 昨年の外出回数と比べると「減っていない」が41.2%、「あまり減っていない」は30.4%

図表 2-49 週1回以上外出している／年齢別

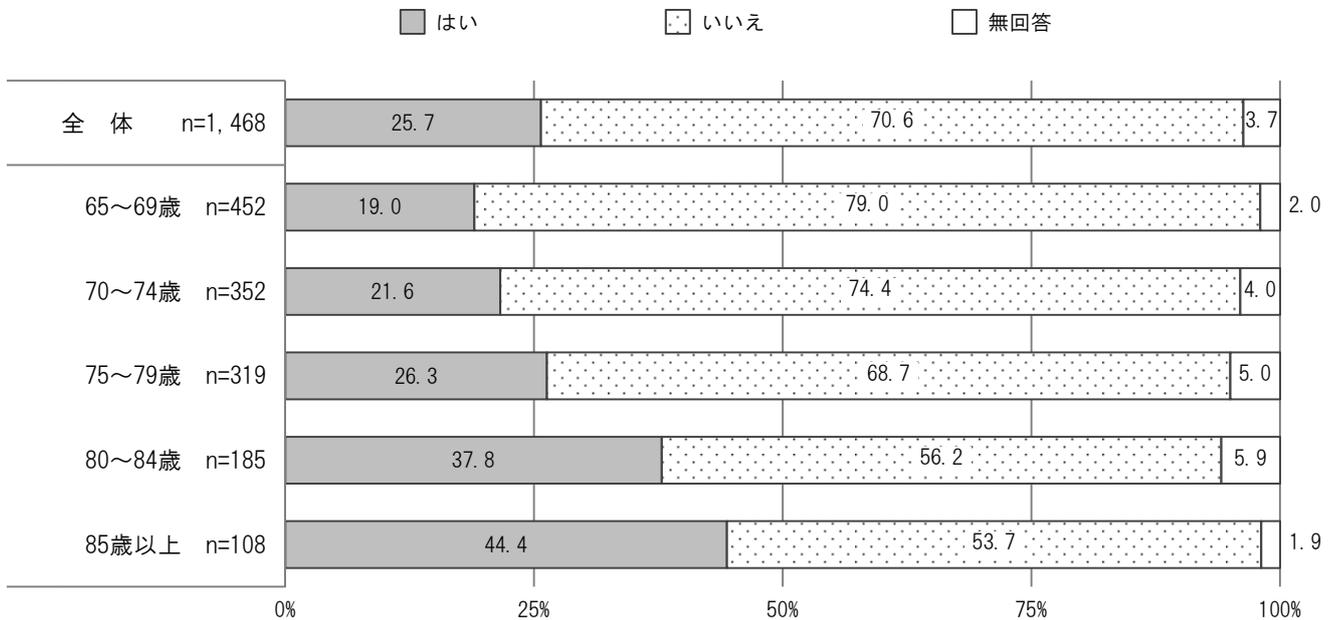


図表 2-50 昨年と比べて外出回数が減った／年齢別

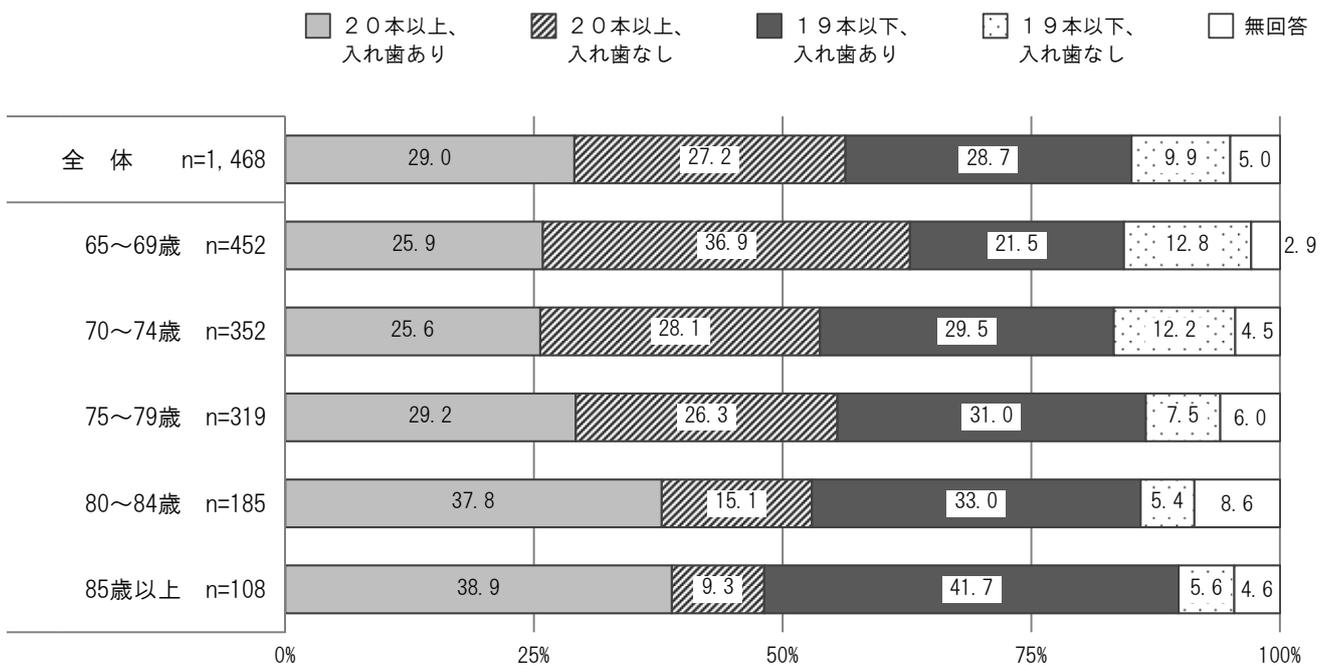


▶半年前より固いものが食べにくくなったかでは、「いいえ」が70.6%  
 ▶歯の数と入れ歯の状況は、「20本以上、入れ歯あり」が29.0%、「19本以下、入れ歯あり」が28.7%

図表 2-51 半年前に比べて固いものが食べにくくなった／年齢別

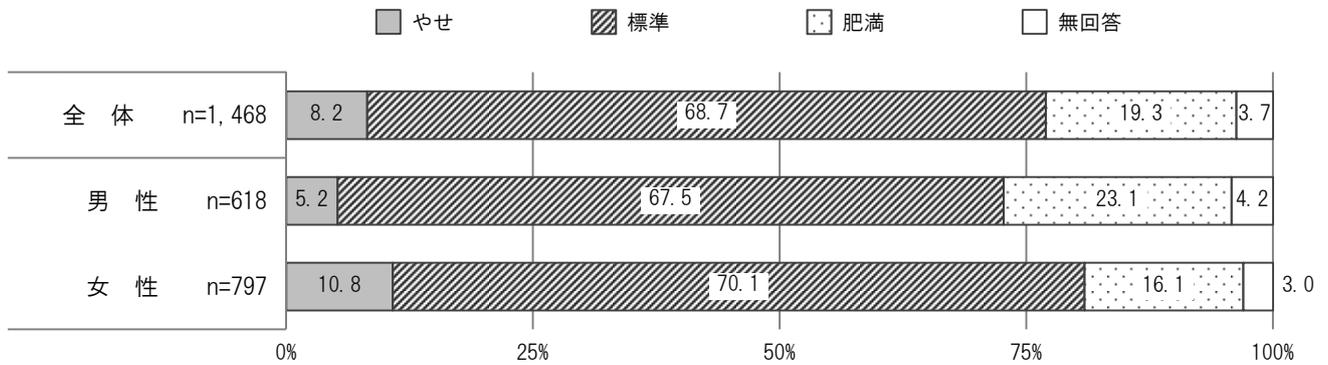


図表 2-52 歯の数と入れ歯の利用状況／年齢別

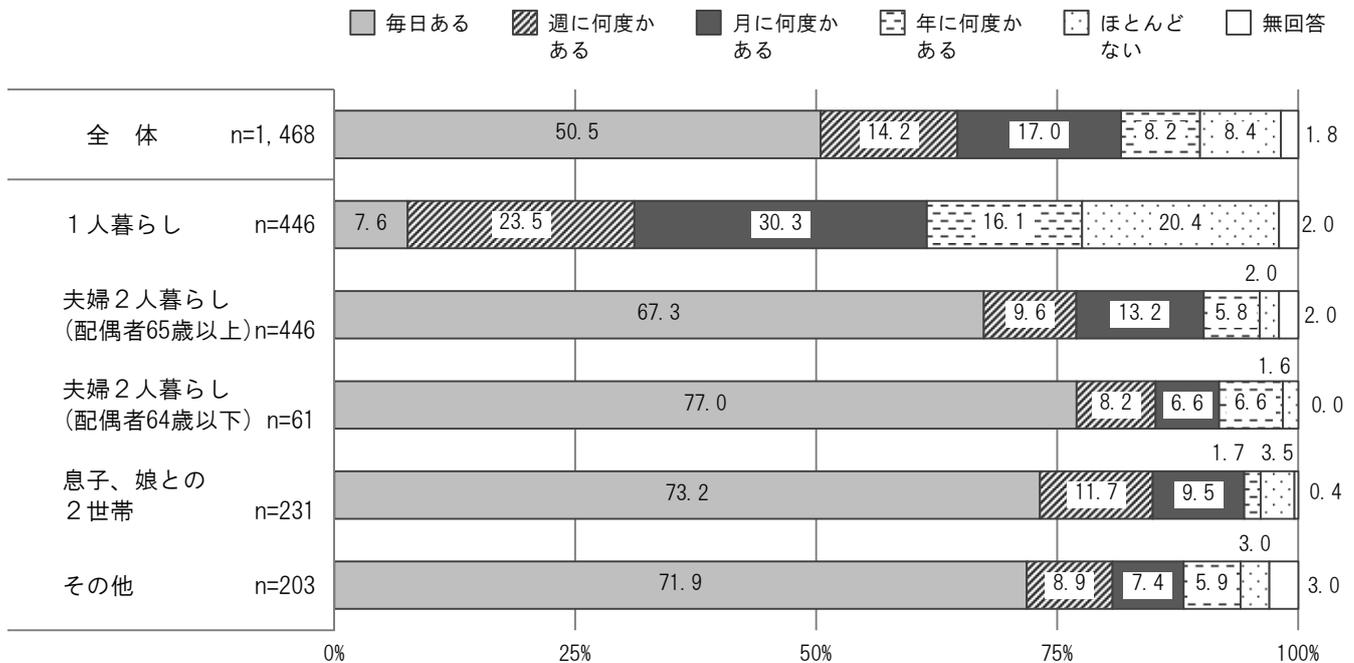


▶ 体格の判定は、「やせ」は男性が5.2%、女性は10.8%  
 ▶ だれかと食事をとる頻度は、「毎日ある」が50.5%、「ほとんどない」は8.4%

図表 2-53 体格の判定／性別

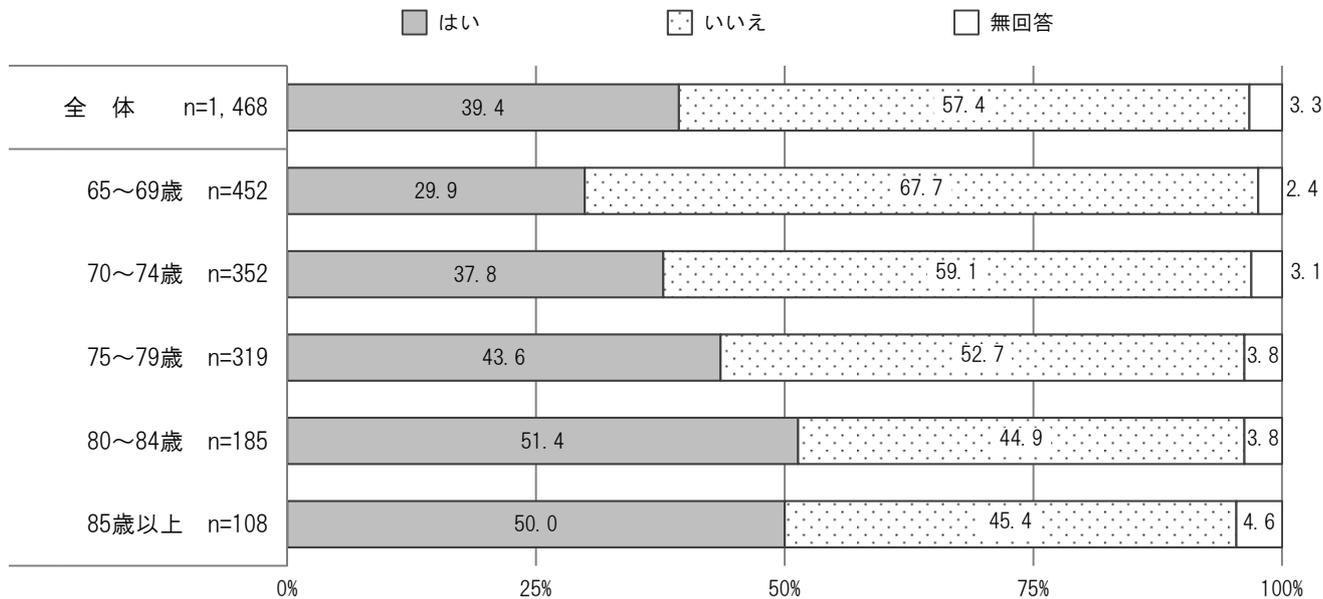


図表 2-54 だれかと食事をとる機会／家族構成別

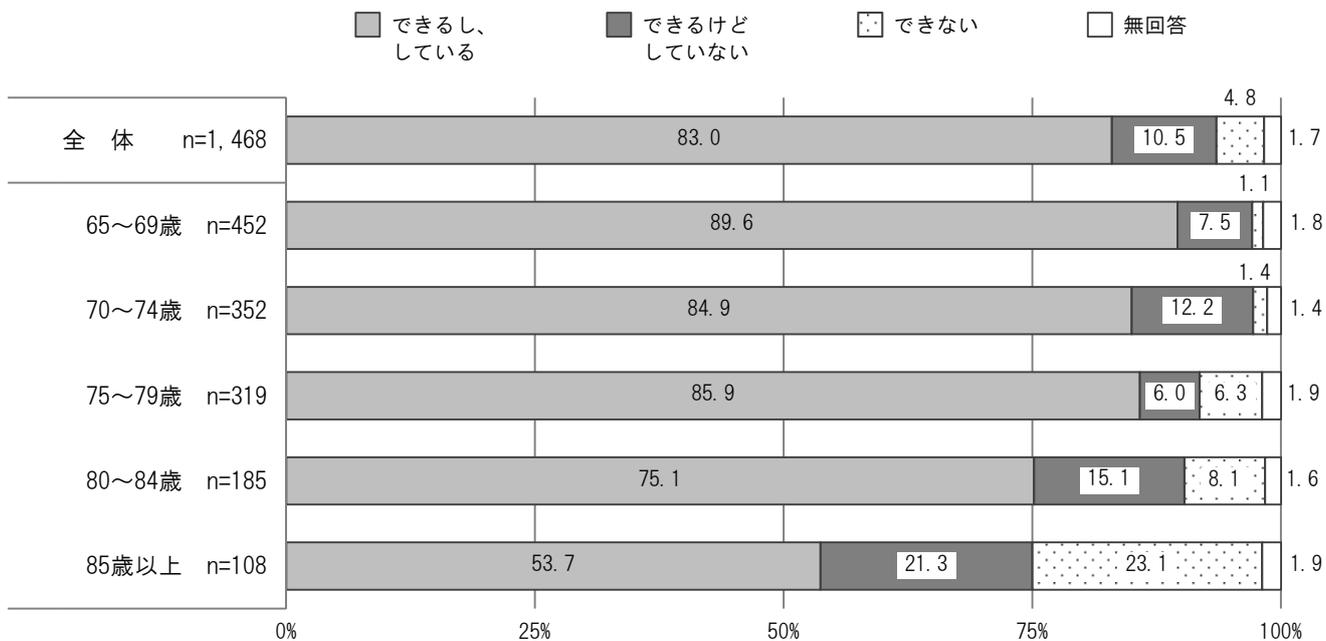


- ▶物忘れが多いと感じるかでは、「いいえ」が57.4%
- ▶バスや電車で1人での外出が「できるし、している」は83.0%、「できるけどしていない」は10.5%

図表 2-55 物忘れが多いと感じる／年齢別

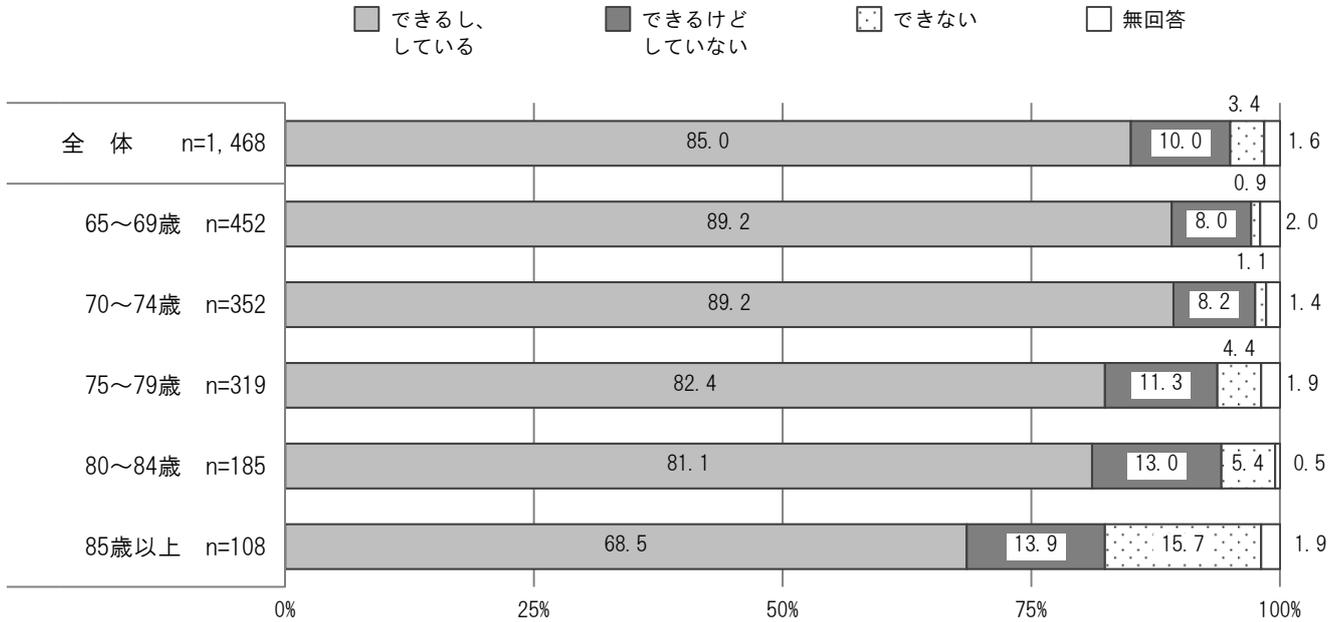


図表 2-56 バスや電車で1人で外出する／年齢別

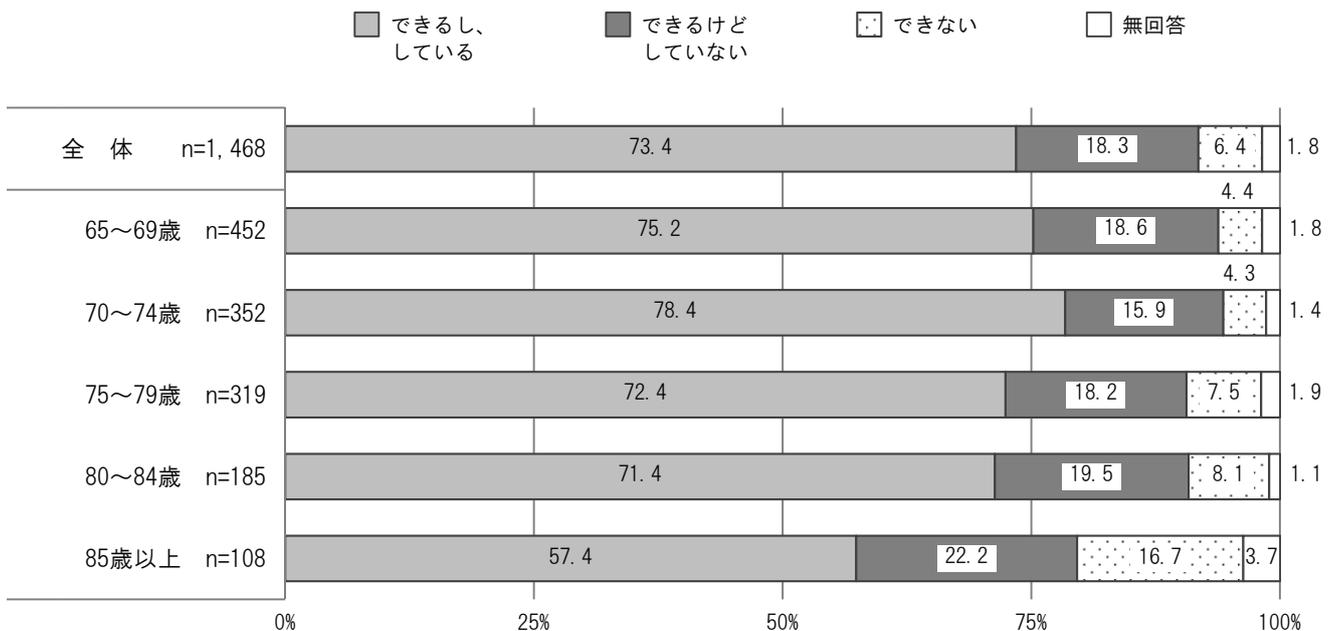


- ▶ 自分で食品・日用品の買い物が「できるし、している」は 85.0%、「できるけどしていない」は 10.0%
- ▶ 自分で食事の用意が「できるし、している」は 73.4%、「できるけどしていない」は 18.3%

図表 2-57 自分で食品・日用品の買い物をする／年齢別



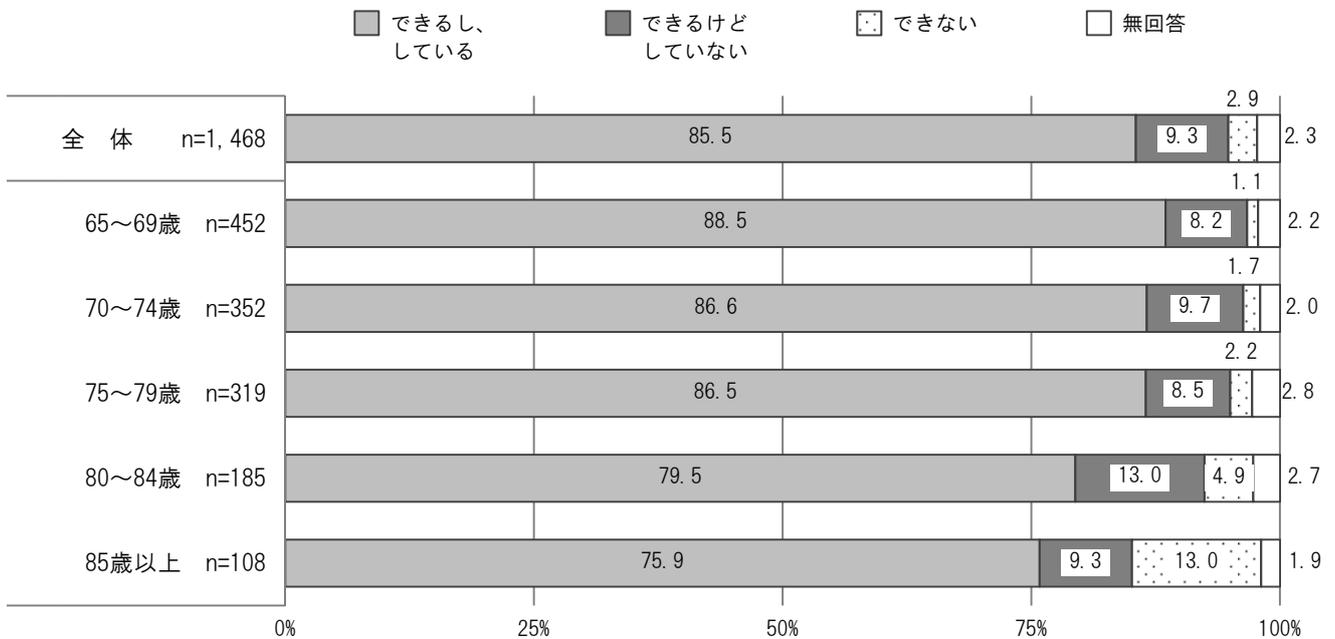
図表 2-58 自分で食事の用意をする／年齢別



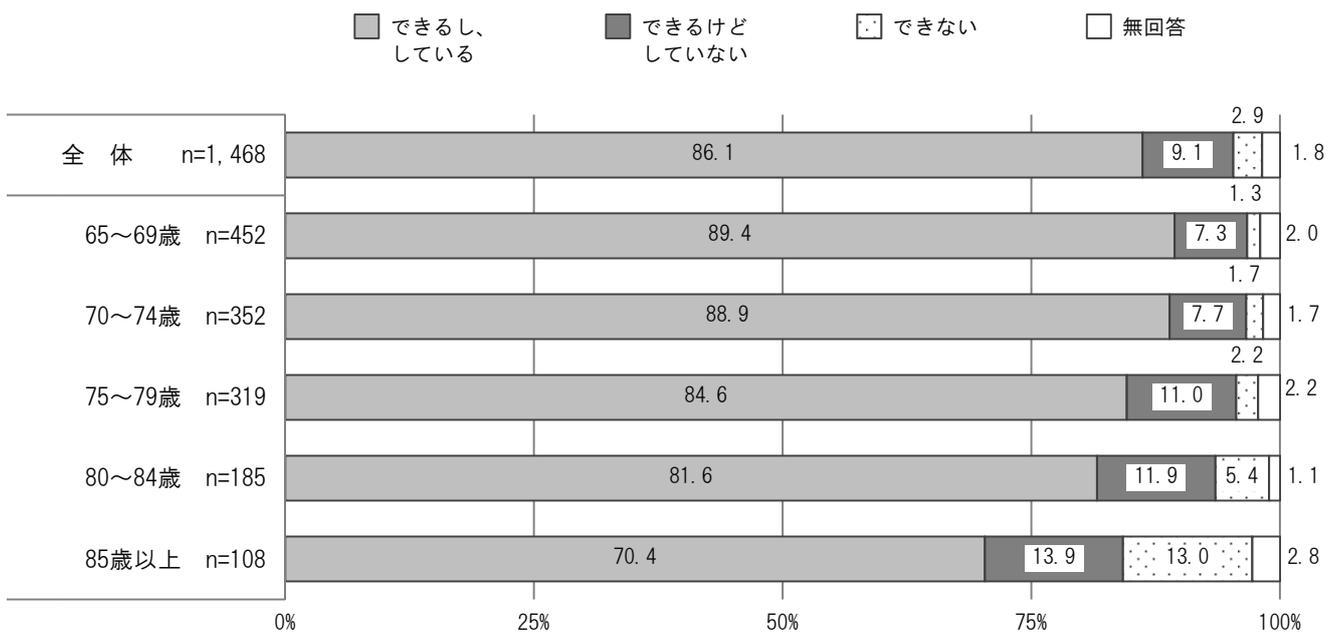
▶自分で請求書の支払いが「できるし、している」は 85.5%、「できるけどしていない」は 9.3%

▶自分で預貯金の出し入れが「できるし、している」は 86.1%、「できるけどしていない」は 9.1%

図表 2-59 自分で請求書の支払いをしている／年齢別

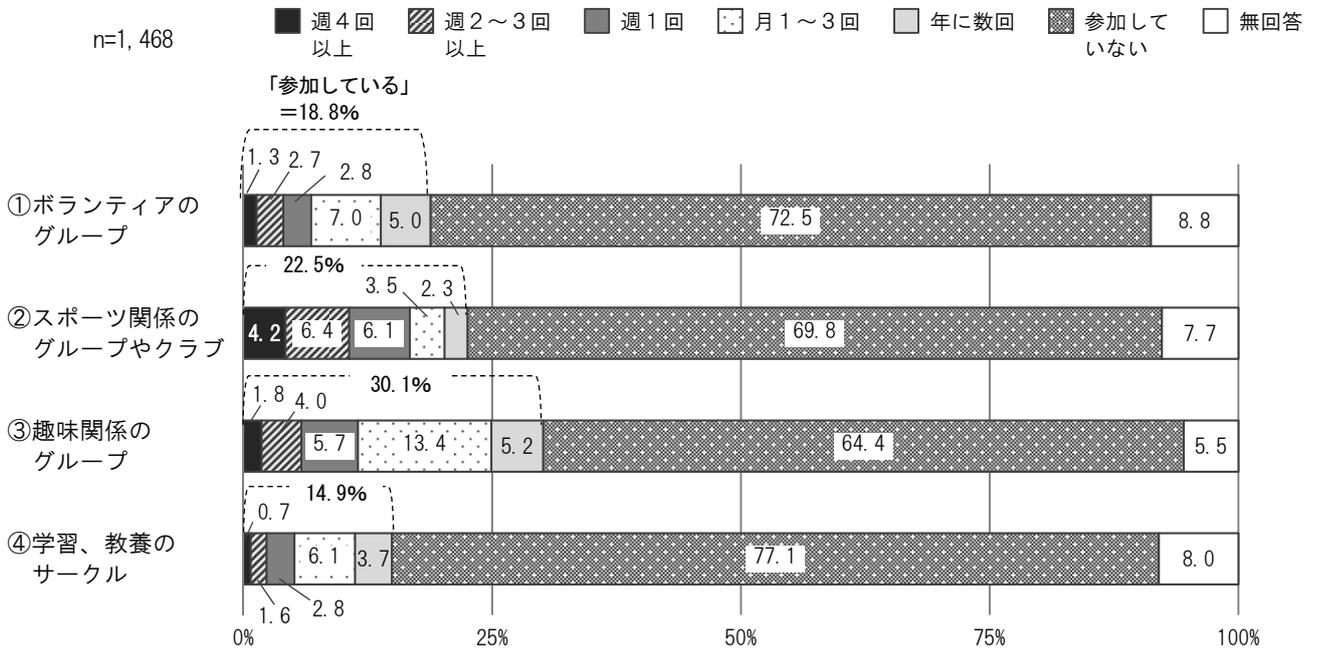


図表 2-60 自分で預貯金の出し入れをしている／年齢別



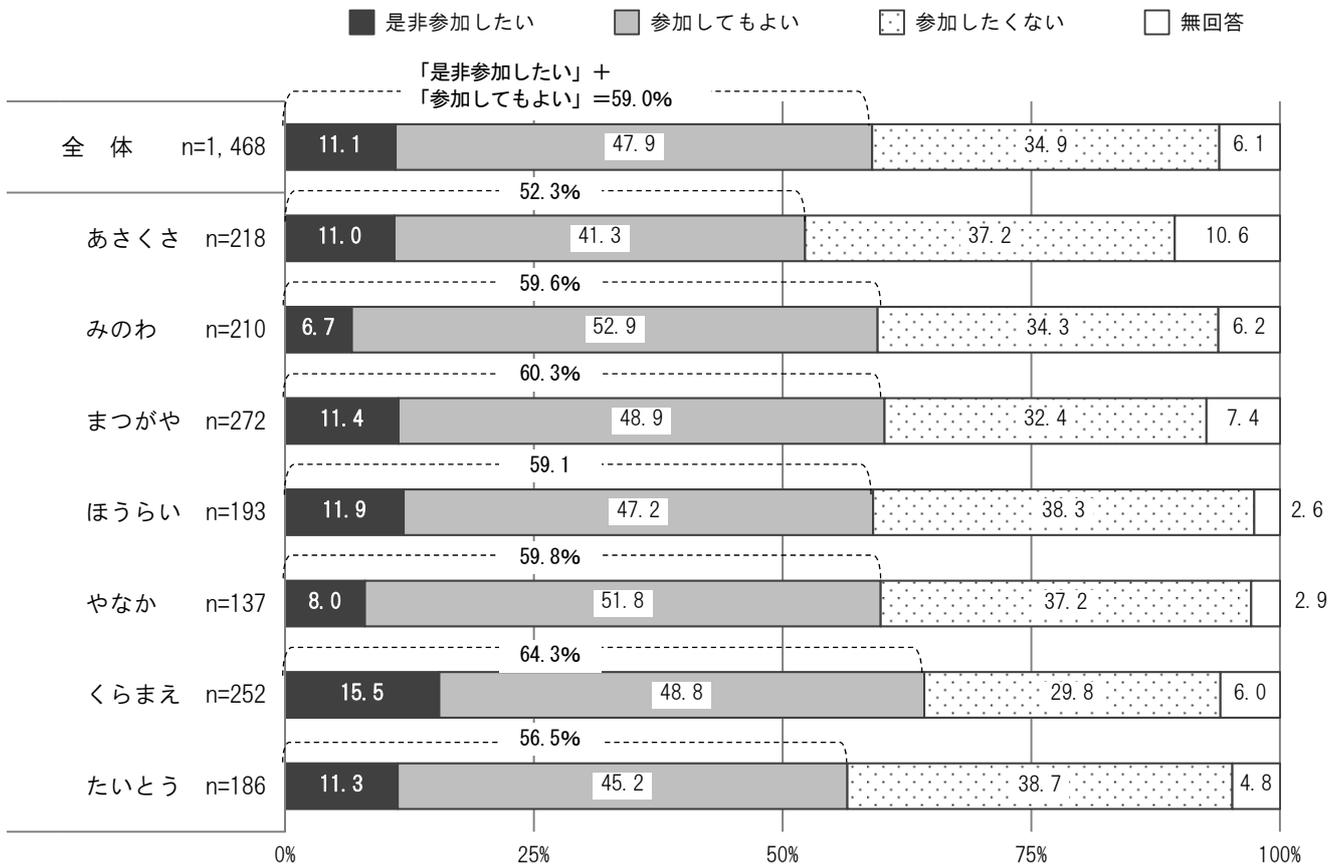
▶地域での活動で参加している会、グループ等は「趣味関係のグループ」が30.1%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が22.5%

図表 2-61 会、グループ等への参加頻度



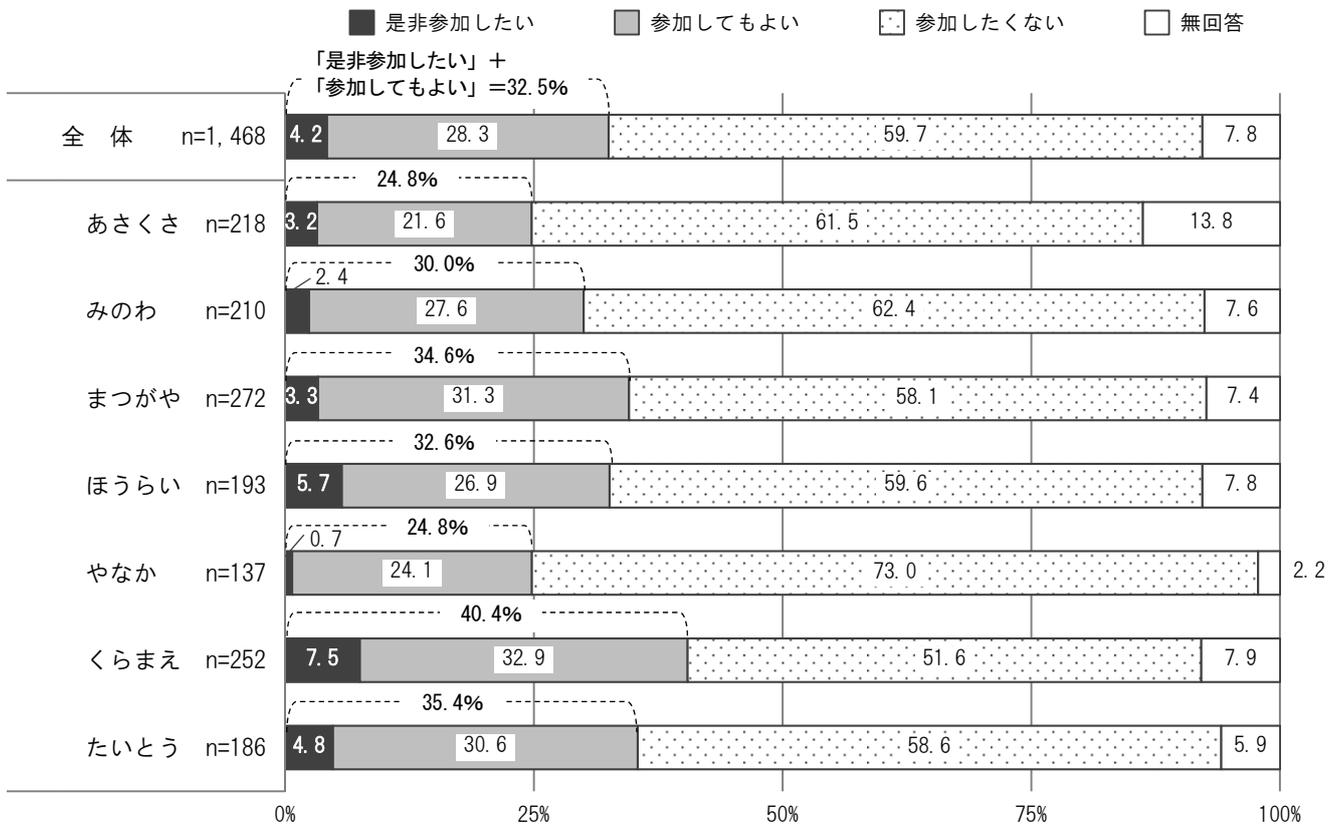
▶地域活動への参加者としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると59.0%

図表 2-62 地域活動の参加者としての参加意向／包括別



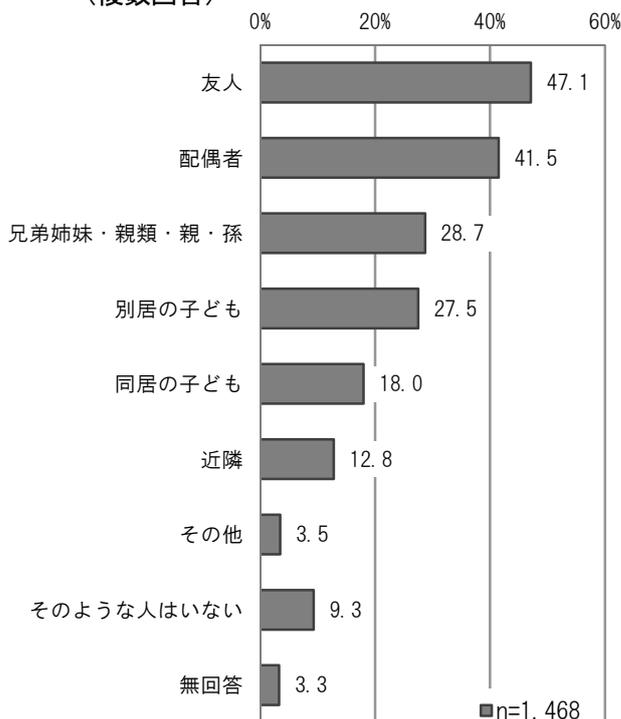
▶地域活動の企画・運営（世話役）としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると32.5%

図表 2-63 地域活動の企画・運営（世話役）としての参加意向／包括別

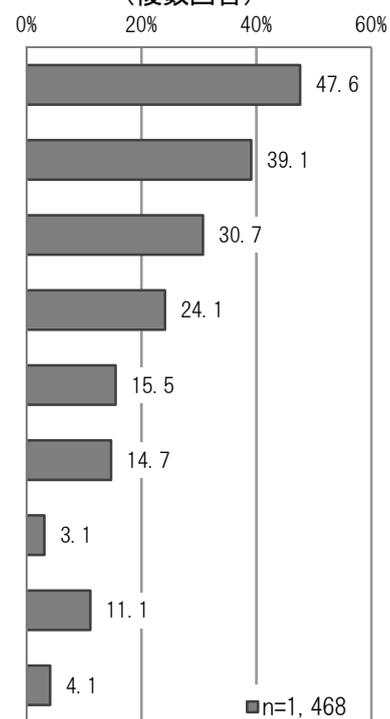


▶心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が47.1%、「そのような人はいない」は9.3%  
▶心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が47.6%、「そのような人はいない」は11.1%

図表 2-64 心配事や愚痴を聞いてくれる人 (複数回答)



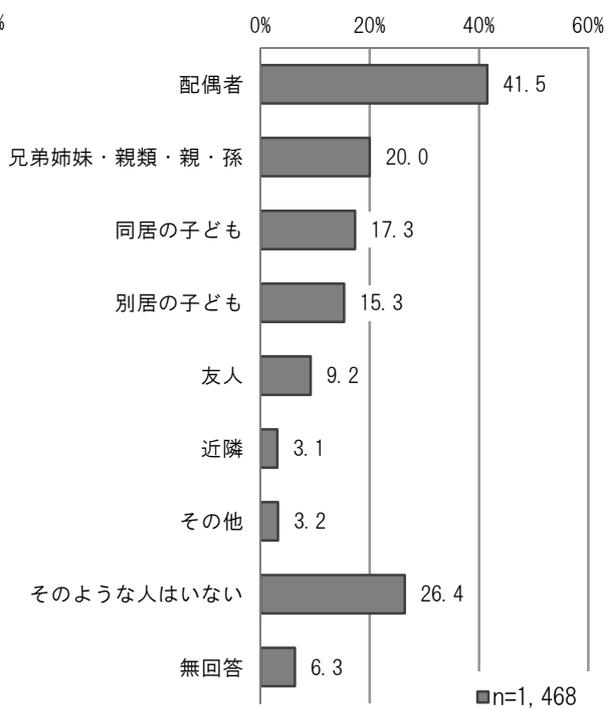
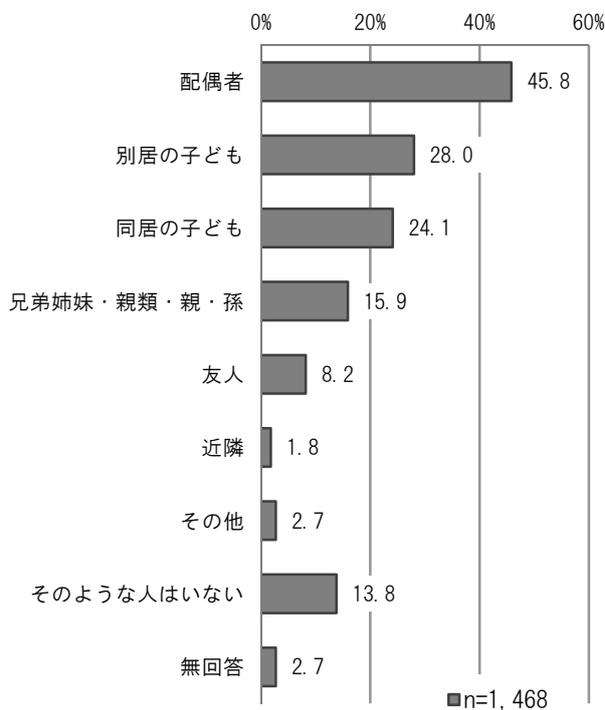
図表 2-65 心配事や愚痴を聞いてあげる人 (複数回答)



▶看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が45.8%、「そのような人はいない」は13.8%  
 ▶看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が41.5%、「そのような人はいない」は26.4%

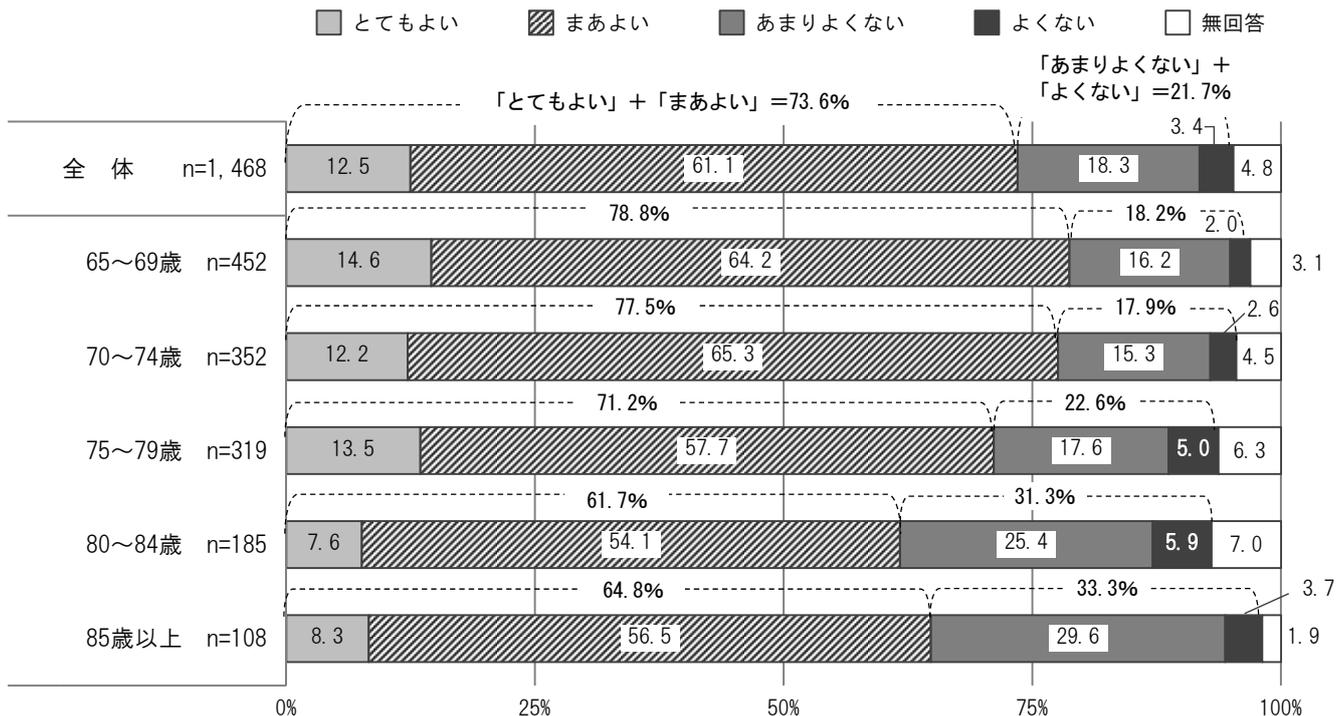
図表 2-66 看病や世話をしてくれる人（複数回答）

図表 2-67 看病や世話をしてあげる人（複数回答）



▶健康状態は、「とてもよい」「まあよい」を合わせると73.6%

図表 2-68 健康状態／年齢別



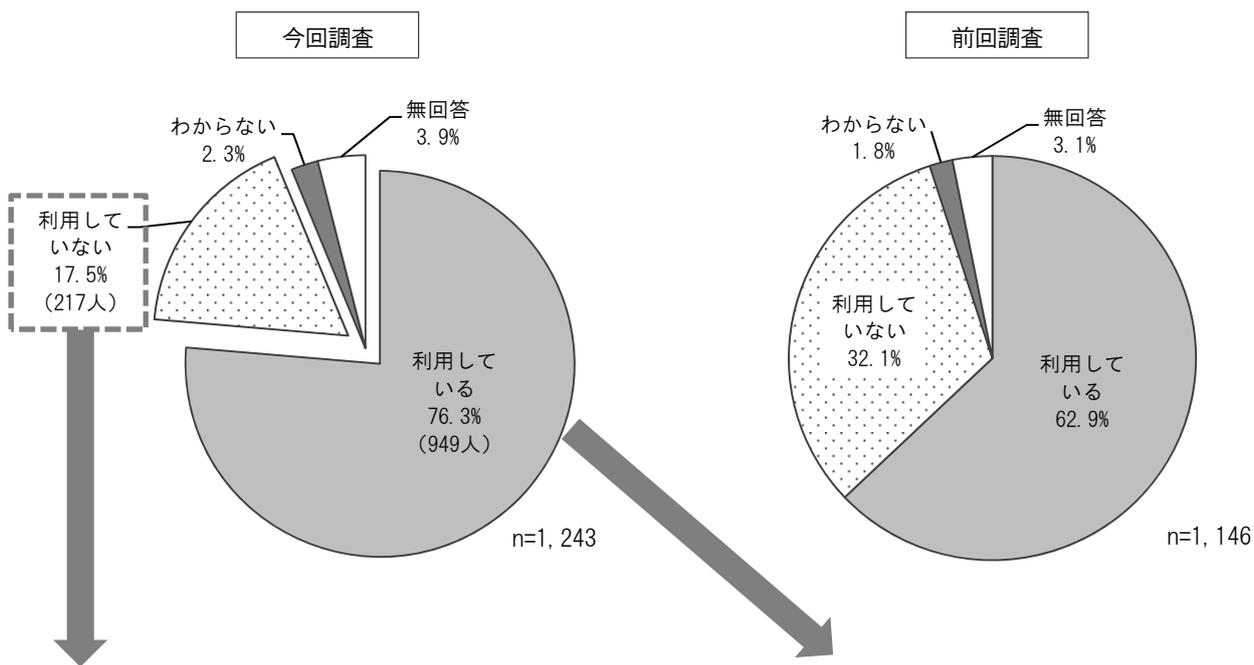
V 要支援・要介護認定者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数(人)であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

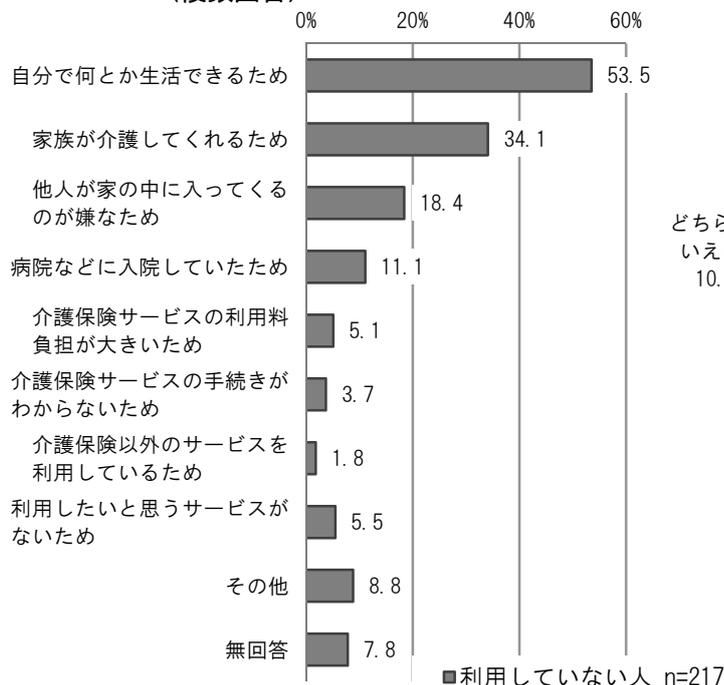
- ▶ 介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が76.3%
- ▶ 利用していない人の理由は、「自分で何とか生活できるため」が53.5%
- ▶ 利用している人のケアプランの満足度は、「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると79.7%

・介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が76.3%を占め、前回調査より13.4ポイント高くなっている。[図表2-69]

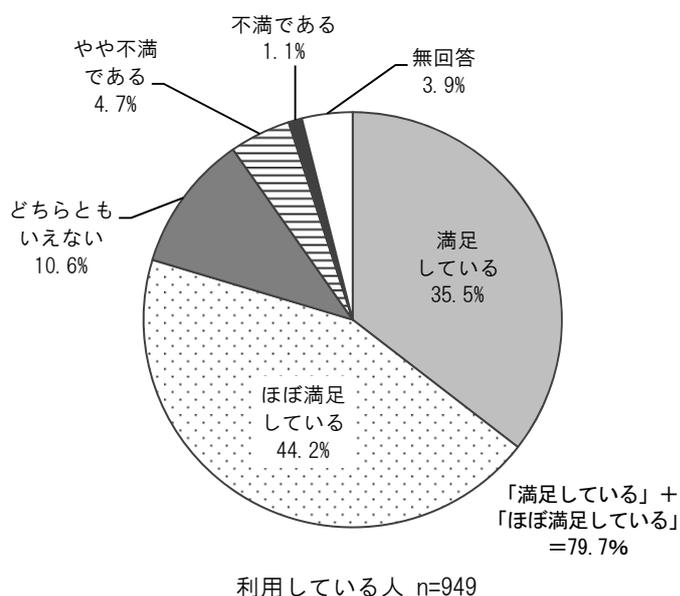
図表 2-69 介護保険サービス利用状況



図表 2-70 介護保険サービスを利用していない理由 (複数回答)



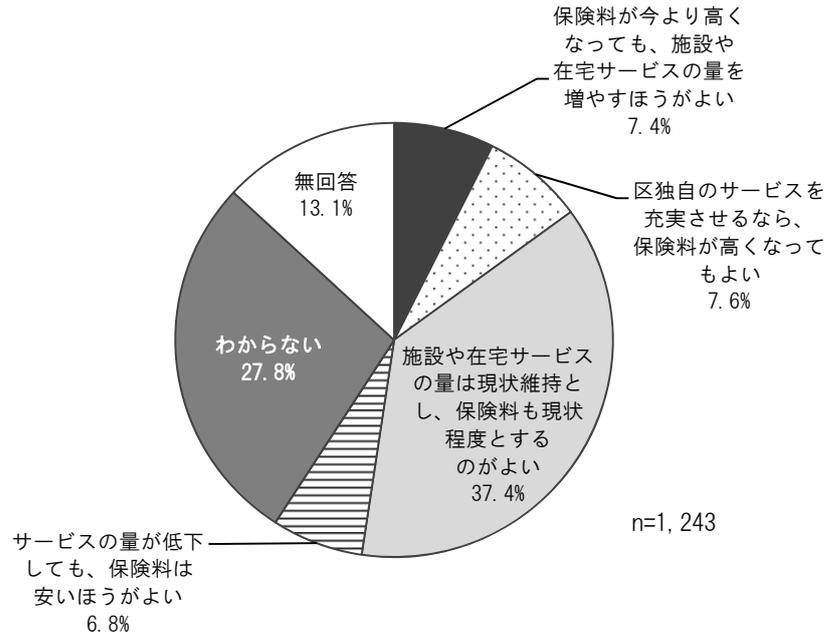
図表 2-71 ケアプランの満足度



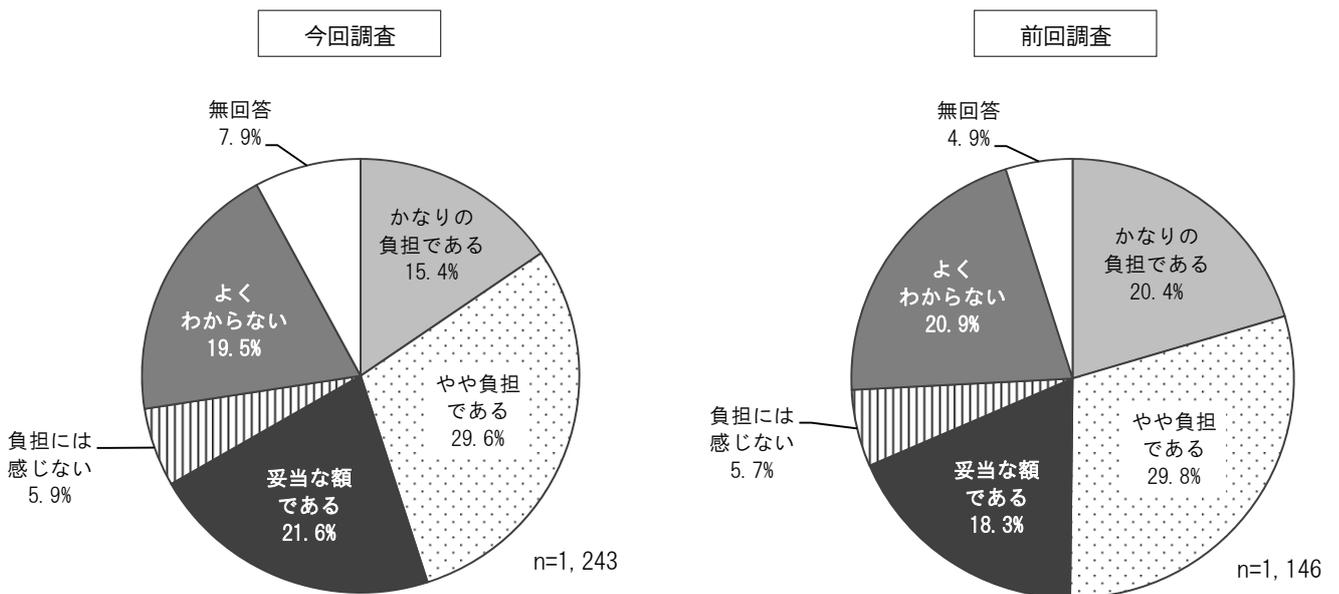
- ▶介護保険料とサービスについては、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が37.4%
- ▶介護保険料の額については、「やや負担である」が29.6%、「妥当な額である」が21.6%

・介護保険料の額については、「やや負担である」が29.6%で前回調査と同じく最も高く、次いで「妥当な額である」が21.6%、「かなりの負担である」が15.4%となっている。[図表2-73]

図表 2-72 介護保険料とサービスについて



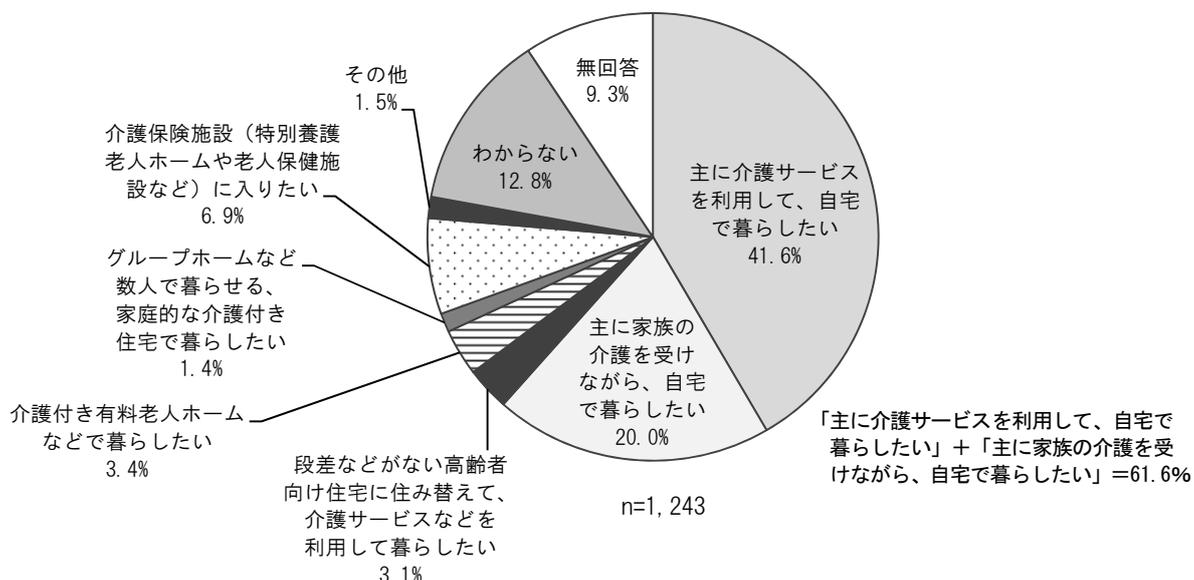
図表 2-73 介護保険料の額について



▶ 今後希望する暮らし方は、「介護サービス利用で自宅」が41.6%、「家族介護で自宅」が20.0%で、合わせると「自宅」を希望する人が61.6%

- ・ 今後希望する暮らし方は、「自宅」を希望する人が61.6%、一方、「介護保険施設に入りたい」と回答した人は6.9%となっている。[図表 2-74]
- ・ 要介護度別にみると、要介護度にかかわらず「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が最も高く、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」となっている。また、要介護4、5の人は「介護保険施設に入りたい」が10%を超えている。[図表 2-75]

図表 2-74 今後希望する暮らし方



図表 2-75 今後希望する暮らし方／要介護度別

単位：%

項目	回答者数(人)	暮らし方									
		主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	段差などが無い高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	介護付き有料老人ホームなどで暮らしたい	グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護付き住宅で暮らしたい	介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など）に入りたい	その他	わからない	無回答	
全体	1,243	41.6	20.0	3.1	3.4	1.4	6.9	1.5	12.8	9.3	
要介護度	要支援1	245	42.0	14.7	2.0	4.1	1.6	6.5	2.9	17.1	9.0
	要支援2	236	39.0	19.1	6.4	6.8	1.7	5.9	0.8	12.3	8.1
	要介護1	204	49.5	20.6	2.0	2.5	2.0	3.9	2.0	11.8	5.9
	要介護2	196	37.2	29.6	3.6	2.6	1.0	5.1	1.0	12.2	7.7
	要介護3	122	53.3	18.9	3.3	0.8	—	9.8	0.8	9.0	4.1
	要介護4	86	30.2	24.4	—	3.5	1.2	16.3	2.3	10.5	11.6
	要介護5	69	42.0	20.3	—	1.4	—	10.1	1.4	4.3	20.3

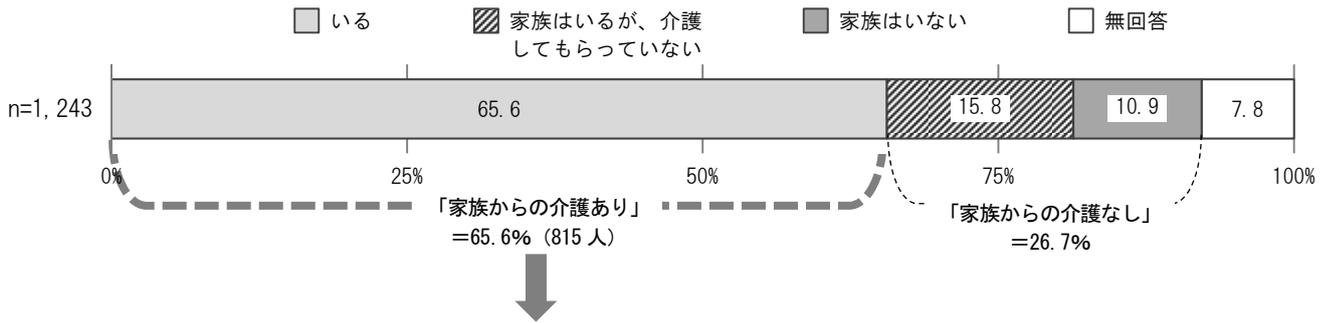
■介護者に対する設問

▶介護してくれる家族が「いる」は 65.6%、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると 26.7%

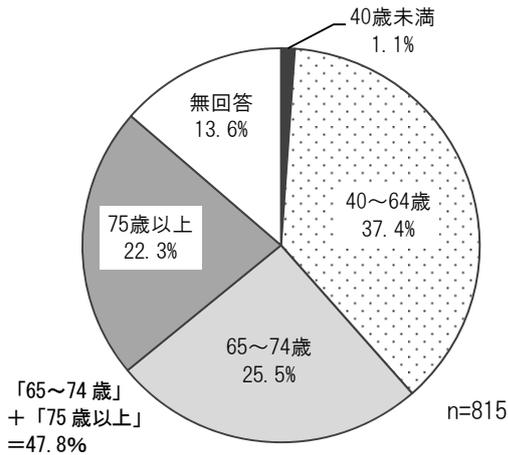
▶主な介護者の年齢は 65 歳以上が 47.8%、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると 69.4%、仕事の有無は「あり」が 49.1%

・主な介護者で仕事をしている人は 49.1%で、前回調査より 6.6 ポイント高くなっている。[図表 2-79]

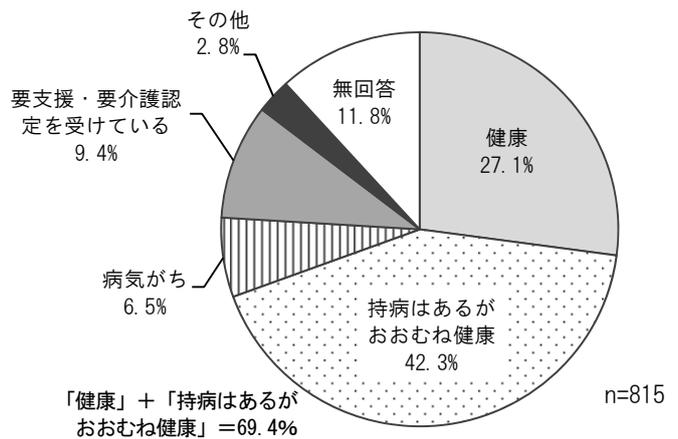
図表 2-76 介護してくれる家族の有無



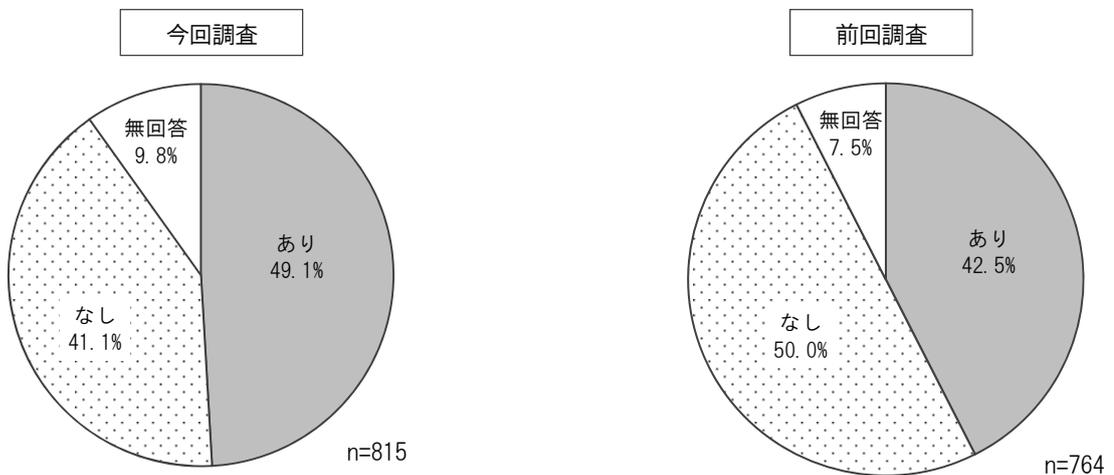
図表 2-77 主な介護者の年齢



図表 2-78 主な介護者の健康状態



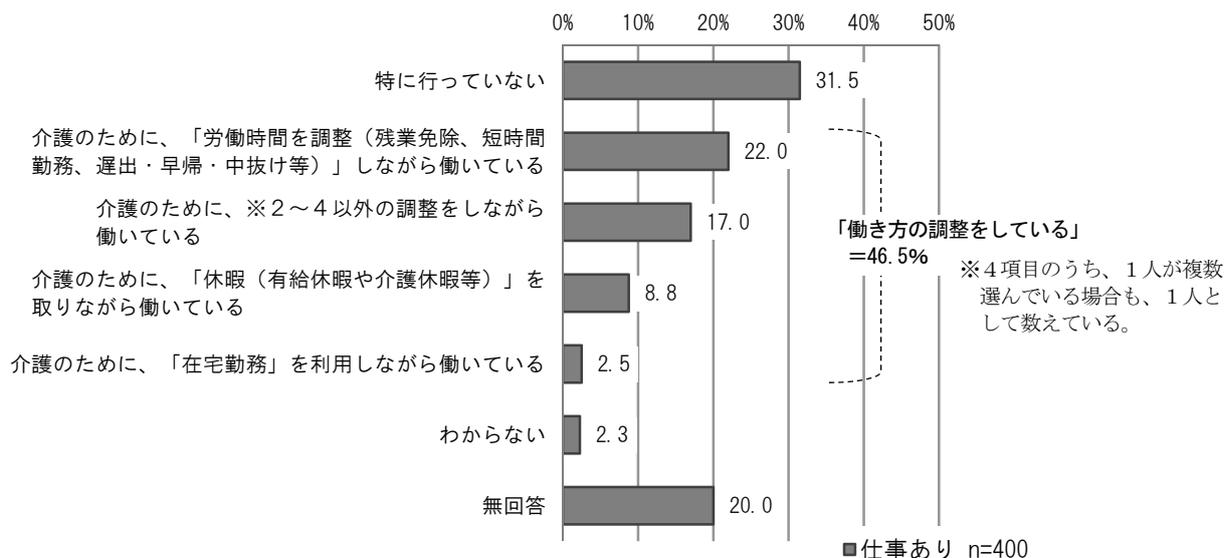
図表 2-79 主な介護者の仕事の有無



- ▶介護者の働き方の調整は、「特に行っていない」が31.5%、「労働時間を調整しながら働いている」が22.0%
- ▶介護離職者の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が40.0%

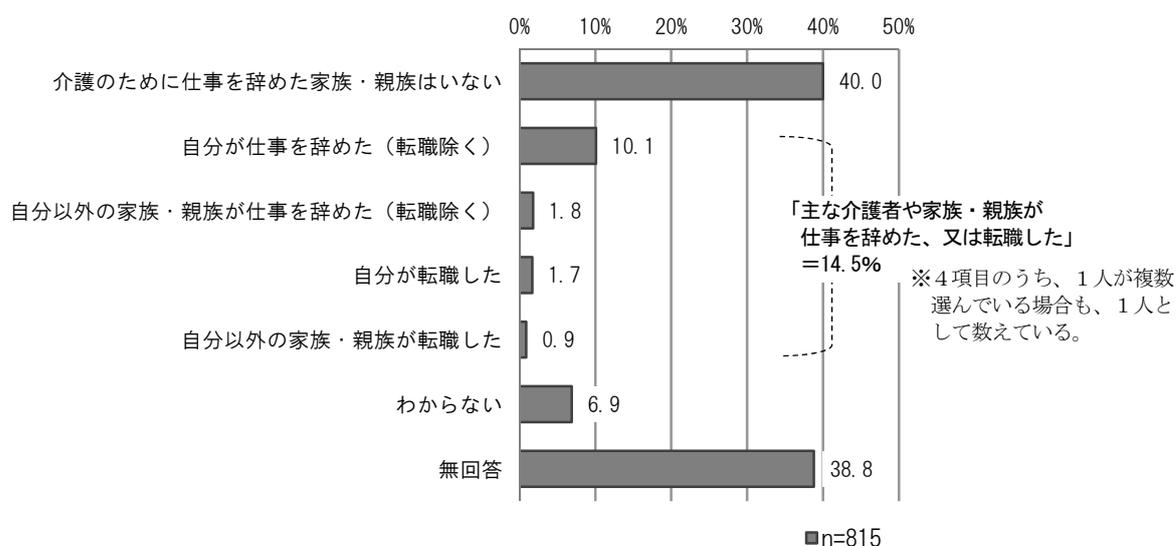
- ・労働時間、休暇取得、在宅勤務など何らかの「働き方の調整をしている」が46.5%となっている。[図表 2-80]
- ・「主な介護者や家族・親族が仕事を辞めた、又は転職した」が14.5%となっている。[図表 2-81]

図表 2-80 介護者の働き方の調整（複数回答）



※「2～4」：「2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」  
 「3. 介護のために、「休暇（有給休暇や介護休暇等）」を取りながら働いている」  
 「4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている」

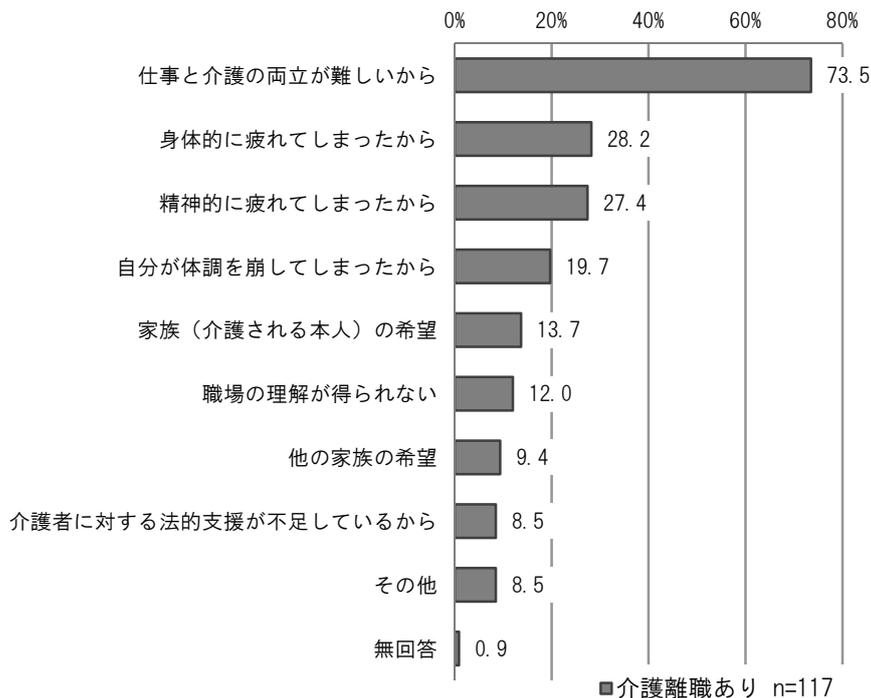
図表 2-81 介護離職者の有無（複数回答）



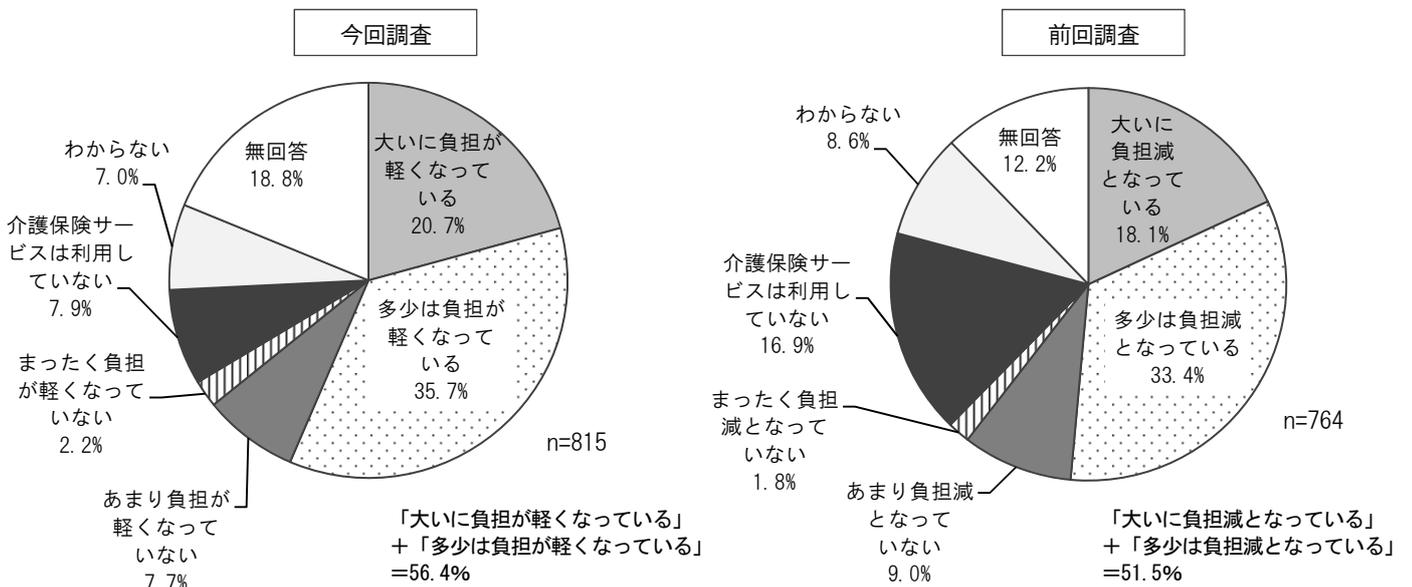
▶ 介護離職の理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が 73.5%  
 ▶ 介護保険サービス利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると 56.4%

- ・主な介護者や家族、親族が介護離職・転職をした理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が 73.5%で最も高く、次いで「身体的に疲れてしまったから」が 28.2%、「精神的に疲れてしまったから」が 27.4%となっている。[図表 2-82]
- ・介護保険サービスを利用することにより、介護者の負担が軽くなっているかについては、前回調査より 4.9 ポイント高くなっている。[図表 2-83]

図表 2-82 介護離職の理由（複数回答）



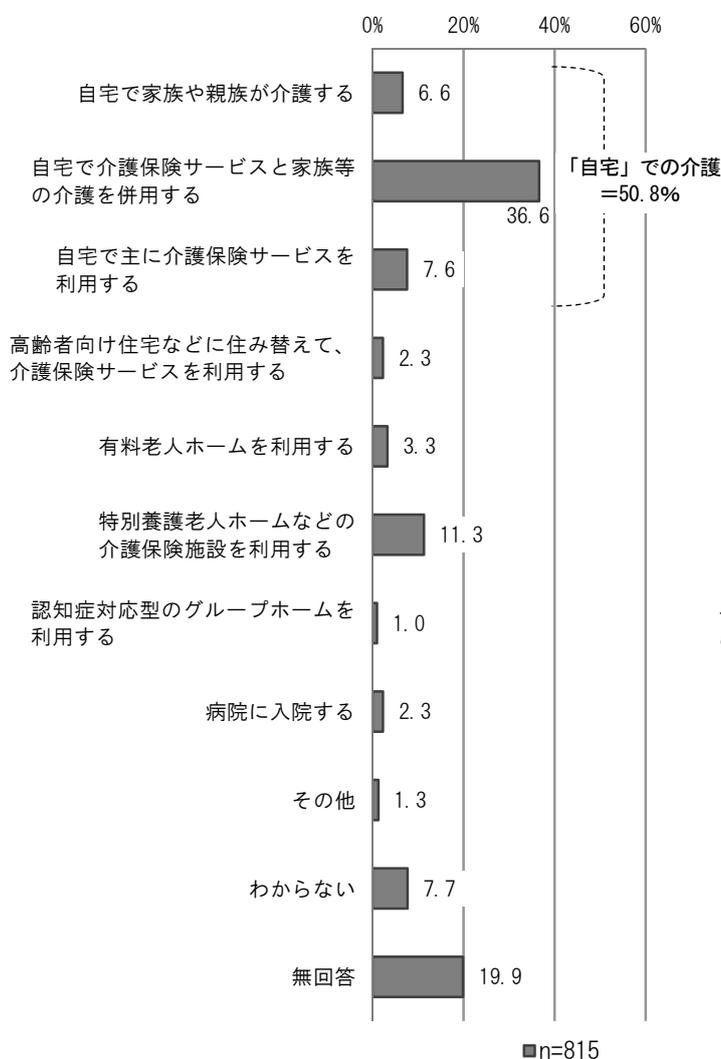
図表 2-83 介護保険サービス利用による介護者の負担



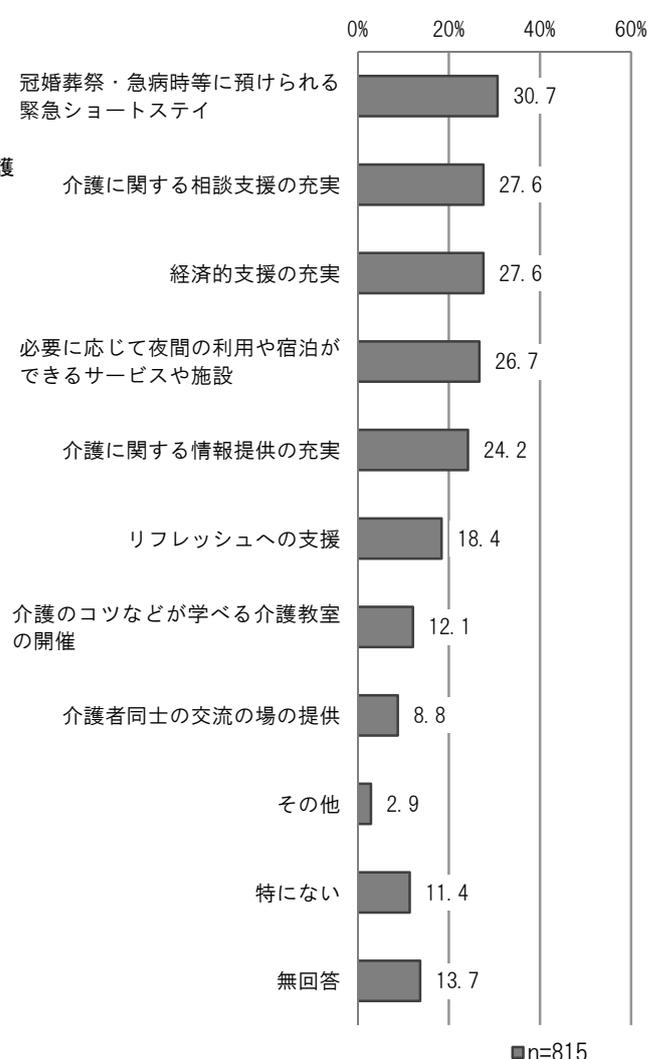
- ▶ 介護者が望む介護の形態は、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」が36.6%
- ▶ 介護者が望む支援やサービスは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が30.7%

- ・ 介護者が望む介護の形態は、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせると「自宅」での介護を望む人が50.8%となっている。[図表 2-84]
- ・ 介護者が望む支援やサービスは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が30.7%で最も高く、次いで「介護に関する相談支援の充実」「経済的支援の充実」がともに27.6%となっている。[図表 2-85]

図表 2-84 介護者が望む介護形態



図表 2-85 介護者が望む支援やサービス（複数回答）

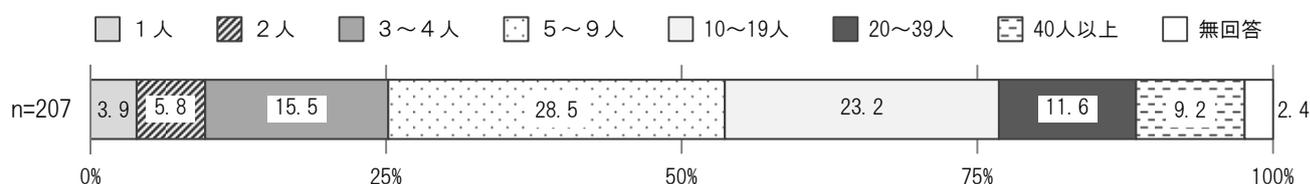


## VI 介護サービス事業者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数（事業所）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

▶ 介護サービス事業者の1事業所あたりの従業員数は、「5～9人」が最も多い

図表 2-86 従業員数



図表 2-87 従業員数／提供サービス別

単位：%

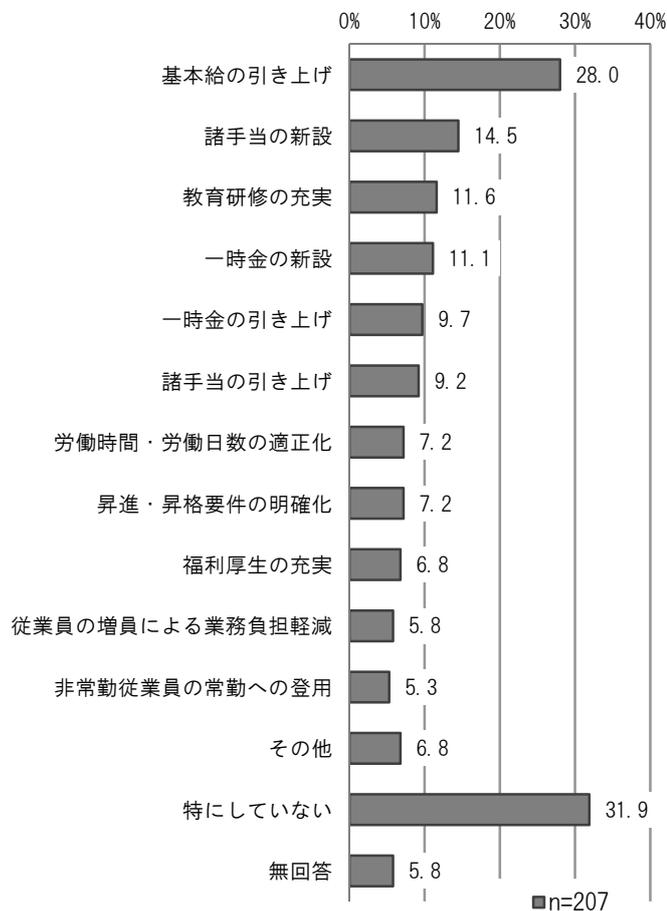
項目	回答者数 (事業所)	従業員数								
		1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 19人	20 ～ 39人	40 人 以上	無 回 答	
全 体	207	3.9	5.8	15.5	28.5	23.2	11.6	9.2	2.4	
提供サービス	居宅介護支援	51	15.7	19.6	31.4	25.5	2.0	2.0	2.0	2.0
	訪問（福祉）系サービス	48	—	—	10.4	16.7	39.6	20.8	8.3	4.2
	訪問（医療）系サービス	16	—	—	25.0	50.0	12.5	6.3	6.3	—
	通所系サービス	14	—	—	—	7.1	64.3	21.4	7.1	—
	短期入所系サービス	8	—	—	—	12.5	12.5	25.0	50.0	—
	福祉用具貸与・ 特定福祉用具販売	21	—	9.5	28.6	33.3	9.5	9.5	9.5	—
	地域密着型サービス	40	—	—	2.5	52.5	35.0	5.0	—	5.0
	施設・居住系サービス	9	—	—	—	—	—	33.3	66.7	—

図表 2-88 提供サービスの区分

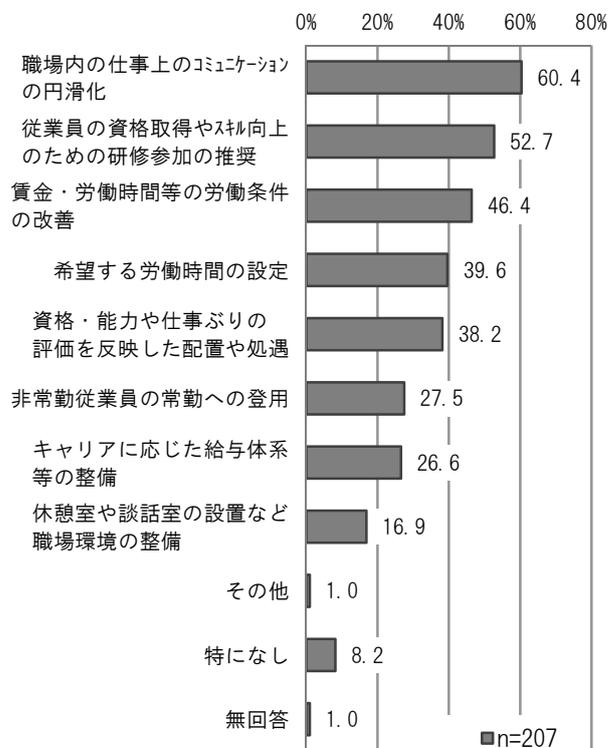
区分	提供サービス
居宅介護支援	居宅介護支援
訪問（福祉）系サービス	訪問介護、訪問入浴介護
訪問（医療）系サービス	訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導
通所系サービス	通所介護、通所リハビリテーション
短期入所系サービス	短期入所生活介護、短期入所療養介護
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	福祉用具貸与、特定福祉用具販売
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
施設・居住系サービス	特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設

▶ 従業員の処遇改善で実施したことは、「基本給の引き上げ」が28.0%  
 ▶ 人材定着のための取り組みは、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化」が60.4%

図表 2-89 従業員の処遇改善の実施状況（複数回答）

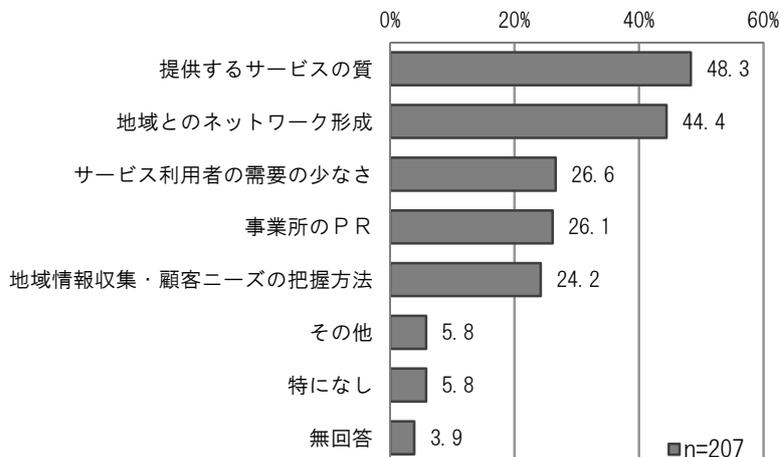


図表 2-90 人材定着のための取り組み（複数回答）



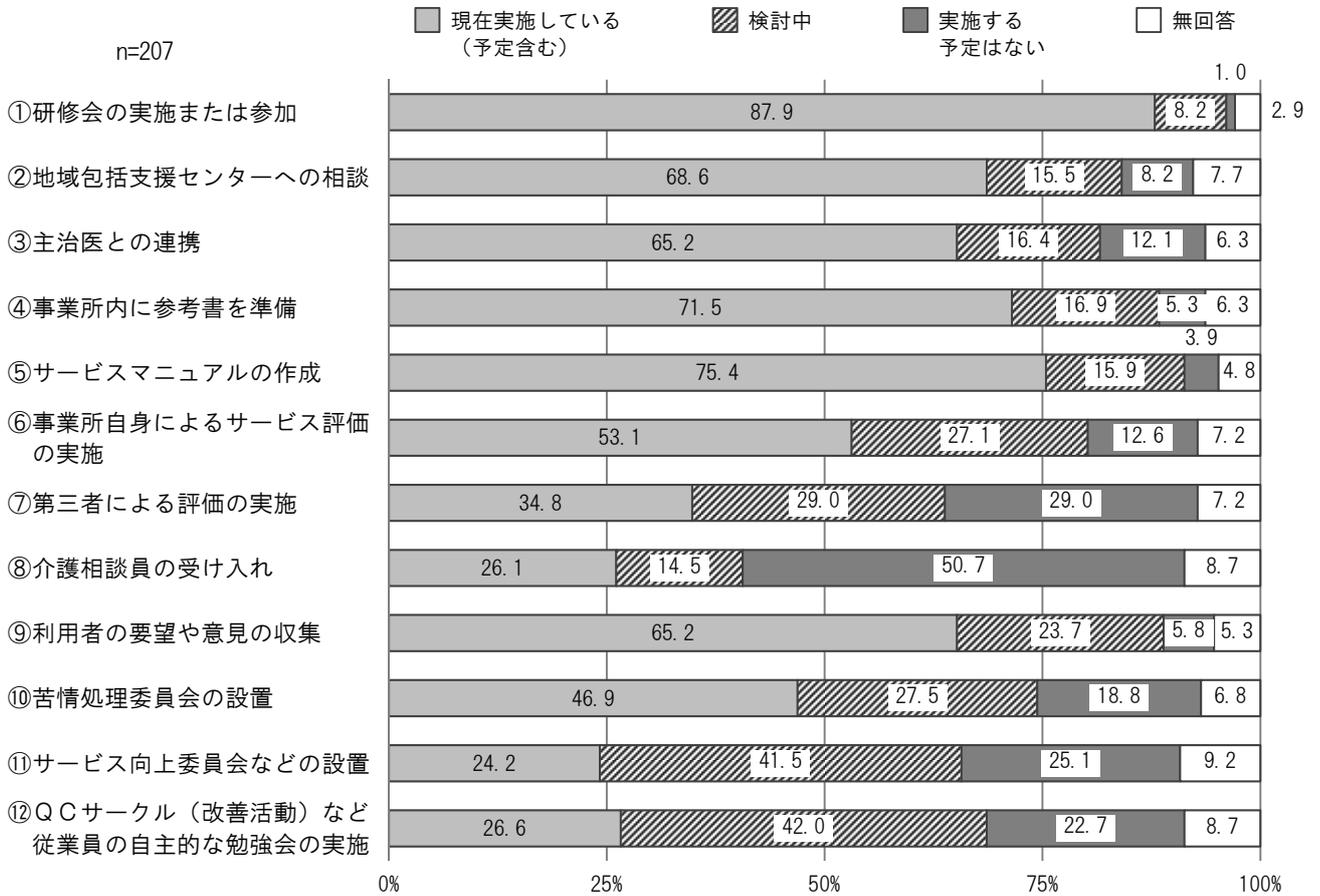
▶ 現在課題と感じていることは、「提供するサービスの質」が48.3%

図表 2-91 課題と感じていること（複数回答）



▶サービスの質の向上に関して実施している（予定含む）取り組みは、「研修会の実施または参加」が87.9%

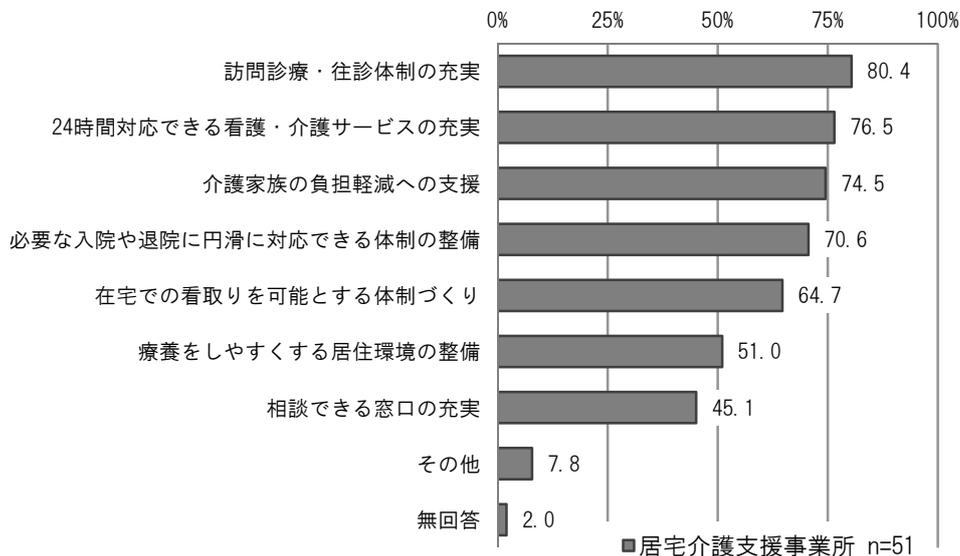
図表 2-92 サービスの質の向上に関して実施している（予定含む）取り組み



■居宅介護支援事業所に対する設問

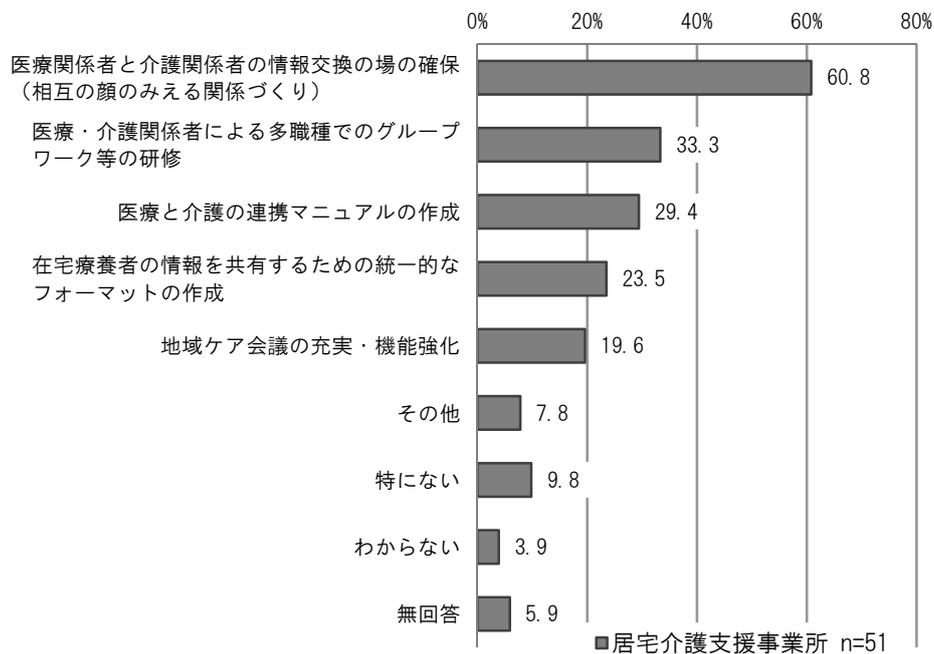
▶医療依存度の高い利用者に必要な支援は、「訪問診療・往診体制の充実」が80.4%

図表 2-93 医療依存度の高い利用者に必要な支援（複数回答）



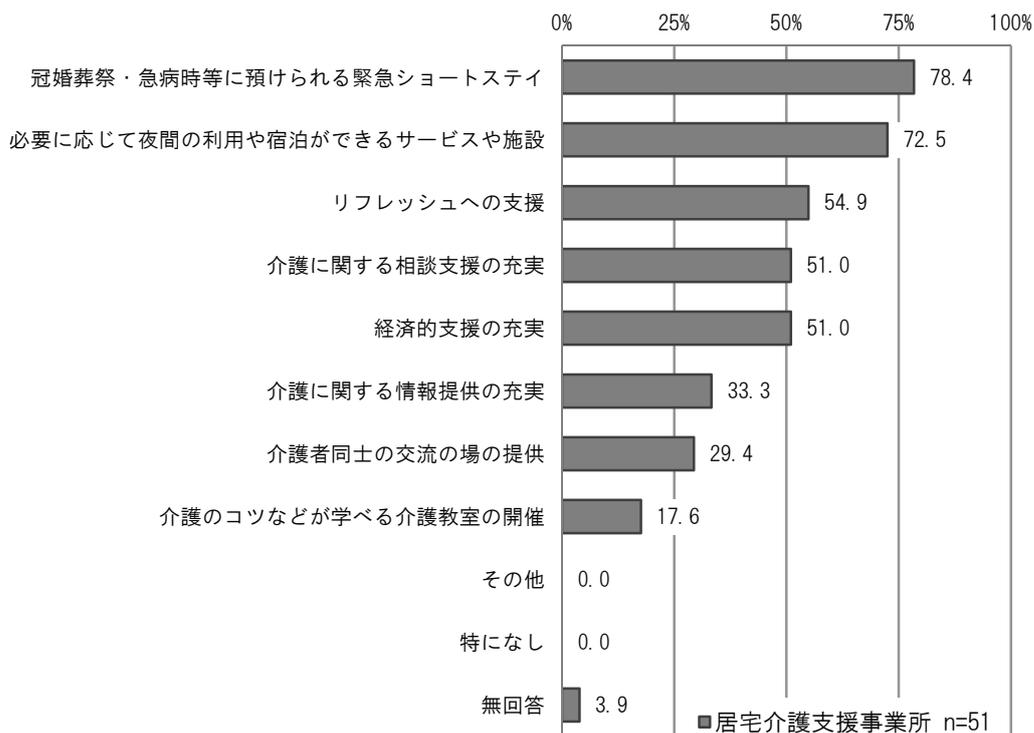
▶医療連携の充実に必要なことは、「医療関係者と介護関係者の情報交換の場の確保」が60.8%

図表 2-94 医療連携の充実に必要なこと（複数回答）



▶在宅介護家族への支援やサービスであると良いと思うものは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が78.4%

図表 2-95 在宅で介護している家族に対する支援やサービス（複数回答）



---

台東区高齢者実態調査報告書 概要版

平成 29 年 3 月発行（平成 28 年度登録第 15 号）

台東区福祉部高齢福祉課・介護保険課

〒110-8615 台東区東上野 4-5-6

電話 03-5246-1221

---